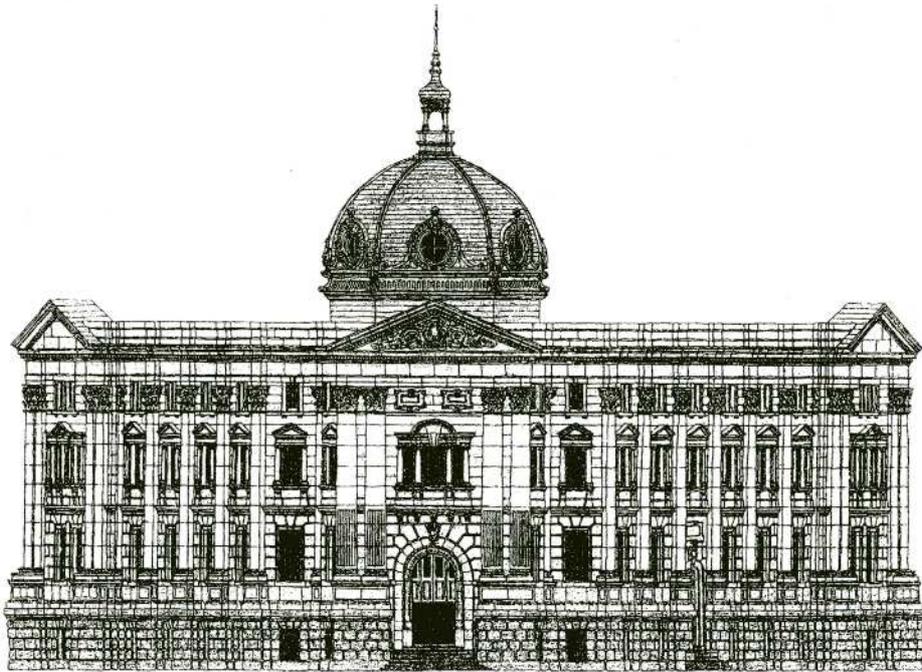


神奈川県立歴史博物館年報

平成27年度



神奈川県立歴史博物館

はじめに

神奈川県立歴史博物館は、「神奈川の文化と歴史」に関する資料収集、保管及びこれに関する調査研究から情報提供を行い、広く県民の学習活動を助けるため日々努力を重ねています。

平成 27 年度は、入館者数 178,873 人と前年度(142,193 人)を大きく上回る結果を得ることができました。このことは成果還元の手ごたえを感じるとともに、今後の励みになりました。

展示活動については、常設展のほかに特別展 4 回、特別陳列とコレクション展各 1 回を開催しました。「中世東国の茶 武家の都鎌倉における茶の文化」は、密教儀礼の供物であった茶が日常生活の喫茶文化へと変化普及していく流れを示す絵や道具、古文書を展示し、中世の喫茶文化の世界をご覧いただきました。「没後 100 年 五姓田義松 最後の天才」は、洋画家五姓田義松の没後 100 年を記念し、当館所蔵の全作品、資料を中心に、画家の全容をほぼ網羅する作品を集め、幕末明治を代表する洋画家の足跡をご覧いただきました。「国宝 一遍聖絵」は、遊行寺宝物館、神奈川県立歴史博物館、神奈川県立金沢文庫の三館で国宝絵巻全巻を共同で展示し、宗教者一遍の行状をご覧いただきました。また、連携企画として、東京国立博物館でも特集展示がありました。「石展 かながわの歴史を彩った石の文化」は、神奈川県立生命の星・地球博物館と初めて共催した特別展で、考古学、歴史学、民俗学、岩石学担当学芸員の多角的視点からわたしたちの生活と石とのさまざまな関わりをご覧いただきました。特別陳列「仏のすがた 祈りのかたち 県博の仏教美術」は、館蔵・保管のコレクションから、仏を慕い祈る心が現れた仏教美術の魅力をご覧いただきました。また、同時期に開催したコレクション展「地図と写真でみる馬車道」は、馬車道まつり開催 30 回を記念して、地図や写真、横浜東宝会館の映画関係資料などから馬車道の移り変わりをご覧いただきました。このほかに、平成 27 年度かながわの遺跡展「縄文の海 縄文の森」を神奈川県教育委員会と共催し、これまでに発見された成果を中心に、海や森の自然と深いかかわりを持っていた縄文人の生活の一端をご覧いただきました。

また、学芸員の研究活動の成果を『研究報告』などにより公開するとともに、講座の開催や学校連携を中心とした学習支援活動、さらに、子ども博物館教室、夏の恒例行事である「ミュージアム・クイズラリーよこはま」、8 年目を迎えた「ミュージアムコンサート」など、多彩な教育普及活動に取り組み、ホームページについても内容の充実につとめました。

なお、様々な場面で、展示解説などについてご協力いただいているボランティアの方々にも例年のとおりご活躍いただきました。

当館の活動に対して頂戴した展示や教育普及活動などについての貴重なご意見を参考に、今後もより一層、皆様の期待に応えられるよう心がけてまいります。

神奈川県立歴史博物館

目次

はじめに

目次

1 沿革・理念

- (1) 沿革…………… 3
- (2) 神奈川県立歴史博物館の理念…………… 4

2 管理運営

- (1) 組織…………… 5
 - ア 組織及び分掌
 - イ 職員名簿
- (2) 歳入・歳出…………… 6
 - ア 歳入
 - イ 歳出
- (3) 入館者状況…………… 6
 - ア 入館者数
 - イ 有料入館者内訳
 - ウ 無料入館者内訳
 - エ 特別展の入館者状況
- (4) 広報・広聴…………… 8
 - ア 広報実績
- (5) 施設概要…………… 8
 - ア 概要
 - イ 館内施設
 - ウ 外部協力
 - エ 平面図

3 調査・研究

- (1) 館独自の研究事業費によるもの…………… 12
 - ア 総合研究
 - イ 個別研究
 - ウ グループ研究
 - エ 調査研究成果報告会
- (2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの…………… 15
- (3) 個人研究活動…………… 16
 - ア 研究報告書
 - イ 個人研究活動

4 資料収集・修理・保管・利用

- (1) 考古資料…………… 24
- (2) 歴史資料…………… 25
- (3) 美術資料…………… 30
- (4) 民俗資料…………… 36
- (5) 写真資料…………… 37
- (6) 資料の燻蒸等…………… 38
- (7) その他の資料…………… 38
 - ア 図書
 - イ 映像
 - ウ 写真
 - エ 情報システム

5 展示・教育普及・学習支援

- (1) 常設展…………… 41
 - (2) 特別展…………… 41
 - (3) コレクション展…………… 60
 - (4) その他の展示…………… 63
 - (5) 学習支援事業…………… 75
 - ア 講座
 - イ 特別展記念講演会等行事
 - ウ 学芸員による展示解説
 - エ ミュージアムトーク
 - オ その他の行事
 - カ 子ども・青少年向け教育普及事業
 - キ 学校連携事業の状況
 - (6) ミュージアムライブラリー…………… 87
 - (7) 普及印刷物…………… 87
 - ア 図録
 - イ 広報印刷物
 - ウ 神奈川県立歴史博物館だより
 - (8) ボランティアの活動…………… 88
 - ア 活動状況及び実績
 - イ 博物館入門講座
 - ウ 専門研修
 - エ その他の研修
 - (9) 博物館実習生の受け入れ…………… 89
 - ア 見学実習
 - イ 実務実習
- #### 6 資料
- (1) 条例・規則…………… 92
 - ア 神奈川県立の博物館条例
 - イ 神奈川県立の博物館組織規則
 - ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則
 - (2) 利用案内…………… 96

1 沿革・理念

(1) 沿革

- 昭和 38 年 6 月 教育庁に博物館準備事務室を設置
- 昭和 41 年 11 月 神奈川県立博物館条例の制定により、神奈川県立博物館を設置
神奈川県立博物館組織規則の制定により、庶務部、学芸部の 2 部を置く
- 昭和 42 年 3 月 神奈川県立博物館開館
- 4 月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により神奈川県博物館協議会を設置(委員 20 名)
- 6 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部に庶務課、経理課の 2 課を置く
- 昭和 43 年 4 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部に学芸課、人文課、自然課の 3 課を置く
- 昭和 44 年 3 月 旧館である旧横浜正金銀行本店が国の重要文化財に指定される
- 昭和 44 年 7 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部を管理部に、庶務課を管理課に名称変更
- 昭和 47 年 8 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課の名称を廃し、企画調整課、学芸第一課、学芸第二課及び学芸第三課の 4 課を置く
- 昭和 49 年 8 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部に施設保全課を置く
- 昭和 52 年 5 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課を廃止
- 昭和 53 年 9 月 文部省学術研究機関の指定を受ける
- 昭和 55 年 2 月 入館者数 100 万人達成
- 昭和 62 年 4 月 第 2 次新神奈川計画の重点政策「文化施設 21 世紀構想」の一環として、博物館再編整備事業策定
- 昭和 63 年 12 月 神奈川県立博物館整備構想懇談会が「神奈川県立博物館整備構想に関する提言 - 自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方 - 」を提出
- 平成 2 年 3 月 人文系博物館の整備計画・展示計画策定
- 平成 3 年 3 月 博物館総合情報システム整備計画、資料収集計画を策定
- 平成 4 年 3 月 展示基本設計
- 平成 5 年 3 月 改修工事基本・実施設計、展示工事実施設計
- 4 月 県立博物館休館(～7 年 3 月)
- 10 月 改修工事及び展示工事開始
- 平成 6 年 11 月 改修工事終了
- 平成 7 年 1 月 神奈川県立博物館条例改正に伴い「神奈川県立博物館」は「神奈川県立歴史博物館」と名称変更、神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、企画情報部に企画普及課及び情報資料課の 1 部 2 課を置き、管理部の施設保全課を廃止
- 3 月 展示工事終了、博物館情報システムの一部稼働開始
神奈川県立歴史博物館開館(18 日)
- 6 月 国の史跡に指定される
- 平成 9 年 7 月 博物館ボランティアが活動を開始
- 平成 11 年 2 月 金銅装笈・椿彫木朱漆笈・清拙正澄墨跡・石室善玖墨跡・源頼朝袖判下文・源頼家袖判下文が県の重要文化財に指定される
神奈川の職人の道具(17 職種 1,982 点)が県の有形民俗文化財に指定される
- 平成 11 年 4 月 重要文化財の公開承認施設として文化庁から承認される
- 平成 13 年 1 月 三浦市間口洞窟遺跡出土品(450 点)が県の重要文化財に指定される
- 平成 13 年 3 月 附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県博物館協議会を廃止
- 平成 18 年 4 月 神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部管理課と経理課を統合し管理課に改め、企画情報部企画普及課、情報資料課及び学芸部の 2 部 3 課となる
- 平成 19 年 11 月 旧館である旧横浜正金銀行本店が、経済産業省により近代化産業遺産(横浜港周辺の関連建築物群)に認定される
- 平成 21 年 8 月 入館者数 200 万人達成(平成 7 年 3 月～)

(2) 神奈川県立歴史博物館の理念

神奈川県立歴史博物館の前身は昭和42年開館の神奈川県立博物館である。昭和62年から自然系と人文系が分離分館する再編整備の検討が行なわれ、平成7年のリニューアル開館に至るまで、3回にわたって博物館活動の理念やテーマが検討・提案された。

ア 昭和63年12月、神奈川県立博物館整備構想懇談会から提出された「神奈川県立博物館整備構想に関する提言 - 自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方 - 」(以下「提言」という。)

イ 平成2年3月に策定された「神奈川県立人文系博物館(仮称)整備計画」(以下「整備計画」という。)

ウ 平成7年3月の再編整備時に作られた「神奈川県立歴史博物館概要説明」(以下「概要」という。)

ア 「提言」における活動理念・テーマ

(ア) 人文系博物館の「意義」(「提言」を要約、抜粋)

- a 文化の視点からの未来の探求
- b 考古、歴史、美術、民俗等を統合化した新しい文化史の創造
- c 歴史的、文化的特色による神奈川のアイデンティティーの探求
- d 振幅の大きな神奈川の歴史にみる人々の生き方の探求
- e 神奈川の文化と内外の文化との交流や相互関係の探求
- f 文化史的意義のある資料の集積と後世への継承

(イ) 「基本テーマ」等の設定

a 基本テーマ：「文化の交流と変容」

上記の意義を踏まえ、また、神奈川の文化と歴史を専門的かつ学際的な観点から総合的にとらえる唯一の博物館として活動していくため、基本テーマが設定された。

b サブテーマ：「神奈川の文化と歴史を考える」「日本・世界の神奈川を考える」

空間的、時間的な広がりのある視点や、先人から受け継がれた地域の固有性をとらえる視点に立って2つのサブテーマが設定された。

c 展開の視点

これらの基本テーマ、サブテーマを、展示をはじめとした様々な博物館活動に反映させるため、次のような展開の視点が設けられた。

[継承] 各時代の文化と時代を超えて継承される文化を歴史の流れの中でとらえる

[交流] 他の国や他の地域との文化交流を空間的、時間的広がりの中でとらえる

[変容] 文化の変容をダイナミックにとらえる

[風土] 文化の特色を地域風土を通してとらえる

イ 「整備計画」における活動理念・テーマ

上記「提言」を受け、平成2年に「整備計画」が策定され、再編整備の具体的な内容がまとめられたが、「提言」における博物館の意義、性格、基本テーマなどは、歴史博物館のあるべき姿を示す目標・指針として継承されることとなった。

ウ 「概要」における活動理念・テーマ

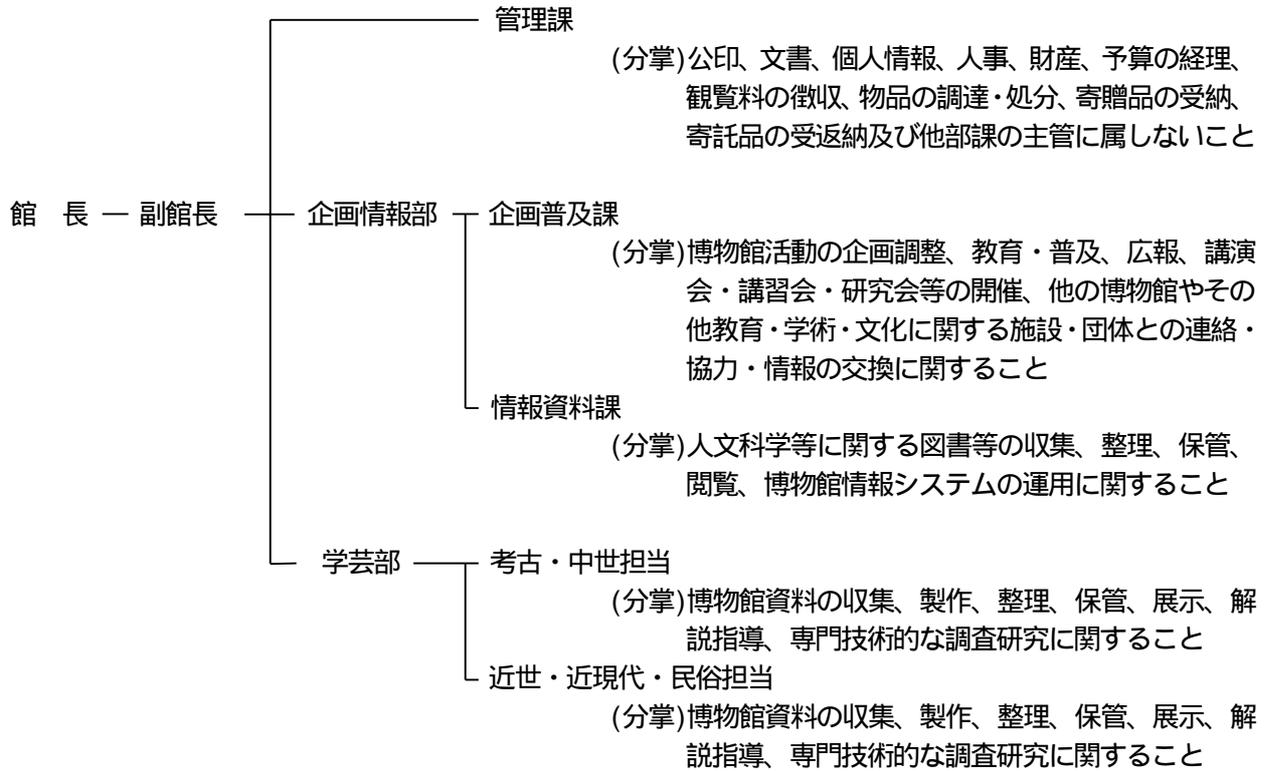
平成7年のリニューアル開館に際して作成された「概要」では、当館を「かながわの文化と歴史」を総合的に扱う博物館と位置付けて博物館活動の基本テーマとし、展示テーマを「文化の交流と変容」とすることが示された。

2 管理運営

(1) 組織

(平成27年6月1日現在)

ア 組織及び分掌



イ 職員名簿

| | | | |
|-----------------|--------|---------------|--------|
| 館長(技術) | 薄井 和男 | 非常勤学芸員 | 豊田 倫子 |
| 副館長 | 竹内 廣一 | 情報資料課長(～5月) | 木佐貫 健二 |
| 管理課長 | 小山田 明 | (6月～) | 中村 喜一 |
| 管理課 副主幹(～5月) | 樋渡 功 | 情報資料課 副主幹 | 篠崎 淑子 |
| 副主幹(6月～) | 佐藤 好枝 | 副主幹 | 伊藤 友久 |
| 主査(事務) | 細山 富幸 | 専門員(事務) | 岩田 正明 |
| 〃 | 中山 聖枝 | 非常勤司書 | 下田 知美 |
| 主事 | 村野井 聡 | 非常勤事務補助員 | 鈴木 敏子 |
| 臨時主事 | 生澤 恵子 | 〃 | 三瓶 裕子 |
| 専門員(事務) | 瀬戸 昇 | 〃 | 神津 由紀子 |
| 〃 | 柴田 健治 | 非常勤写真職 | 岸山 浩之 |
| 非常勤自動車運転員 | 大塚 清志 | 非常勤資料整理員 | 檜皮 千穂 |
| 非常勤事務補助員 | 丸山 百合子 | 〃 | 浅井 真里子 |
| 企画情報部長(～5月) | 柏木 弘子 | 学芸部長(技術) | 寺寄 弘康 |
| (6月～) | 天野 勇 | (考古・中世担当) | |
| 企画普及課長(技術)(6月～) | 永井 晋 | 専門学芸員(～5月) | 永井 晋 |
| 企画普及課 副主幹 | 山口 真喜子 | 主任学芸員 | 古川 元也 |
| 主事 | 伊藤 瑞湖 | 学芸員 | 小井川 理 |
| 専門員(事務) | 余合 和歌子 | 〃 | 千葉 毅 |
| 非常勤教育普及員 | 有村 泰治 | 〃 | 神野 祐太 |
| 非常勤職員 | 野島 愛子 | 専門員(技術) | 鳥居 和郎 |
| 非常勤学芸員 | 田辺 可奈 | (近世・近現代・民俗担当) | |
| 〃 | 泉山 花江 | 主任学芸員 | 嶋村 元宏 |
| 〃 | 瀨本 明海 | 〃 | 桑山 童奈 |

| | | | |
|--------------------|-------|----------|--------|
| 主任学芸員 | 丹治 雄一 | 非常勤学芸員 | 武田 周一郎 |
| 学芸員(～5月)主任学芸員(6月～) | 角田 拓朗 | 〃 | 根本 佐智子 |
| 学芸員 | 新井 裕美 | 〃 | 三浦 麻緒 |
| 専門員(技術) | 古宮 雅明 | 〃 | 米沢 玲 |
| 専門員(事務) | 鈴木 尚遠 | 非常勤資料整理員 | 吉澤 智恵子 |
| 〃 | 小堀 信夫 | 〃 | 中村 茉貴 |

6月1日の人事異動前後の職員のみ掲載しています。

(2) 歳入・歳出

ア 歳入

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | 内 訳 |
|----------|--------|-----------------------------|
| 行政財産使用料 | 571 | ミュージアムショップ等の建物使用料 |
| 歴史博物館使用料 | 19,746 | 観覧料収入(常設展 6,058、特別展 13,688) |
| 立替収入 | 400 | 喫茶室等の電気料・水道料 |
| 雑入 | 7,429 | 図録販売収入、ライブラリー複写料金等 |
| 教育受講料収入 | 378 | 県立機関活用講座受講料 |
| 合 計 | 28,524 | |

イ 歳出(人件費含まず)

(単位：千円)

| 事 業 名 | 金 額 | 内 訳 |
|---------------|---------|--|
| 維持運営費 | 54,400 | 維持管理・事業運営 |
| 展示事業費 | 21,605 | 常設展示維持管理、特別展の開催、総合案内業務 |
| 調査研究事業費 | 499 | 総合研究・基礎研究、調査研究報告書の作成 |
| 資料整備費 | 9,531 | 博物館資料収集、資料修繕 |
| 学習支援事業費 | 874 | 講座・講演会の開催、ボランティア活動推進、 図書等資料整備、広報用資料作成 |
| 情報システム整備費 | 50,503 | システム運用、データ入力等 |
| 県立機関活用講座開催事業費 | 330 | 講座の開催 |
| 教育施設維持修繕費 | 1,163 | 施設・設備の修繕 |
| 合 計 | 138,905 | |

(3) 入館者状況

ア 入館者数

(単位：人)

| 月 | 展示室入館者 | | | フリーゾーン 利用者 | 合 計 |
|----|--------|-------|--------|---------------|--------|
| | 有料入館者 | 無料入館者 | 小 計 | | |
| 4 | 1,702 | 1,286 | 2,988 | 5,128 | 8,116 |
| 5 | 5,008 | 3,664 | 8,672 | 7,215 | 15,887 |
| 6 | 2,959 | 2,418 | 5,377 | 5,390 | 10,767 |
| 7 | 2,203 | 918 | 3,121 | 6,152 | 9,273 |
| 8 | 3,331 | 1,019 | 4,350 | 6,579 | 10,929 |
| 9 | 2,913 | 1,208 | 4,121 | 6,057 | 10,178 |
| 10 | 17,484 | 3,962 | 21,446 | 8,897 | 30,343 |

| | | | | | |
|----|--------|--------|---------|--------|---------|
| 11 | 9,816 | 13,103 | 22,919 | 9,353 | 32,272 |
| 12 | 4,509 | 1,980 | 6,489 | 4,106 | 10,595 |
| 1 | 2,578 | 2,296 | 4,874 | 4,557 | 9,431 |
| 2 | 3,166 | 2,438 | 5,604 | 5,160 | 10,764 |
| 3 | 7,229 | 6,189 | 13,418 | 6,900 | 20,318 |
| 合計 | 62,898 | 40,481 | 103,379 | 75,494 | 178,873 |

イ 有料入館者内訳

(単位：人)

| 月 | 個人 | | | | 団体(団体扱い含む) | | | | 合計 |
|----|--------|-------|-------|--------|------------|-------|-----|-------|--------|
| | 20歳以上 | 20歳未満 | 高校生 | 65歳以上 | 20歳以上 | 20歳未満 | 高校生 | 65歳以上 | |
| 4 | 785 | 67 | 124 | 551 | 150 | 25 | 0 | 0 | 1,702 |
| 5 | 1,675 | 164 | 662 | 1,548 | 687 | 210 | 0 | 62 | 5,008 |
| 6 | 1,073 | 139 | 97 | 959 | 382 | 140 | 0 | 169 | 2,959 |
| 7 | 1,039 | 113 | 75 | 652 | 250 | 7 | 0 | 67 | 2,203 |
| 8 | 1,516 | 155 | 165 | 894 | 545 | 33 | 0 | 23 | 3,331 |
| 9 | 1,121 | 133 | 43 | 1,210 | 350 | 34 | 0 | 22 | 2,913 |
| 10 | 5,540 | 222 | 104 | 9,906 | 1,647 | 65 | 0 | 0 | 17,484 |
| 11 | 3,094 | 229 | 50 | 4,635 | 1,434 | 96 | 0 | 278 | 9,816 |
| 12 | 1,154 | 236 | 26 | 1,834 | 821 | 85 | 0 | 353 | 4,509 |
| 1 | 1,071 | 109 | 22 | 982 | 93 | 212 | 0 | 89 | 2,578 |
| 2 | 1,154 | 113 | 64 | 1,381 | 421 | 33 | 0 | 0 | 3,166 |
| 3 | 2,334 | 177 | 75 | 3,942 | 647 | 54 | 0 | 0 | 7,229 |
| 合計 | 21,556 | 1,857 | 1,507 | 28,494 | 7,427 | 994 | 0 | 1,063 | 62,898 |

ウ 無料入館者内訳

(単位：人)

| 月 | 条例別表備考欄指定の無料入館者 | | | | 減免による無料入館者 | | | | | | 合計 |
|---|-----------------|-----|-------|------------|------------|-----------|---------|-------|----------|-----|-------|
| | 未就学 幼児 | 小学生 | 中学生 | 特別支援 学校 | 高校生 | 生徒引 率者 | 優待 券 | 招待券 | 障がい 者 | その他 | |
| 4 | 25 | 229 | 472 | 0 | 288 | 24 | 13 | 103 | 84 | 48 | 1,286 |
| 5 | 26 | 266 | 1,221 | 0 | 971 | 98 | 20 | 790 | 181 | 91 | 3,664 |
| 6 | 18 | 159 | 930 | 0 | 40 | 32 | 11 | 1,067 | 98 | 63 | 2,418 |
| 7 | 15 | 230 | 306 | 0 | 39 | 20 | 7 | 96 | 96 | 109 | 918 |
| 8 | 35 | 324 | 232 | 0 | 18 | 2 | 15 | 164 | 129 | 100 | 1,019 |
| 9 | 16 | 216 | 201 | 13 | 48 | 29 | 14 | 393 | 133 | 145 | 1,208 |

| | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-------|-------|----|-------|-----|-----|--------|-------|-------|--------|
| 10 | 14 | 830 | 788 | 8 | 245 | 84 | 17 | 1,323 | 363 | 290 | 3,962 |
| 11 | 12 | 1,533 | 262 | 1 | 274 | 95 | 12 | 10,480 | 226 | 208 | 13,103 |
| 12 | 8 | 337 | 496 | 0 | 0 | 38 | 18 | 852 | 160 | 71 | 1,980 |
| 1 | 45 | 335 | 1,015 | 0 | 67 | 41 | 22 | 578 | 105 | 88 | 2,296 |
| 2 | 28 | 338 | 1,183 | 0 | 0 | 28 | 19 | 575 | 122 | 145 | 2,438 |
| 3 | 26 | 232 | 292 | 0 | 10 | 15 | 26 | 5,217 | 218 | 153 | 6,189 |
| 合計 | 268 | 5,029 | 7,398 | 22 | 2,000 | 506 | 194 | 21,638 | 1,915 | 1,511 | 40,481 |

エ 特別展の入館者状況(前掲表内数)

(単位：人)

| 特別展名 | 有料鑑賞者 | 無料鑑賞者 | 合計 |
|---------------------------|--------|--------|--------|
| 中世東国の茶 - 武家の都鎌倉における茶の文化 - | 3,867 | 6,018 | 9,885 |
| 没後 100 年 五姓田義松 - 最後の天才 - | 20,106 | 10,766 | 30,872 |
| 国宝 一遍聖絵 | 5,209 | 2,406 | 7,615 |
| 石展 - かながわの歴史を彩った石の文化 - | 4,213 | 5,849 | 10,062 |
| 合計 | 33,395 | 25,039 | 58,434 |

(4) 広報・広聴

ア 広報実績

平成 27 年度の広報実績は下記の通り(館の P R、特別展・テーマ展、催しもの等)。

| 媒体別 | 紙媒体 | | | | 電波媒体 | | インターネット | 計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|---------|-----|
| | 新聞 | 雑誌 | 単行書 | その他 | テレビ | ラジオ | | |
| 件数 | 290 | 103 | 2 | 13 | 11 | 9 | 117 | 544 |

(5) 施設概要

ア 概要

(ア) 施設の規模

敷地面積 4,160.82 m²
 構造 石・煉瓦造り(一部鉄筋コンクリート造り)地上 3 階・地下 1 階
 延床面積 10,565.47 m²
 部門別面積 展示部門 = 約 3,896 m²、学習支援部門 = 約 386 m²、収蔵部門 = 約 619 m²
 研究部門 = 約 1,306 m²、サービス部門 = 約 438 m²、管理部門 = 約 1,251 m²
 その他共用部分 = 約 2,670 m²

(イ) 建物の特徴

旧館部分 旧横浜正金銀行本店本館(明治 37 年(1904)竣工、設計：妻木頼黄)
 ネオ・バロック様式
 新館部分 神奈川県立博物館として新築(昭和 42 年(1967))
 指定状況 国指定重要文化財(建物旧館部分・昭和 44 年(1969)3 月 12 日指定)
 国指定史跡(平成 7 年(1995)6 月 27 日指定)

(ウ) 施設の状況

1 階：【展示室、学習支援関係諸室】

特別展示室、コレクション展示室、
 ミュージアムライブラリー、ミュージアムショップ、喫茶室、情報処理室 等

- 2 階：【展示室、管理課・企画情報部関係諸室】
 総合テーマ展示室(近世・近代・現代、民俗)
 館長室、管理課、企画情報部、応接室、図書整理室、書庫 等
- 3 階：【展示室、学芸部関係諸室】
 総合テーマ展示室(古代・中世)
 学芸部、資料整理室、展示準備工作室、作業室、収蔵庫 等
- 地下1階：【講堂、バックヤード諸設備】
 講堂、収蔵庫、荷捌室、防災センター、写場、暗室、資料整理室、
 その他機械室、倉庫 等

イ 館内施設

1階のフリーゾーンには来館者のために次の施設がある。

(ア) ミュージアムショップ

博物館の刊行物(展示解説書、特別展図録)をはじめ、神奈川の文化や歴史に関する書籍、所蔵資料の絵はがき、博物館見学の記念になるような品々を販売する。運営は民間の企業が行っている。

(イ) ともしび喫茶室

来館者に休憩してもらえるように喫茶室がある。軽食、喫茶ができ、店内には県内の福祉施設で作られた品々も販売されている。運営は「社会福祉法人 県央福祉会」が行い、知的障がい者の就業の場ともなっている。

ウ 外部協力

神奈川県立歴史博物館には、県内の博物館の質的向上や文化財に対する普及啓発を行う次の外部団体の事務局が設置されている。

(ア) 神奈川県文化財協会

昭和29年(1954)から活動している任意団体である。現在は会員に対しての講演会、見学会など文化財に関する知識の啓発活動を中心に活動している。協会員数248人(平成27年4月1日現在)。

| | | |
|-------|-------------|-------|
| 事務局長 | 副館長 | 竹内 廣一 |
| 事務局次長 | 学芸部長 | 寺寄 弘康 |
| 事務局員 | 専門学芸員(～5月) | |
| | 企画普及課長(6月～) | 永井 晋 |
| 〃 | 主任学芸員 | 角田 拓朗 |
| 〃 | 学芸員 | 千葉 毅 |
| 〃 | 主査 | 細山 富幸 |
| 〃 | 主事 | 村野井 聡 |
| 〃 | 専門員(事務) | 鈴木 尚遠 |

(イ) 神奈川県博物館協会

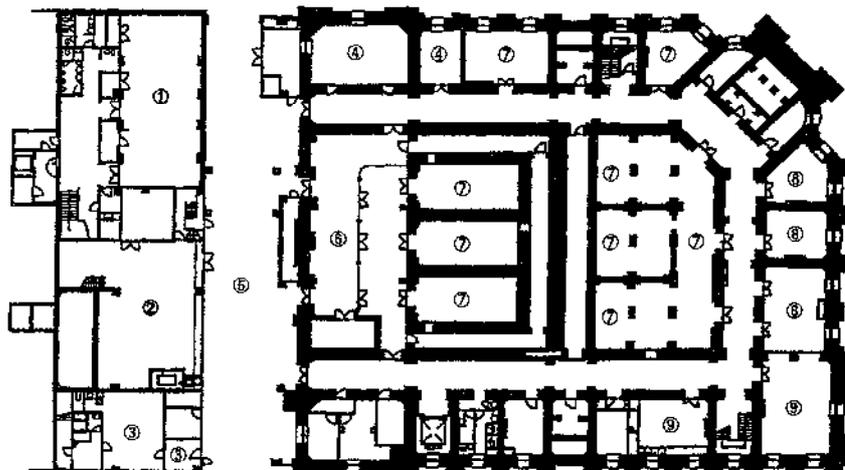
昭和30年(1955)から活動している県内博物館施設の任意団体で、博物館のPR、職員の研修、会報の発行など各種活動を行っている。加盟館園数94館(平成27年4月1日現在)。

| | | |
|-------------------|----------|-------|
| 会長 | 館長 | 薄井 和男 |
| 事務局長 | 副館長 | 竹内 廣一 |
| 事務局次長 | 学芸部長 | 寺寄 弘康 |
| 人文科学部会幹事 | 学芸員 | 小井川 理 |
| 60周年事業災害対策部会 担当幹事 | 主任学芸員 | 角田 拓朗 |
| 事務局員 | 副主幹(～5月) | 樋渡 功 |
| | (6月～) | 佐藤 好枝 |
| 〃 | 専門員(事務) | 小堀 信夫 |

エ 平面図

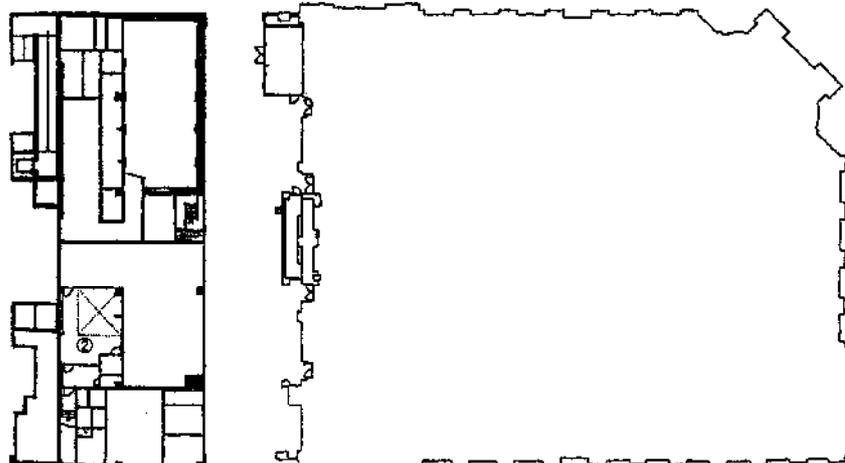
地下平面図

講堂
機械室
防災センター・保安室
電気室
サービスヤード
荷捌室
収蔵庫
資料整理室
写場・暗室



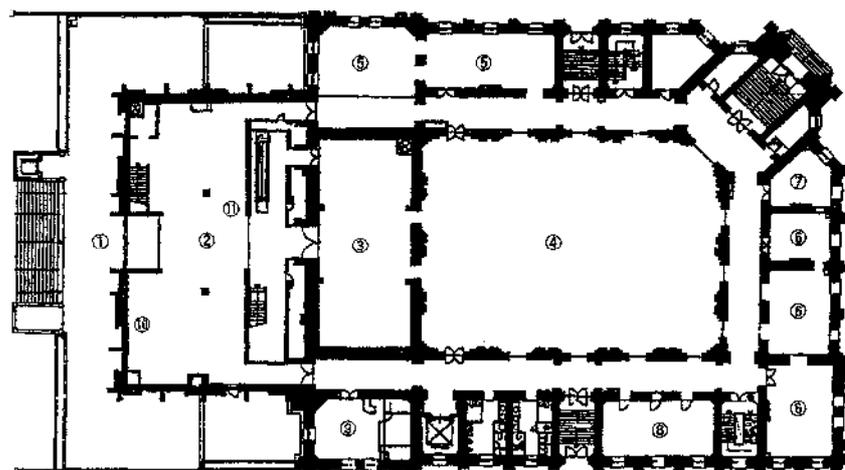
中1階平面図

放送機器・映写室
中央監視室



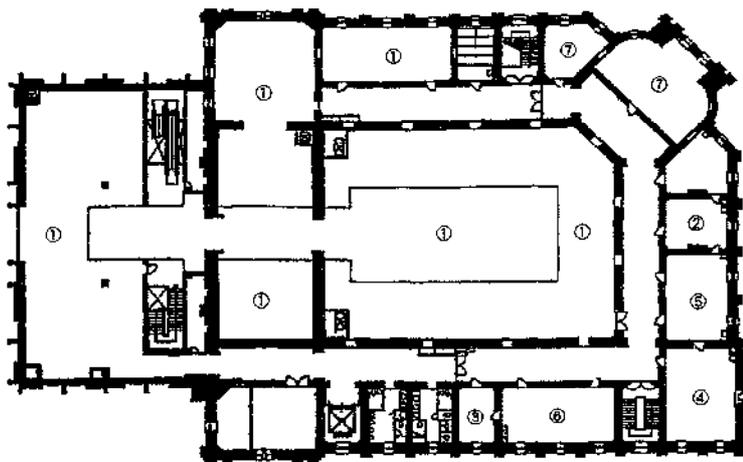
1階平面図

玄関
エントランスホール
導入展示室
特別展示室
コレクション展示室
ミュージアムライブラリー
情報処理室
会議室
喫茶室
ミュージアムショップ
総合案内



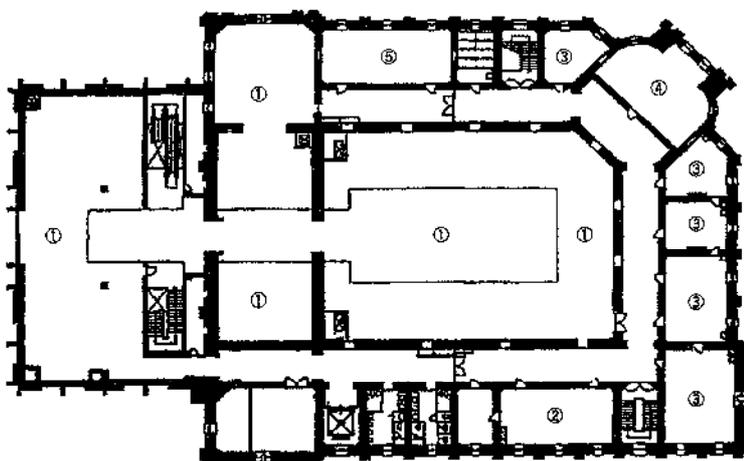
2階平面図

- 展示室
- 館長室
- 第二応接室
- 管理課
- 応接室
- 企画情報部
- 図書整理室・書庫



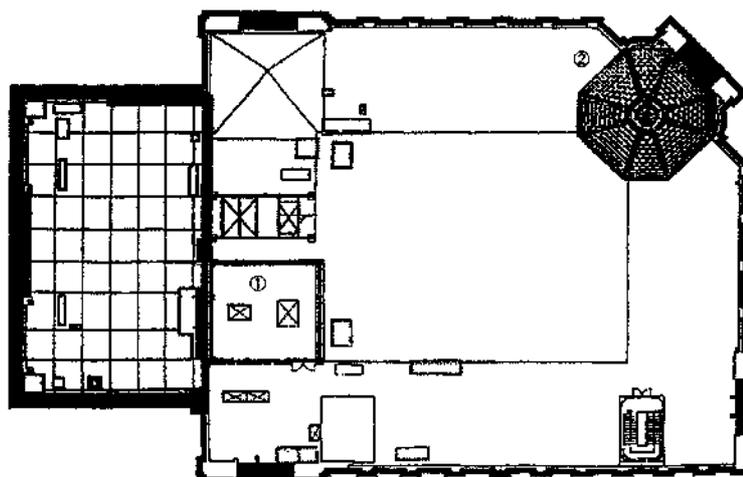
3階平面図

- 展示室
- 学芸部
- 資料整理室
- 展示機材倉庫
- 收藏庫



屋上平面図

- 空調機械室
- ドーム



3 調査・研究

(1) 館独自の研究事業費によるもの

ア 総合研究

テーマ：鎌倉彫後藤家資料に見る近代鎌倉彫の受注に関する基礎的研究

担当：学芸員 小井川 理

共同研究者：後藤 圭子 氏(鎌倉彫後藤家当主、(株)博古堂代表取締役)(平成 27 年度)

期間：平成 26～28 年度

概要： 鎌倉彫後藤家には、明治時代以降の鎌倉彫の注文制作をめぐる、賣上帳、注文帳と題される記録が残る。それらの帳面には、発注者、品物、値段等が記載され、当時の鎌倉彫の受容層の広がりや意匠に対する志向がよみとれる。本研究は、後藤家資料の読解分析を通して、近代鎌倉彫成立期の受容の様相を明らかにし、鎌倉彫が観光地鎌倉に根ざした工芸として確立されるに至る社会的背景を考察するものである。平成 27 年度は 7 点の資料の内容分析に着手し、その成果として帳簿の作成者や責任者の別により分類されること、現存作例につながる情報として、後藤斎宮が自工房作の鎌倉彫製品に付して発行した「一百年間保証券」番号にかかわる記述があること、寺社の彫刻や調度の新造・修繕の記事が多く含まれることを指摘した。

テーマ：岩崎教章・章山に関する総合的研究

担当：主任学芸員 角田 拓朗

共同研究者：非常勤学芸員 武田 周一郎、銅石版画研究家 森 登 氏

期間：平成 26 年～29 年度

概要： 本年度は、特に教章らが作成した地図等の内容について精査した。

イ 個別研究

テーマ：「当館所蔵の横浜市十王堂免遺跡出土の縄文時代早期石器コレクションについての基礎的研究」

担当：学芸員 千葉 毅

期間：平成 27 年度

概要： 当館では、縄文時代の石器を多く所蔵しているが、その中で縄文時代早期の石器群は 1000 点近くにのぼり、全国的に見ても非常に稀有なコレクションとなっている。しかし、これらの資料はこれまで体系的な整理、分析が行われてこなかったため、全貌が把握されているとは言えない状況であった。

本研究ではその全体像を把握するため、コレクションの基礎的な整理、分類を行った。その結果、これまで単に「礫器」とされていたものの中にもいくつかのグループが可能なタイプが存在することなどが明らかとなってきた。整理は途上であるため、今後も継続して行っていく必要がある。

なお、本コレクションの一部を特別展『石展 かながわの歴史を彩った石の文化』にて展示公開した。

ウ グループ研究

次のテーマでグループごとに研究を進めている。

考古：神奈川県内遺跡・遺物調査

中世：宋風文化の研究

近代：横浜の木版印刷に関する基礎的研究

現代：戦後横浜における映画館活動に関する基礎的研究

民俗：民俗社会における贈答慣行

教育普及：小・中学校の見学実習を支援するワークシートの開発と検証

工 調査研究成果報告会

開催日時：平成 28 年 3 月 1 日(火) 13:00~17:40

内 容：総合研究および個別研究の成果・報告書の内容について報告した。

(ア) 総合研究

a 発表者：学芸員 小井川 理

テーマ：鎌倉彫後藤家資料に見る近代鎌倉彫の受注に関する基礎的研究

概要：前記「ア 総合研究」を参照

b 発表者：主任学芸員 角田 拓朗

テーマ：岩橋教章・章山に関する総合的研究

概要：前記「ア 総合研究」を参照

(イ) 個別研究

a 発表者：学芸員 千葉 毅

テーマ：当館所蔵の横浜市十王堂免遺跡出土の縄文時代早期石器コレクションについての基礎的研究

概要：前記「イ 個別研究」を参照

b 発表者：主任学芸員 古川 元也

テーマ：「一遍聖絵」と融通念仏信仰

概要：「一遍聖絵」制作の意図からみた融通念仏教団との関係性について、本報告では尾張国甚目寺と良忍の関係に着目することで、標記両者の関係を確認した。尾張国は口称念仏（cf. 観想念仏）を広めた融通念仏教団との関わりから考えても重要な場所であり、当時の甚目寺は著名寺院ではなく、「一遍聖絵」としては異例のことであるが、良忍と関係を持つ在地領主クラスの地域権力者によって整備された寺院である可能性がある。「一遍聖絵」ではその寺院に毘沙門天を描き込むことによって、良忍に対する崇尊の念を付加しているものと考えた。

c 発表者：学芸員 小井川 理

テーマ：方便としての一遍聖絵

概要：平成 27 年度秋の特別展「国宝 一遍聖絵」において聖絵全巻を通覧する機会を得た所見から、聖絵の制作環境ならびに機能を考察するための視点を提示することを試みた。第一に、12 巻 48 段の構成、詞書の料紙装飾から聖絵調巻の理念を、第二に、和歌を下敷きにした図像や、教化の手法として和歌が登場することから、聖絵の語りと絵画化に和歌の存在が大きく関与していることを、第三に、聖絵では詞書と絵とがそれぞれの機能を効果的に発揮して一遍の行状を語り上げていることを指摘し、説話や和歌、装飾経と近い環境において、念仏勧進の「方便」としての機能を有して制作されたことを考察した。

d 発表者：学芸員 神野 祐太

テーマ：中世における聖徳太子孝養像のイメージ

概要：聖徳太子孝養像 = 十六歳像というイメージの成立に関して報告した。太子ゆかりの聖徳太子廟や四天王寺聖霊殿といった寺院に安置される太子像について概観し、そのイメージの生成に四天王寺別当であった慈円の影響があったのではないかと推定し、根本像と模刻像との関係性を再検討した。

e 発表者：主任学芸員 桑山 童奈

テーマ：江戸時代の神奈川地域における絵図の出版状況および浮世絵との関係についての研究

概要：現在の神奈川県域の名所 金沢八景、鎌倉、江の島、大山、箱根ほか - で出版された絵図について調査を行い、江戸で出版された錦絵の風景画と比較した研究の報告。
絵図は鎌倉、金沢八景、江の島、箱根で多く出版されていること、お土産ものとして販売を目的としたもののほかに 土地の顕彰のために私的に出版されたと推測できるものがあること、ほぼ同じ図柄で出資元が違う例があること、版元や絵師、画中の賛者に江戸の人々を起用した例も少ないがあることを紹介した。錦絵と取り上げた場所を比較すると鎌倉は錦絵には描かれず、土地の顕彰を目的とする私的出版物と推測される絵図には錦絵では取り上げられない場所を題材としたものがあり、表現を比較すると錦絵は絵図に対してとらえる範囲が狭く、絵図の表現が直接錦絵に影響を与えた例はなかったことを報告した。

f 発表者：主任学芸員 嶋村 元宏

テーマ：幕末期の日露関係史料について 江戸湾防備前史

概要：本報告は、公益財団法人日本海事科学振興財団・船の科学館が実施する「海の学びミュージアムサポート」のなかのプログラム3「海の学び調査・研究サポート」の支援を得ておこなった「『海にまもられた日本』 北方の海からの開国に関する基礎的研究」の成果の一部である。

四方を海に囲まれた海国日本は、自然の要害である海によって永らく守られてきた。江戸幕府存続の基盤の一つであった「鎖国」政策が200年にもわたって維持できたのも、海が外国船の日本への接近を困難にしてきたことと密接な関係がある。そのような歴史をふまえ、神奈川の歴史ならでは、三浦半島の海岸防禦(海防)態勢強化ならびに開国への契機が、実は皆の知るところの米国ペリーではなく、近海を隔てた「隣国」であるロシア使節の来航であったことを改めて明らかにすることをテーマにした特別展の準備調査として実施した。

また、「海」は外国を排除するための要害としての機能だけでなく、異文化交流の「路(みち)」としての機能を持つことと、開催を予定していた特別展のテーマの柱として位置づけた、米国に先駆け日本へ通商を要求したロシア使節との間に、海を通して人、物、情報の交流があったことを示す資料を再確認した。

さらに、各資料所蔵施設の資料調査ならびに、関連地点についてフィールドワークを実施したことで、諸外国から見た「海」を通じた視点で「日本」を表現できる展示資料としての画像、文献を収集・確認することができた。

g 発表者：非常勤資料整理員 中村 茉貴

テーマ：生巧館について 木口木版(清刷り)の初出と款記

概要：国文学研究資料館が所蔵する生巧館制作の木口木版について共同研究を行っていることから、史料紹介および調査の途中経過を報告した。

h 発表者：非常勤学芸員 武田 周一郎

テーマ：高度経済成長期の馬車道

概要：本報告では当館が立地する馬車道における街づくりの動向について、当館所蔵資料や馬車道商店街協同組合所蔵資料に基いて紹介した。横浜駅周辺が県下最大の繁華街として台頭した高度経済成長期には、東京オリンピックの開催や国鉄根岸線の開通、県立博物館の開館に合わせて、街路灯の整備などが実施された。さらに横浜市地域商店街づくり指導事業による再開発が行われ、現在の街並みの原型が形成された。上記の動向を整理した上で、高度経済成長期に関する展示のあり方について展望を示した。

(2) 日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの

神奈川県立博物館であった昭和53年度から、文部省学術研究機関の指定を受け、科学研究費助成金が交付されるようになった。神奈川県立歴史博物館に機構変更後も継続して指定されている。平成27年度の採択は3件である。(加えて他機関の分担者が1件)

ア 研究種目名：基盤研究(B)

課題番号：23320147

研究課題：金沢文庫文書及び称名寺聖教紙背文書の復元的研究(平成23～27年度)

研究代表者：専門学芸員 永井 晋

研究実績概要： 最終年度にあたるため、インターネット公開先との調整、公開に向けたデータの整理を目指したが、公開先との調整がまとまらず、金沢文庫図書室でスタンド・アローンの検索システムとして公開することになった。システムに搭載した情報は、重要文化財「金沢文庫文書」4149通本文のフルテキスト、文書の紙背に残る聖教等の書誌データ、文書表裏の画像データである。検索については、古文書及び書誌データは全文フルテキスト検索、画像については、各文書との間で関連付けを行い、検索でヒットした文書及び紙背聖教に合わせて呼び出せるようにした。

イ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：25370817

研究課題：江戸時代の神奈川県における絵図の出版状況および浮世絵との関係についての研究(平成25～27年度)

研究代表者：主任学芸員 桑山 童奈

研究実績概要： 27年度は最終年度であり前年度までに終了しなかった、江戸時代に現在の神奈川県域で出版された絵図類の所在確認と調査を各所蔵機関が発行している資料目録を手がかりに実見した。紙の質や版木の摩滅の有無の確認、複数機関の所蔵例を類例として結びつけるなど、実見しなければわからない知見を得ることができた。また、出版物において常識的なことではあるが、摺によって文字情報が異なることも確認できた。結果、近世の神奈川県内の絵図出版について、以下の知見を得ることができた。

出版システムについて：絵が同じで一見、同じ絵図に見えるものであっても出資元が違う資料があった。同じ絵で出資元の部分だけ版木を入れ替えるシステムがあったと推測できる。

江戸で出版された錦絵の名所絵と取り上げる名所の比較：錦絵の名所絵で盛んに取り上げられた場所 絵図出版が盛んな場所ではないことが判明した。絵図は名所の知名度や人気に拘わらず、出資者がいれば出版される。また、従前から指摘されているが鎌倉は絵図の出版はさかんであるが、錦絵は殆ど刊行されない。

絵図と錦絵の表現の比較：絵図の出版は錦絵名所絵の出版に先行するが、絵図は今回の調査では鳥瞰図形式の例が多く、錦絵は狭い範囲を取り上げることが多いため、影響関係が直接認められる例はなかった。が、今後、細部の表現も詳しく分析していくことで、影響関係を新たに見いだせるかもしれない。

以上のような結果をまとめ、平成28年3月に調査報告書を作成した。

ウ 研究種目名：基盤研究(C)

課題番号：26370812

研究課題：横浜正金銀行ニューヨーク支店の研究(平成26～28年度)

研究代表者：学芸部長 寺寄 弘康

研究実績概要： 研究期間3ヶ年の2ヶ年目で、米国立公文書館所蔵横浜正金銀行ニューヨーク支店資料の中から明治13年から明治22年までの「本店公信」の翻刻に着手し、明治13年から明治18年、明治22年分を完了した。そのほか研究会議を開催し、研究会を開催し、資料の分析や知見の交換を実施した。

工 研究種目名：基盤研究(B)

課題番号：15H03502

研究課題：明治期図画手工教科書データベース構築に向けた総合的調査研究(平成27～29年度)

研究代表者：岡山大学大学院准教授 赤木理香子 氏

研究分担者：主任学芸員 角田 拓朗

研究実績概要：平成27年度から三か年の調査研究。初年度として、当館に所蔵されている教科書群の再整理ならびにデジタル撮影を開始。将来的なデータベース構築の第一歩を記した。

(3) 個人研究活動

ア 研究報告書

『神奈川県立博物館研究報告 - 人文科学 - 』第42号 平成27(2015)年11月27日発行

a 種別：研究ノート

表題：新安沖沈没船の墨書瓷器について

筆者：主任学芸員 古川 元也

要旨：日本の中世前期に、どのような陶磁器が船載、輸送され、受容されたのかを知ることができる資料に、大韓民国(韓国)全羅南道西部の新安沖に沈没した輸送船より発見された陶磁器群がある。このいわゆる新安沈没船は、荷札などから至治3年(323)以降に、浙江省慶元(寧波)を出港して博多へ向かった船と考えられている。新安沈没船陶磁器群には、約2万点の文物が積載されていたと推計されており、その陶磁器類には、器胎見込み部分に墨書がある青磁、白磁が含まれている。一部は、図版および所見として報告されているものの、経年劣化もあり剥落、消失も多く難読である。本稿では、韓国国立中央博物館(ソウル)、国立海洋文化財研究所(木浦)での実査に基づき、それら瓷器の墨書を再検討し、墨書銘の文字確定を試みた。また、その墨書銘が墨書瓷器としてどのような意味を持つのかについての見通しを述べた。

キーワード：新安沈没船、青磁、白磁、墨書、中世

b 種別：研究ノート

表題：『従江戸長崎迄海陸之絵図』小考

筆者：専門員 古宮 雅明

要旨：当館所蔵の街道絵図『従江戸長崎迄海陸之絵図』(以下、本絵図とする)の注文者、使用者、制作年代の解明を試みた。本絵図には元となった絵図が存在するとの山本光正氏の研究を前提に、元絵図と本絵図を比較し、その異同を抽出・分析する事でこの課題に迫った。結論として、本絵図制作には岡山藩主池田綱政周辺が関わっていること、制作年代は寛文12(1672)年から元禄9(696)年の間と推定されることを示した。

キーワード：街道絵図、岡山藩、池田綱政、朝鮮通信使

c 種別：研究ノート

表題：横浜正金銀行の海外展開 ニューヨーク出張所の開設を中心に

筆者：学芸部長 寺崎 弘康

要旨：横浜正金銀行が明治13年に開業し、昭和22年に閉鎖するまで海外店舗数は168もの店舗を開設した。時代や地域により店舗の特徴が異なり、それゆえ海外店舗については十分に研究がなされてこなかったことから、どのような経緯と理由で店舗の開設がなされたのかを大陸別に明らかにし、正金銀行の中でも最も早く開設されたニューヨーク支店の開設当所の業務について分析した。

キーワード：横浜正金銀行、海外店舗、ニューヨーク出張所、アメリカ国立公文書館所蔵資料

d 種別：資料紹介

表題：神奈川県立歴史博物館所蔵の考古資料

林國治氏、小林小三郎氏旧蔵の横浜市称名寺貝塚採集資料

筆者：学芸員 千葉 毅

要旨：神奈川県立歴史博物館が所蔵する横浜市称名寺貝塚採集資料の報告を行った。これらは地元収集家の林國治氏、小林小三郎氏旧蔵資料である。

このうち林氏旧蔵資料は、昭和20年代に採集された資料である。武蔵野郷土館の吉田格氏がこの資料を見て称名寺貝塚の発掘を希望し、それにより実施した発掘調査によって縄文時代後期初頭の称名寺式土器の設定へと至った。その意味でこの林氏資料は称名寺式土器研究の端緒となった資料群とすることができ、学史的にも非常に貴重な資料である。

キーワード：称名寺貝塚、称名寺式土器

e 種別：資料紹介

表題：『鎌倉証菩提寺年中行事』にみえる天台寺門流の僧侶

筆者：専門学芸員・企画普及課長 永井 晋

要旨：証菩提寺は、石橋山合戦で討死した佐奈田義忠の菩提寺として伝えられているが、中世に成立した資料を江戸時代に書写した『鎌倉証菩提寺年中行事』を分析すると、天台山門流・天台寺門流・真言密教の諸流の血脈に連なる僧侶が阿闍梨職(供僧)を務める顕密仏教の寺院であったことが明らかになる。本稿では、その中で天台寺門流の僧侶を抽出し、鶴岡八幡宮供僧・明石谷一心院とつながりの深い密教寺院としての姿を明らかにした。

キーワード：証菩提寺、中世密教、天台寺門流

f 種別：資料紹介

表題：松平造酒助江戸在勤日記 - 元治元年九月二日～九月十一日 -

筆者：非常勤学芸員 根本 佐智子・専門員 古宮 雅明

要旨：当館所蔵「松平造酒助江戸在勤日記」の翻刻。筆者松平造酒助は庄内藩士、家禄は千四百石。組頭や家中武器取扱掛をつとめた人物である。造酒助は元治元年八月より慶応元年八月まで江戸に在勤している。

本稿は元治元年九月二日から同九月十一日まで、全五十綴のうち、「二」の途中から「三」を掲載した。庄内藩江戸屋敷では第一次長州征伐進発の準備が進められているが、造酒助はその対応に不満を述べている。江戸市中で見かけた外国人の姿など随所に入る挿し絵が興味深い。

キーワード：松平造酒助、庄内藩、元治年間、江戸市中取締、新徴組

g 種別：資料紹介

表題：信濃国松代藩の横浜警衛に関する史料について 国文学研究資料館「信濃国松代真田家文書」を中心に

筆者：主任学芸員 嶋村 元宏

要旨：本稿は、平成26年度神奈川県立歴史博物館調査研究事業個別研究「幕末開港期における信濃国松代藩の横浜警衛」の成果の一部である。

当該研究においては、神奈川(横浜)開港場の警衛を文久2年から担った信濃国松代藩の活動実態を明らかにすることを目的とし、国文学研究資料館所蔵「信濃国松代真田家文書」の調査を行った。その結果、「信濃国松代真田家文書」に限った場合、有事における藩主の行動や神奈川奉行の指揮監督下に置かれることなどを示す史料がわずかに含まれるものの、物品購入に関する金銭出納帳と横浜警衛を命じられた松代藩士が出役する際と引き払う際に藩から借金をしていたことを示す内借証文が大半であることを得た。また、これまで松代藩が横浜警衛から離れた時期について判然としていなかったが、元治元年10月までは横浜警衛を担い続けていたことが判明した。

今後について、「信濃国松代真田家文書」に含まれる「日記」類ならびに国文学研究資料館所蔵「信濃国松代依田家文書」の利用、および松代藩士と横浜周辺住民との交流に目を配ることを課題としてあげた。

キーワード： 横浜警衛、開港場、太田陣屋、松代藩、真田家

イ 個人研究活動

凡例（刊行年などは西暦で統一）

- 1 著作
 - (1) 単著・共著・学術論文
 - (2) 書評・余録
 - (3) 資(史)料紹介
- 2 学術口頭報告
- 3 図録執筆・解説書執筆
- 4 新聞・雑誌等への寄稿
- 5 各種調査委員会等
- 6 講座講師等(特に館名などを記さないものは当館での実施。)
- 7 ここ1年間の課題・研究テーマ

薄井 和男(館長・美術・中世)

- 5 相模原市文化財保護審議会委員
逗子市文化財保護審議会委員
厚木市文化財保護審議会委員
川崎市文化財保護審議会委員
大磯町文化財保護審議会委員
平塚市文化財保護審議会委員
時宗文化財調査委員
- 7 東国時宗寺院の仏像調査。

寺崎 弘康(学芸部長・歴史・現代)

- 1(2) 「特別展「まぼろしの紙幣 横浜正金銀行券」に寄せて」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻201号、pp6-8、武田周一郎との共著、2015年12月)
- 6 腰越学習センター講座「関東大震災などかながわの災害史に学ぶ」講師(「関東大震災とかながわ-文化財の被害を中心に-」、鎌倉市生涯学習推進員、2015年11月9日、於腰越学習センター)
- 7 横浜正金銀行関係者の資料整理、行員録のデータベース化などを実施している。

永井 晋(専門学芸員・歴史・中世)

- 1(1) 「源頼政と木曾義仲 勝者になれなかった源氏」(『中公新書』2336、2015年8月25日)
「以仁王事件の諸段階 嗾訴から挙兵への段階的発展」(『鎌倉遺文研究』36号、鎌倉遺文研究会、2015年4月)
「高倉宮以仁王の家族と縁者」(『古代文化』66巻4号 古代学協会 2015年6月)
- (3) 「『鎌倉証菩提寺年中行事』にみえる天台寺門流の僧侶」(『神奈川県立博物館研究報告 人文科学』42号、神奈川県立歴史博物館 2015年11月)
『金沢文庫文書 データベース』(日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)「金沢文庫古文書及び称名寺聖教の復元的研究」2016年4月8日 神奈川県立金沢文庫へ著作権譲渡)
- 2 「鎌倉幕府高官長井氏について」(東北大学東北アジア研究センター共同研究「典籍文化遺産の研究」於:文教の杜ながい 小桜館 旧西置賜郡役所 2015年5月30日)
- 3 図録『金沢百景 角田武夫が描いた失われた風景』(神奈川県立金沢文庫 2016年2月、分担執筆)。
- 4 「学芸員に聞く今月の茶道具 神奈川県立歴史博物館特別展「中世東国の茶 武家の都鎌倉における茶の文化」より」(『なごみ』2015年4月号 淡交社)、「中世関東の茶」(『ゆきま』89号 一般財団法人不白流白和会 2015年4月)、「中世東国の茶 北限の茶」(『毎日新聞連載』2015年5月13日)「中世東国の茶 密教の茶」(『毎日新聞連載』2015年5月20日号)、「中世東国の茶 お茶は贈答品」(『毎日新聞連載』2015年5月27日号)、「中世東国の茶 鎌倉の武家と寺院の茶」(『緑茶通信』37号 2015年7月)、「鎌倉の武家と寺院の茶」(『國寶史蹟』62号、2016年3月)

- 5 日本仏教総合研究学会評議員
横須賀市文化財専門審議会委員
- 6 特別講演会「角田武夫を語る」(基調講演+座談会 於:神奈川県立金沢文庫大会議室 2016年3月26日)
- 7 中世証菩提寺に関する研究

古川 元也 (主任学芸員・歴史・中世)

- 1(1) 「天文法華の乱の再検討」(『興風』第30号、pp.1-41、2015年11月、興風談所、単著)
「新安沖沈没船の墨書瓷器について」(『神奈川県立博物館研究報告』第42号、pp.1-18、2015年11月、単著)
- (2) 「花の事は、はなにとへ 特別展「国宝 一遍聖絵」によせて」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻200号、pp.1-5、2015年10月、単著)
- 2 「「一遍聖絵」と融通念仏信仰」(神奈川県立歴史博物館調査研究報告会、2016年3月1日)
- 3 『国宝 一遍聖絵』(pp.1-232、2015年10月9日、神奈川県立歴史博物館、遊行寺宝物館、神奈川県立金沢文庫、共編著)
「一遍と魔」(『国宝 一遍聖絵』(別冊)、pp.54-56、2015年11月、神奈川県立金沢文庫、単著)
- 5 三田史学会(慶應義塾大学)委員会委員
日本古文書学会大会運営委員・『古文書研究』(吉川弘文館)編集委員
- 6 NPO法人ICP鎌倉地域振興協会「鎌倉ゆかりの絵図と縁起」(2015年4月～、鎌倉地域振興協会)
「概論：鎌倉ゆかりの絵図と縁起」(4月26日)、「明月院絵図と極楽寺絵図」(5月24日)、「円覚寺 境内絵図と建長寺絵図」(7月26日)、「長谷観音縁起と光触寺縁起」(8月23日)、「浄光明寺敷地絵図」(10月25日)、「覚園寺絵図と善宝寺寺地図」(12月20日)、「称名寺結界図と称名寺絵図」(1月24日)、「鶴岡八幡修造指図と近世の鎌倉絵図」(2月28日)於NPO法人ICP鎌倉地域振興協会大路ビル
多摩美術大学公開講座 2015 世紀を歩く・美術と文化 :12 世紀「鎌倉幕府開創」(2015年10月17日、世田谷区中町ふれあいホール)
「国宝 一遍聖絵」展関連講座鎌倉五輪会「一遍聖絵の旅」(2015年11月6日、鎌倉市生涯学習センター)、記念シンポジウム「国宝 一遍聖絵の全貌」における討論会司会・進行(2015年11月15日、東京国立博物館平成館大ホール)、栄区鎌倉研究会歴史講座「描かれた一遍」(2015年11月24日)、神奈川県文化財協会見学会講師(2015年11月25日)、国宝史蹟研究会見学会講師「一遍聖絵について」(2015年11月29日)、NPO法人ICP鎌倉地域振興協会現地見学会講師「鎌倉と藤沢の一遍」(2015年12月2日)、県博セミナー「一遍聖絵を旅する」の第3回「描かれた宗教世界を読み解く『一遍が甚目寺で見たもの』」(2015年12月6日)
立正大学日蓮教学研究所主催第55回仏教講座「文化財の公開と寺宝護持」(2015年11月27日、立正大学品川キャンパス)栄区鎌倉研究会歴史講座「日本遺産」と鎌倉」(2016年2月26日、栄区あーすぷらざ)
- 7 展示に資する日本中世宗教文化史の研究。また、平成27年度開催予定の「国宝一遍聖絵」展に向けて調査・研究・準備を行った。継続的研究としては、請来文物等をはじめとする非文献資料を調査・研究し、記録との比較検討を通じて総合的な歴史復元に資することが出来る部分の検証を試みた。

小井川 理(学芸員・美術・中世)

- 1(1) 「コラム 遊行の旅路への憧憬」(図録『国宝 一遍聖絵』、遊行寺宝物館、2015年10月9日)
「踊念仏の音、鉦鼓の響き」
(図録『国宝 一遍聖絵』別冊 金沢文庫篇、神奈川県立金沢文庫、2015年11月18日)
「眞葛窩と明治横浜の窯業」
(図録『没後一〇〇年 宮川香山』、NHKプロモーション、2016年2月24日)
- (2) 「収集の歴史が紡ぐもの 特別陳列「仏のすがた 祈りのかたち - 県博の仏教美術 - 」によせて」
(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻199号、pp.6-7、2015年6月25日)
- 3 図録『国宝 一遍聖絵』作品解説分担執筆(遊行寺宝物館、2015年10月9日)
図録『没後一〇〇年 宮川香山』作品解説分担執筆(NHKプロモーション、2016年2月24日)
- 5 津久井町史調査執筆員(文化遺産部会員)
- 6 神奈川県文化財協会第8回見学会「禅の心とかたち 總持寺の至宝」解説(2016年3月19日)

- 7 館所蔵・保管の美術資料（中世絵画・工芸および近代工芸）に関する調査研究。特別展「国宝 一遍聖絵」にかかる調査研究。眞葛焼と近代横浜の窯業に関する調査研究。

千葉 毅(学芸員・考古)

- 1(1) 「考古学研究所蔵資料報告 宮城県七ヶ浜町大木岡貝塚採集資料 資料採集地点の検討・資料の観察所見」(共著、『慶應義塾大学考古学研究会創立50周年記念誌』、2015年11月)
「考古学研究所蔵資料報告 大山史前学研究所旧蔵資料 資料の保管状況と学史的評価・資料の観察所見」(共著、『慶應義塾大学考古学研究会創立50周年記念誌』、2015年11月)
『慶應義塾大学考古学研究会創立50周年記念誌』(編著・ブックデザイン、pp.1-160、2015年11月)
- (3) 「特別展「石展」見どころ紹介」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻201号、pp.2-5、2015年12月、共著)
「神奈川県立歴史博物館所蔵の考古資料 林國治氏、小林小三郎氏旧蔵の横浜市称名寺貝塚採集資料」(『神奈川県立博物館研究報告 人文科学』42号、pp.49-64、2015年11月)
- 2 「縄文時代中期の土偶編年研究概観 江坂輝彌著『土偶』から近年の研究成果まで」(第13回土偶研究会、2016年1月16日、土偶研究会、東京都港区、慶應義塾大学)
- 3 『特別展 石展 かながわの歴史を彩った石の文化 展示図録』(編著・ブックデザイン、pp.1-120、2016年2月)
- 4 「石展 かながわの歴史を彩った石の文化 2 縄文早期の石器」(『毎日新聞』2016年2月27日)
- 6 「縄文時代の謎の「顔」 縄文土器の造形」(栄区制30周年記念事業歴史講座、2015年11月29日、横浜市栄図書館)
「残されたかたち 縄文からみえるもの」(京都造形芸術大学芸術館「縄文と現代 vol.3 浸透する器」、2015年4月28日、京都造形芸術大学芸術館)
- 7 縄文時代の人々の交流や移動、あるいは情報の動きをテーマに研究している。具体的には、南関東地方を中心とした地域をフィールドとして、遺構や遺物に周辺地域からの影響や要素を見出し、それらの動向や時間的な変化、流入する背景について検討している。
また、当館が所蔵している考古資料のうち、未整理未報告資料を中心に現在の視点から整理、検討を進めている。特に今年度は横浜市紅取遺跡群十王堂免遺跡の縄文時代早期資料の整理を行い、その一部は『石展 かながわの歴史を彩った石の文化』でも展示公開した。

神野 祐太(学芸員・美術・中世)

- 1(1) 「中世の聖徳太子孝養像に関する調査研究」(『鹿島美術研究』年報第32号別冊、pp.261-268、2015年11月)
- 7 神奈川県内の仏像彫刻に関する調査研究。特集陳列「仏のすがた 祈りのかたち 県博の仏教美術」にかかる館蔵品の調査。

鳥居 和郎(専門員・歴史・中世)

- 1(2) 「特別展『石展』見どころ紹介」(『神奈川県立歴史博物館だより』、通巻201号、2015年12月、pp.1~5、山下浩之・丹治雄一・千葉毅・新井裕美と共著)
- 3 特別展図録『石展 かながわの歴史を彩った石の文化』共編著
- 4 「石展 かながわの歴史を彩った石の文化 3 鎌倉時代の石塔」(『毎日新聞』2016年3月5日)
- 5 箱根町文化財保護委員会委員
小田原市郷土文化館協議会委員
小田原市文化財保護委員会委員
小田原城耐震改修等検討委員会委員
小田原市博物館構想策定委員
- 6 「戦国大名北条氏と京都外交 本願寺との関係をめぐって」(横浜さいかちの会、「戦国大名北条氏の歴史について」第5回、於：横浜市歴史博物館、2015年4月22日)
「戦国大名北条氏の文書」(古文書を読む会、於：神奈川県立公文書館、2016年1月10日)
「神奈川の中世史を彩る石の文化」(3月5日)
石展現地見学会「石垣山一夜城周辺の岩石と史跡を学ぶ」(3月13日)

「戦国大名北条氏の歴史と狭山」(3月26日) 於：大阪狭山市立歴史博物館

- 7 中世の石に関する史料と文化
後北条氏の外交について

嶋村 元宏(主任学芸員・歴史・近代)

- 1(3) 「信濃国松代藩の横浜警衛に関する資料について 国文学研究資料館所蔵信濃国松代真田家文書を中心に」(『神奈川県立博物館研究報告 人文科学』第42号)、pp.87~96、神奈川県立歴史博物館、2015年11月27日
- 6 NPO法人 神奈川歴遊クラブ主催 神奈川歴史講演会「開国への決断 老中阿部正弘の選択」講師、横浜市開港記念会館、2015年10月28日
武蔵野文化協会主催「幕末の神奈川宿に旧領事館跡と生麦事件を訪ねて～武蔵野の近代化遺産を訪ねて～」見学会講師、2015年12月12日
神奈川県立川崎図書館主催 ミニ展示関連講座「未来へ“文化”をつなげるために 神奈川県立歴史博物館の資料保存活動」講師、神奈川県立川崎図書館、2016年1月16日
- 7 「19世紀中葉の国際秩序の変容」をメインテーマに研究を継続した。
特に今年度は、公益財団法人日本海事科学振興財団・船の科学館が実施する「海の学び ミュージアムサポート」のなかのプログラム3「海の学び調査・研究サポート」の支援を得て、「海にまもられた日本」 北方の海からの開国に関する基礎的研究」をテーマとする調査研究に集中した。18世紀末以降三浦半島を含む江戸湾防備体制が強化されることから、通商を求めて来航した、ラクスマン、レザノフ、プチャーチンを代表とするロシア使節に關係する史料の収集ならびに現地の状況について調査を行った。

桑山 童奈(主任学芸員・美術・近世)

- 1(1) 平成25~27年度科学研究費基盤研究(C)『江戸時代の神奈川県域における絵図の出版状況および浮世絵との関係についての研究』報告書
- 5 国際浮世絵学会理事、藤澤浮世絵館活用検討会議委員
- 6 横浜郷土史団体連絡協議会第10回大会「浮世絵のなかの横浜浮世絵」(於：横浜開港資料館、4月25日)
- 7 1の科学研究費の課題である江戸時代の神奈川県域で出版された絵図についての調査、研究。

丹治 雄一(主任学芸員・歴史・近代)

- 1(1) 「幻の石材『白丁場石』の実態にせまる」(特別展図録『石展 神奈川の歴史を彩った石の文化』、神奈川県立歴史博物館、2016年3月、pp.100~103)
- (2) 「特別展『石とかながわ』(仮称)ただいま準備中！」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻200号、2015年10月、pp.6~8、新井裕美と共著)
「特別展『石展』見どころ紹介」(『神奈川県立歴史博物館だより』、通巻201号、2015年12月、pp.1~5、山下浩之・千葉毅・鳥居和郎・新井裕美と共著)
- (3) 「桜ヶ丘緑地にあった『ビール工場』」(『ミドリ』98、かながわトラストみどり財団、2015年秋、pp.8~10)
- 3 特別展図録『石展 神奈川の歴史を彩った石の文化』(神奈川県立歴史博物館、2016年3月、分担執筆)
- 4 「横浜正金銀行本店の建築様式は？」(『ボランティアニュース』第75号、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、2015年11月、pp.1~2)
「石展 かながわの歴史を彩った石の文化 4 白丁場石」(『毎日新聞』2016年3月12日)
- 5 首都圏形成史研究会常任委員
茅ヶ崎市文化資料館整備基本計画策定支援アドバイザー会議アドバイザー
- 6 神奈川県博物館協会平成27年度第1回研修会講師「神奈川県立歴史博物館『エースのドーム』と横浜三塔見学」(2015年4月17日、於当館および横浜三塔周辺)
MUFG(三菱UFJフィナンシャルグループ)ELP(Extended Learning Program)講師「旧横浜正金銀行本店本館について」(2015年6月27日、於当館)

神奈川県文化財協会平成 27 年度第 7 回見学会講師「特別展『石展 かながわの歴史を彩った石の文化』見どころ紹介」(2016 年 2 月 17 日、於当館)

平成 27 年度第 9 回箱根ジオパークガイド講座講師「近代における箱根山周辺産安山岩の石材利用について 土屋大次郎の企業家活動と近代洋風建築に使用された石材『白丁場石』を中心に」(2016 年 3 月 9 日、於神奈川県立生命の星・地球博物館)

県博講座「かながわの歴史を彩った石の文化」第 5 回講師「近代洋風建築に使用された“幻の石材”白丁場石の歴史」(2016 年 3 月 19 日、於当館)

神奈川県立生命の星・地球博物館友の会地学懇話会講師「近代における箱根火山溶岩の石材利用 土屋大次郎の企業家活動と幻の石材『白丁場石』の歴史」(2016 年 3 月 23 日、於当館)

- 7 特別展「石展 かながわの歴史を彩った石の文化」開催に向けて、当館建物(旧横浜正金銀行本店)でも使用されている足柄下郡吉浜村(現湯河原町)産の石材「白丁場石」をはじめとする近代の石材採掘業関係資料に関する調査研究を行うとともに、近年取り組んでいる神奈川県庁本庁舎(四代目神奈川県庁舎)の建築史的研究にも継続的に取り組んだ。

角田 拓朗(主任学芸員・美術・近代)

- 1(1)『五姓田義松史料集』(編著 中央公論美術出版 2015 年 9 月)
『絵師五姓田芳柳・義松親子の夢追い物語 幕末明治西洋画師サバイバル』(三好企画 2015 年 9 月)
『線と色のきらめき 神奈川県立歴史博物館所蔵五姓田義松作品選』(編著 神奈川県立歴史博物館・光画コミュニケーション・プロダクツ 2016 年 2 月)
「神奈川県博物館協会総合防災計画について」(角田拓朗ほか編著『神奈川県博物館協会会報』87、2016 年 3 月)
- (2)「横浜の天才画家五姓田義松を知っていますか？」(『季刊 横濱』50 神奈川県新聞社 2015 年 10 月)
「五姓田義松人気の理由」(談話記事)『Art Collectors』2015 年 12 月号)
- 2 シンポジウム「明治美術研究の可能性」/報告「五姓田義松と、明治洋画史と近世絵画史のあわい」明治美術学会例会 2015 年 9 月
- 3 「解説パンフレット 五姓田義松 最後の天才」2015 年 9 月 非売品
「没後 100 年 五姓田義松 最後の天才」展図録 2015 年 10 月
- 4 角田拓朗「没後 100 年 五姓田義松 最後の天才」全 5 回連載『毎日新聞』2015 年 9 月～10 月
「本当に絵が上手い画家」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻 199 号、pp.2-5、2015 年 6 月)
- 5 第 38 回文化財保存修復学会大会実行委員
- 6 神奈川県文化財協会第 3 回見学会 講師 2015 年 10 月
- 7 五姓田義松に関する調査研究。総合研究「岩橋教章・章山に関する総合研究。科学研究費助成調査研究基盤研究(B)「明治期図画手工教科書データベース構築に向けた総合的調査研究」ほか、近代日本画団体に関する研究等。そのほか、『五姓田義松史料集』刊行にあたり、鹿島美術財団より出版助成を賜った。

新井 裕美(学芸員・民俗)

- 1(2)「特別展『石とかながわ』(仮称)ただいま準備中！」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻 200 号、2015 年 10 月、pp.6~8、丹治雄一と共著)
「特別展『石展』見どころ紹介」(『神奈川県立歴史博物館だより』、通巻 201 号、2015 年 12 月、pp.1~5、山下浩之・丹治雄一・千葉毅・鳥居和郎と共著)
- 2 「庶民の生活と石」(相模民俗学会、3 月 20 日)
- 3 図録『石展』(神奈川県立歴史博物館、2016 年 2 月 5 日)
- 4 「石展 かながわの歴史を彩った石の文化 5 信仰対象の石造物」(『毎日新聞』2016 年 3 月 12 日)
- 5 成城大学民俗学研究所「霊山と民俗信仰」共同研究員
相模民俗学会運営委員
- 6 特別展 石展 県博講座「庶民の生活と石」2016 年 3 月 12 日
- 7 石工道具・石造物・死者供養・年中行事・他界観に関する継続的な研究と、館蔵の民俗資料の整理。

古宮 雅明(専門員・歴史・近世)

- 1(1) 「『從江戸長崎迄海陸之絵図』小考」(『神奈川県立博物館研究報告-人文科学-』第42号、pp.19-32、神奈川県立歴史博物館、2015年11月27日)
- (3) 「松平造酒助江戸在勤日記-元治元年九月二日~九月十一日-」(『神奈川県立博物館研究報告-人文科学-』第42号、pp.77-86、根本佐智子と共同執筆、神奈川県立歴史博物館、2015年11月27日)
- 6 腰越学習センター講座「関東大震災などかながわの災害史に学ぶ」講師(「富士山宝永噴火の災害と復興-鎌倉地域を題材として-」、鎌倉市生涯学習推進員、2015年11月16日、於：腰越学習センター)
- 7 東海道街道絵図の研究、江戸時代の神奈川県地域を中心とした災害史の研究、また庄内藩士の江戸在勤日記の解読を進めている。

武田 周一郎(非常勤学芸員・歴史・現代)

- 1(2) 「馬車道まつりはじまる コレクション展「地図と写真でみる馬車道」によせて」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻199号、p.8、2015年6月25日)
- 「特別展「まぼろしの紙幣 横浜正金銀行券」に寄せて」(『神奈川県立歴史博物館だより』通巻201号、pp.6-8、寺寄弘康との共著、2015年12月11日)
- 5 首都圏形成史研究会常任委員
- 7 館蔵現代資料の整理。平成27年度コレクション展「地図と写真にみる馬車道」及び平成28年度特別展「まぼろしの紙幣 横浜正金銀行券」にかかる資料調査。また総合研究「岩橋教章・章山に関する総合的研究」及び科学研究費基盤研究(C)「横浜正金銀行ニューヨーク支店に関する研究」にかかる資料調査。

根本 佐智子(非常勤学芸員・歴史・近世)

- 1(1) 「近世後期用水堀争論をめぐる村々 武蔵国橋樹郡下平間村・小向村争論にみる調整機能」(『史艸』第56号、pp.12-33、2015年11月)
- (3) 資料紹介「松平造酒助江戸在勤日記」(共著、「神奈川県立博物館研究報告 人文科学」第42号、pp.77-86、2015年10月)
- 7 当館近世資料の整理および移転準備。近世後期、二ヶ領用水組合内小堀争論における調停機能についての研究「松平造酒助江戸在勤日記」の翻刻。

三浦 麻緒(非常勤学芸員・民俗)

- 6 絵馬研究会「小絵馬コレクションの整理について」(2015年12月14日 於：神奈川大学日本常民文化研究所)
- 7 館所蔵の民俗資料の整理。津久井農村歌舞伎に関する調査研究。

中村 茉貴(非常勤資料整理員)

- 2 「長谷秀雄に関する報告 「蕨画塾」設立の経緯と作品紹介」(屋外彫刻調査保存研究会、2015年7月14日、於：武蔵野美術大学)
- 7 国文学研究資料館平成27年度共同研究(一般)の課題「生巧館制作による木口木版の研究 国文学研究資料館所蔵品を中心に」の調査研究。「蕨画塾」の調査報告を兼ねた展覧会(蕨市歴史民族調査プロジェクト、2015年5月5・6日、於：蕨市文化ホールくるる)に協力。「旧中山道文化資源再生プロジェクト 美術と街巡り・浦和」展(美術と街巡り・浦和 実行委員会、2015年2月1日~3月21日、於：うらわ美術館、青山茶舗、鈴木写真館 他)に協力。

4 資料収集・修理・保管・利用

<凡例>

ア 購入、 イ 寄贈・寄託・借用・管理換、 ウ 修理、 エ 貸出、 オ 特別利用、 カ その他

(1) 考古資料

イ 寄贈・寄託・借用・管理換

(借用)

| | 資料名 | 件 - 点 | 当初借用年月日 |
|---|----------------|-----------|--------------|
| 1 | 宗元寺軒瓦 外 | 1件 1,763点 | 昭和 46年 1月 1日 |
| 2 | 壺(横須賀高校裏山遺跡) 外 | 1件 3点 | 平成 7年 2月 10日 |
| 3 | 饒益神宝(中原上宿遺跡出土) | 1件 1点 | 平成 8年 3月 1日 |
| 4 | 藤沢市代官山遺跡出土土器 外 | 1件 555点 | 平成 19年 4月 1日 |
| | 合 計 | 4件 2,322点 | |

エ 貸出

| | 申請者・目的 | 資料名 | 件 - 点 | 利用方法 | 利用期間 |
|---|--|---|---------|------|---------------------------------------|
| 1 | 横浜市末吉地区センター 1Fロビー 地域の文化財に対する啓発 | 小林幸雄氏コレクション | 1件 72点 | 展示 | 平成 27年 4月 1日 ～ 平成 28年 3月 31日 |
| 2 | 横須賀美術館 企画展「ほっこり美術館」展 | 家形埴輪 人物埴輪 | 2件 2点 | 展示 | 平成 27年 4月 18日 ～ 平成 27年 6月 14日 |
| 3 | 川崎市市民ミュージアム 「古鏡 その神秘の力」展 | 横浜市梶山遺跡出土銅鏡 | 1件 1点 | 展示 | 平成 27年 10月 10日 ～ 平成 27年 11月 23日 |
| 4 | 横浜市歴史博物館 企画展「称名寺貝塚」展 | 横浜市称名寺貝塚出土 縄文土器・骨角器 鎌倉市雪ノ下遺跡出土 縄文土器 横浜市宮台遺跡出土 縄文土器 | 3件 4点 | 展示 | 平成 28年 1月 30日 ～ 平成 28年 3月 21日 |
| 5 | 神奈川県教育委員会文化遺産課・平成 27年度巡回展「縄文の海・縄文の森」(会場：海老名市温故館) | 横浜市三ツ沢貝塚出土 鹿角製銚先 海老名市上浜田遺跡出土 玦状耳飾(複製) | 2件 7点 | 展示 | 平成 28年 2月 2日 ～ 平成 28年 3月 25日 |
| 6 | 相模原市立博物館 考古企画展 「相模原の遺跡 2016」展 | 鼠坂遺跡出土 弥生式土器 | 1件 1点 | 展示 | 平成 28年 3月 19日 ～ 平成 28年 5月 8日 |
| | | 合 計 | 10件 87点 | | |

オ 特別利用

| | 申請者・目的 | 資料名 | 件 - 点 | 利用方法 | 利用期間 |
|---|---------------------------|--------------------------------------|--------|-------------|-------------------|
| 1 | 横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター・調査研究 | 三浦市間口洞窟出土ト骨 | 1件 20点 | 熟覧・メモ・撮影 | 平成 27 年 7 月 7 日 |
| 2 | 明治大学文学部史学地理学科・個人研究 | 横浜市梶山遺跡出土鉤針 | 1件 1点 | 熟覧・メモ・実測・撮影 | 平成 27 年 9 月 8 日 |
| 3 | 横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター・調査研究 | 横浜市野島貝塚出土資料 | 1件 10点 | 熟覧・メモ・撮影 | 平成 27 年 9 月 27 日 |
| 4 | 横浜市歴史博物館・展覧会事前調査 | 横浜市称名寺貝塚出土縄文土器・骨角器 鎌倉市雪ノ下遺跡出土縄文土器 | 2件 2点 | 熟覧・メモ・撮影 | 平成 27 年 11 月 28 日 |
| 5 | 横浜市歴史博物館 企画展「称名寺貝塚」図録掲載 | 鎌倉市雪ノ下遺跡出土縄文土器 横浜市宮台遺跡出土縄文土器 | 2件 2点 | 撮影 | 平成 27 年 12 月 15 日 |
| | | 合計 | 7件 35点 | | |

(2) 歴史資料

ア 購入

| | 資料名 | 概要 | 規格・寸法 | 件 - 点 |
|---|--------------------------|---|-------------------------------------|-------|
| 1 | 天文二十年六月八日付足利晴氏公帖 | 第四代古河公方である足利晴氏の発給した公帖。公帖とは、五山十刹等の住持を任命する際の辞令。 | 掛幅装 一幅 桐箱入り 畳箱あり 縦 35cm × 横 45cm | 1件 1点 |
| 2 | 妻木頼黄関係資料 内訳 | 旧横浜正金銀行本店本館(歴史博物館建物)の設計者である妻木頼黄が大蔵省在職中に関与した調査の報告や設計に関わった建造物の資料。 | | 1件 3点 |
| | (1) 営繕局設置二関スル書籍(明治 35 年) | | 272 × 195 mm | |
| | (2) 日本橋記念誌(明治 44 年) | | 225 × 163 mm | |
| | (3) 本邦産建築石材(大正 10 年) | | 258 × 195 mm | |
| 3 | 神奈川県内近代建築関係資料 | 神奈川県内の近代建築やその建築材として利用された石材をはじめとする各種材料や設備類に関する資料。 | | 1件 9点 |

| | | | |
|----------------------------|-----|--------------|-------|
| 内訳 | | | |
| (1)日本産土木建築石材 (大正11年) | | 226 × 158 mm | |
| (2)神奈川県庁舎競技設計図集 (大正15年) | | 260 × 194 mm | |
| (3)石細工雛形図解(昭和3年) | | 220 × 153mm | |
| (4)建築資料共同型録 大正十四年 | | 306 × 233 mm | |
| (5)建築資料共同型録 大正十五年 | | 306 × 235 mm | |
| (6)建築土木資料集覧 昭和六年用 | | 312 × 232 mm | |
| (7)建築土木資料集覧 昭和八年用 | | 312 × 236 mm | |
| (8) 建築土木資料集覧 昭和十年版 | | 307 × 235mm | |
| (9) 建築土木資料集覧 昭和十二年版 | | 308 × 235 mm | |
| | 合 計 | | 3件13点 |

イ 寄贈・寄託・借用・管理換
(寄贈)

| | 寄贈主 | 資 料 名 | 件 - 点 |
|---|------------|---------------|----------|
| 1 | 個人(神奈川県在住) | 日本陸軍衛生兵包帯嚢 | 1件1点 |
| 2 | 個人(神奈川県在住) | 佐川伸一旧蔵資料 | 115件149点 |
| 3 | 個人(東京都在住) | 森鷗次郎関係資料 | 1件7点 |
| 4 | 個人(神奈川県在住) | 原田助次郎関係資料 | 132件320点 |
| 5 | 個人(東京都在住) | 神田騰一写真 | 1件11点 |
| 6 | 個人(神奈川県在住) | ベルギー人撮影写真アルバム | 1件1点 |
| 7 | 個人(兵庫県在住) | サムライ商会金属製杯 | 1件1点 |
| | | 合 計 | 252件490点 |

(寄託)

| | 資 料 名 | 件 - 点 | 当初寄託年月日 |
|---|--------------------------------|----------|------------|
| 1 | 帝政ロシア製 32 ポンド砲(旧居留地 90 番出土の大砲) | 1件1点 | 平成16年2月1日 |
| 2 | 長谷川家文書 | 1件22点 | 平成23年2月17日 |
| 3 | 大太鼓 | 1件1点 | 平成23年2月18日 |
| 4 | 岩松家文書 | 210件350点 | 平成25年2月1日 |
| | 合 計 | 213件374点 | |

(借用)

| | 資 料 名 | 件 - 点 | 当初借用年月日 |
|----|------------------------|-----------|-------------|
| 1 | 烏帽子形兜 | 1件1点 | 昭和43年10月22日 |
| 2 | 古瀬戸瓶子 | 1件1点 | 昭和45年9月1日 |
| 3 | 刀片(三増合戦場出土) | 1件1点 | 昭和47年6月10日 |
| 4 | 関山家文書 | 1件24点 | 昭和47年9月8日 |
| 5 | 久崎家文書 | 1件197点 | 昭和47年9月13日 |
| 6 | 瀬戸 四耳壺 外 | 1件3点 | 昭和48年7月1日 |
| 7 | 渥美 灰釉壺 外 | 1件6点 | 昭和48年10月1日 |
| 8 | 本多家文書 | 1件953点 | 昭和49年3月1日 |
| 9 | 御用取締りのぼり | 1件1点 | 昭和49年4月26日 |
| 10 | 嘆願書 | 1件1点 | 昭和52年3月23日 |
| 11 | 生麦村新地実測図(神奈川県令中島信行宛) | 1件5点 | 昭和52年12月1日 |
| 12 | 舊荻野山中建物之繪図 外 | 1件19点 | 昭和53年12月1日 |
| 13 | 寺井家文書 | 1件16点 | 昭和55年2月15日 |
| 14 | 散弾銃 | 1件1点 | 昭和55年4月1日 |
| 15 | 羽柴秀吉知行充行状 天正十一年六月五日付 | 1件1点 | 昭和58年5月20日 |
| 16 | 平本家文書 | 1件1,309点 | 昭和58年10月14日 |
| 17 | 黒船来航絵巻 | 1件1点 | 平成4年5月15日 |
| 18 | 日月鳳凰螺鈿鞍 | 1件1点 | 平成4年11月1日 |
| 19 | 旧小田原城天守閣模型 | 1件1点 | 平成5年12月15日 |
| 20 | 辰御年貢可納割付之事 外 | 1件2点 | 平成6年7月20日 |
| 21 | 享保十四年九月酉之内検見引牒 外 | 1件22点 | 平成6年10月7日 |
| 22 | 中国青磁 碗 線描き蓮弁文 外 | 1件50点 | 平成18年6月1日 |
| 23 | 茅ヶ崎市出土板碑関係(梵字板碑、破片) | 1件4点 | 平成20年7月1日 |
| 24 | 旧横浜正金銀行本店本館改修工事関係資料 一括 | 1件1点 | 平成20年9月1日 |
| 25 | 旧横浜正金銀行本店本館彩色立面図 外 | 1件119点 | 平成22年10月15日 |
| 26 | 銅造 明治天皇立像 外 | 1件3点 | 平成23年12月15日 |
| | 合 計 | 26件2,743点 | |

(管理換)

| | 資 料 名 | 概 要 | 規格・寸法 | 件 - 点 |
|---|---------------------------|--|----------------------------------|-------|
| 1 | 渡辺合名会社・渡辺銀行旧敷地内から出土した切石の壁 | 神奈川県庁新庁舎敷地内横浜市中区 31 遺跡の埋蔵文化財発掘調査で出土した切石による建物の壁面の遺構 | 縦約 1400mm × 横約 1900mm(厚さ約 170mm) | 1件1点 |

ウ 修理

館蔵資料の中で破損の著しい絵画・工芸品などを、緊急度に応じて順次修理し、恒久的な保存に耐える処置を施して展示に活用する。

修理対象：「脇差」(赤羽刀 No.2003、官報 No.2130、銘『相州住綱廣』)室町時代末期～桃山、一振対象の概要：作込み/平造、刃長/53.7cm、反り/1.3cm、目釘穴/1、茎尻/栗尻、彫物/なし

エ 貸出

| | 申請者・目的 | 資料名 | 件 - 点 | 利用方法 | 利用期間 |
|---|---|------------------------------------|----------|------|---|
| 1 | 神奈川県立金沢文庫 特別展「津久井光明寺」展 | 十六羅漢図 久隅守景筆 | 3 件 18 点 | 展示 | 平成 27 年 2 月 19 日 |
| | | 夢窓疎石像 | | | ~ |
| | | 清拙正澄墨蹟 | | | 平成 27 年 4 月 19 日 |
| 2 | 横浜開港資料館 企画展示「異国の面影」展 | ブルウル商会屋内看板 | 1 件 1 点 | 展示 | 平成 27 年 4 月 22 日 ~ 平成 27 年 7 月 12 日 |
| 3 | ヤマザキマザック美術館 「世界に挑んだ明治の美 宮崎香山とアールヌーヴォー」展 | ヴァンダリアから見た下田 | 4 件 4 点 | 展示 | 平成 27 年 4 月 25 日 ~ 平成 27 年 8 月 30 日 |
| | | ウェブスター島からの眺望 | | | |
| | | 横浜の寺 | | | |
| | | 鳥ヶ崎 | | | |
| 4 | 埼玉県立歴史と民俗の博物館 特別展「戦国図鑑 - Cool Basara Style - 」展 | 天正一年十月二十四日付徳川 家康起請文 | 1 件 1 点 | 展示 | 平成 27 年 7 月 18 日 ~ 平成 27 年 8 月 30 日 |
| 5 | 横浜市歴史博物館 特別展 「横浜のあゆみ - ヒト・モノ・ マチ - 」展 | 宝生寺文書 巻一 | 2 件 2 点 | 展示 | 平成 27 年 7 月 18 日 ~ 平成 27 年 9 月 23 日 |
| | | 横浜市公田ジョウ口塚遺跡出 土顔面把手 | | | |
| 6 | 横浜都市発展記念館 企画展 「ハマを駆ける - クルマが広 げた人の交流 - 」展 | ライジングサン石油パンフレ ット | 4 件 8 点 | 展示 | 平成 27 年 7 月 18 日 ~ 平成 27 年 9 月 23 日 |
| | | スタンダード石油パンフレッ ト 3 点 | | | |
| | | 日本自動車学校 自動車実習 手ほどき | | | |
| | | 月刊フォード 7 巻 4 号、 8 巻 6 号、9 巻 4 号 | | | |
| 7 | さくら市ミュージアム - 荒 井寛方記念館 - 企画展「喜 連川文書の世界」展 | 古河公方家奉行連署書状 | 2 件 2 点 | 展示 | 平成 27 年 11 月 14 日 ~ 平成 27 年 12 月 23 日 |
| | | 古河公方家奉行連署書状 | | | |
| 8 | 埼玉県立嵐山史跡の博物館 「中世黎明 時代を変えた武 士と民衆 」展 | 寿永三年六月三日付源頼朝袖 判下文 | 6 件 6 点 | 展示 | 平成 27 年 12 月 6 日 ~ 平成 28 年 2 月 21 日 |
| | | 建久三年九月十二日付源頼朝 袖判下文 | | | |
| | | 建久三年九月十二日付源頼朝 袖判下文(複製) | | | |
| | | 建久三年九月十二日付將軍家 政所下文(複製) | | | |

| | | | | | |
|----|--|-------------------------------|--------|----|-------------------------------|
| | | 正治二年正月二十五日付源頼家袖判下文 | | | |
| | | 正治二年正月二十五日付源頼家袖判下文(複製) | | | |
| 9 | 神奈川県立図書館 特別展示「かながわと東京オリンピック1964」展 | 東京オリンピック公式1号 ポスター(シンボルマーク) | 4件4点 | 展示 | 平成28年2月18日 ~ 平成28年3月16日 |
| | | 東京オリンピック公式2号 ポスター(陸上競技) | | | |
| | | 東京オリンピック公式3号 ポスター(水泳) | | | |
| | | 東京オリンピック公式4号 ポスター(聖火ランナー) | | | |
| 10 | 大阪府立狭山池資料館・大阪狭山市郷土資料館 特別展「狭山藩北条氏 - 戦国大名小田原北条五代の末裔 -」展 | 北条氏直一字書出 天正17年霜月11日 | 17件17点 | 展示 | 平成28年3月19日 ~ 平成28年4月19日 |
| | | 豊臣秀吉朱印状 (天正19年)2月7日 | | | |
| | | 豊臣秀吉朱印状 天正19年8月9日 | | | |
| | | 豊臣秀吉朱印状 文禄3年12月2日 | | | |
| | | 徳川家康起請文 (天正10年)10月24日 | | | |
| | | 北条氏規朱印状 (永禄9年)7月12日 | | | |
| | | 本多上野介書状 (慶長14年)卯月17日 | | | |
| | | 片桐且元判物 慶長14年11月28日 | | | |
| | | 江戸幕府老中連署奉書 元和7年12月28日 | | | |
| | | 河内国狭山藩北条家領知目録 寛文4年4月5日 | | | |
| | | 陣羽織(狭山北条家所用) | | | |
| | | 旗指物(狭山北条家所用) | | | |
| | | 北条氏朝力五箇条定書 | | | |
| | | 北条氏朝辞世 | | | |
| | | 江戸幕府老中連署奉書(写) (享保6年)3月28日 | | | |
| | | 狭山藩知事任命書 明治2年6月 | | | |
| | | 北条氏朱印状 天文19年7月17日 | | | |
| 11 | 平塚市博物館 春期特別展「ひらつかの家康伝説 由緒と地域」展 | 小田原陣仕寄陣取図(複製) | 1件1点 | 展示 | 平成28年3月19日 ~ 平成28年5月8日 |
| | | 合計 | 45件64点 | | |

オ 特別利用

| | 申請者・目的 | 資料名 | 件 - 点 | 利用方法 | 利用期間 |
|---|--------------------------|-------------------------|--------|-------------|-------------------------------|
| 1 | 横浜都市発展記念館 | A型フォードパンフレット | 5件8点 | 閲覧及び撮影 | 平成27年3月7日 ～ 平成27年5月9日 |
| | | ライジングサン石油パンフレット | | | |
| | | スタンダード石油パンフレット | | | |
| | | 日本自動車学校 自動車実習手ほどき | | | |
| | | 月刊フォード 8巻6号、9巻4号 | | | |
| 2 | 横浜市歴史博物館 | 宝生寺文書 | 1件1点 | 閲覧及び撮影 | 平成27年6月3日 |
| 3 | 個人 調査研究 | 行有坊地宛行状、康応元年八月三日付 | 4件4点 | 閲覧及び撮影 | 平成27年7月8日 |
| | | 快尊別当職補任状、応永二十年極月十一日付 | | | |
| | | 忍祐田畠永代耕作安堵状、応永二十四年九月三日付 | | | |
| | | 前三河守定季書状、二月二十三日付 | | | |
| 4 | 埼玉県立嵐山史跡の博物館(展示のための資料調査) | 源頼朝袖判下文 | 3件3点 | 閲覧及び撮影 | 平成27年7月28日 |
| | | 源頼朝袖判下文(金子文書) | | | |
| | | 源頼家袖判下文 | | | |
| 5 | 行田市郷土博物館 | 成田氏長書状 三月八日付 | 1件1点 | 撮影、複製資料作成 | 平成28年1月15日 ～ 平成28年3月31日 |
| 6 | 藤沢市教育文化センター(社会科用報告冊子掲載) | 江戸名所図会 河崎万年屋奈良茶飯 | 13件13点 | 閲覧・撮影及び冊子掲載 | 平成28年2月5日 |
| | | 相州江之島弁才天開帳参詣群集之図 | | | |
| | | 旅道具 8件8点 | | | |
| | | 正文堂資料 3件3点 | | | |
| | | 合 計 | 27件30点 | | |

(3) 美術資料

イ 寄贈・寄託・借用・管理換 (寄贈)

| | 寄贈主 | 資料名 | 件 - 点 |
|---|------------|------------|-------|
| 1 | 個人(神奈川県在住) | 松本交山筆 高砂 外 | 1件3点 |
| 2 | 個人(神奈川県在住) | 三島意辰字盆 外 | 1件7点 |
| | | 合 計 | 2件10点 |

(寄託)

| | 資 料 名 | 件 - 点 | 当初寄託年月日 |
|----|------------------|---------|------------------|
| 1 | 江の島関係浮世絵コレクション | 1件88点 | 昭和 56 年 4 月 1 日 |
| 2 | 重要文化財 木造他阿真教坐像 | 1件1点 | 平成 17 年 5 月 24 日 |
| 3 | 束帯天神像 外 | 9件9点 | 平成 21 年 4 月 24 日 |
| 4 | 祖栄筆 柳に鷺図 外 | 28件37点 | 平成 21 年 8 月 1 日 |
| 5 | 眞葛焼 | 29件38点 | 平成 22 年 3 月 1 日 |
| 6 | 龍神立像 | 1件1点 | 平成 25 年 4 月 25 日 |
| 7 | 潘閻図右都御史筆 | 1件1点 | 平成 25 年 7 月 2 日 |
| 8 | 阿羅漢図 外 | 2件3点 | 平成 25 年 12 月 1 日 |
| 9 | 初代五姓田芳柳筆恵比寿大黒天 外 | 1件4点 | 平成 27 年 4 月 1 日 |
| 10 | 齋藤俊吉氏旧蔵作品群 | 1件63点 | 平成 27 年 6 月 18 日 |
| 11 | 仁阿弥道八作焼締急須 | 1件9点 | 平成 27 年 6 月 26 日 |
| 12 | 一遍他阿真教像 | 1件2点 | 平成 28 年 3 月 25 日 |
| | 合 計 | 76件256点 | |

(借用)

| | 資 料 名 | 件 - 点 | 当初借用年月日 |
|----|-----------------------|--------|------------------|
| 1 | 県重要文化財 紙本墨画淡彩 十六羅漢図 外 | 2件17点 | 昭和 44 年 3 月 1 日 |
| 2 | 県重要文化財 絹本着色 熊野権現影向図 | 1件1点 | 昭和 44 年 3 月 1 日 |
| 3 | 県重要文化財 絹本着色 両界曼荼羅図 外 | 25件37点 | 昭和 44 年 7 月 1 日 |
| 4 | 東山天皇即位図屏風 | 1件1点 | 昭和 47 年 6 月 17 日 |
| 5 | 常滑印花文壺 外 | 11件12点 | 昭和 48 年 3 月 1 日 |
| 6 | 東海道図屏風 | 1件1点 | 昭和 49 年 7 月 1 日 |
| 7 | 源氏物語図屏風 | 1件1点 | 昭和 50 年 3 月 10 日 |
| 8 | 絹本着色 七星如意輪曼荼羅図 外 | 13件25点 | 昭和 50 年 6 月 1 日 |
| 9 | 横浜浮世絵 | 1件473点 | 昭和 52 年 1 月 10 日 |
| 10 | 張交屏風 | 1件1点 | 昭和 52 年 7 月 15 日 |
| 11 | 木造薬師如来坐像 | 1件1点 | 昭和 56 年 2 月 25 日 |
| 12 | 大小暦コレクション(長谷部コレクション) | 1件40点 | 昭和 59 年 4 月 1 日 |
| 13 | 双六(下村観山) | 1件1点 | 昭和 59 年 7 月 1 日 |
| 14 | 鴉図 (以天宗清) 外 | 1件2点 | 昭和 63 年 7 月 7 日 |
| 15 | 短刀(チャールズ・ワグマン所用) | 1件1点 | 平成 2 年 8 月 25 日 |
| 16 | 江島金沢八景図屏風 外 | 4件4点 | 平成 4 年 12 月 1 日 |
| 17 | 本牧風景 外 | 1件2点 | 平成 5 年 6 月 15 日 |
| 18 | 鶴岡八幡宮境内出土品の内 板草履の芯 外 | 8件19点 | 平成 7 年 3 月 1 日 |

| | | | |
|----|----------------|---------|-------------|
| 19 | 梵鐘 | 1件1点 | 平成10年1月1日 |
| 20 | 仁清意鶏形香合 外 | 4件4点 | 平成12年3月1日 |
| 21 | 俵藤太絵巻 | 1件5点 | 平成12年5月1日 |
| 22 | 好色十二候 外(喜多川歌麿) | 1件12点 | 平成12年12月20日 |
| 23 | 箱根権現縁起絵巻 付 納入箱 | 1件2点 | 平成13年8月1日 |
| 24 | 闘鶏下絵(下村観山) 外 | 1件3点 | 平成21年3月1日 |
| | 合 計 | 84件666点 | |

ウ 修理

館蔵資料の中で破損の著しい絵画・工芸品などを、緊急度に応じて順次修理し、恒久的な保存に耐える処置を施して展示に活用する。

- ・「十王図(重要文化財)」(絹本着色)10幅のうち2幅
- ・「北条時頼像」(絹本着色)1幅
- ・「青楼名君自筆集」(北尾政演)より4点

内訳

『よつめや 歌川 なな里』

『角玉屋 濃紫 花紫』

『てうしや ひなつる てう山』

『大もんしや ひともと たか袖』

内容

水損による古い染みの痕が裏打紙にあるほか、かつて画帖仕立てであったため折れにより紙が弱くなっている部分や虫損の穴などがあつた。将来的に保存、活用するため、傷んだ裏打ちの除去、乾式洗浄、補強などの修復作業を行った。なお、今回で一連の計九点の修繕が完了した。

エ 貸出

| | 申請者・目的 | 資 料 名 | 件 - 点 | 利用 方法 | 利用期間 |
|---|---------------------------|--|--------|----------|------------------------------|
| 1 | 練馬区立美術館 「没後100年 小林清親」展 | 東京橋場渡黄昏景 三都三美人 駿洲湖日没の富士 鴨と蓮 橋場の夕暮 大伝馬町大丸 池の端花火 少名程古那神を掌にのせた大国主命 武蔵百景之内 品川見越ノ月 武蔵百景之内 両国花火 | 14件14点 | 展示 | 平成27年4月5日 ~ 平成27年5月17日 |

| | | | | | |
|---|--|---|-----------|----|---|
| | | 武蔵百景之内 目くろいゑんひ う蔵 | | | |
| | | 武蔵百景之内 浅草寺本堂 | | | |
| | | 武蔵百景之内 隅田川よ利真乳 山遠景 | | | |
| | | 武蔵百景之内 池上本門寺 | | | |
| 2 | 太田記念美術館「広重と清親 清親没後 100 年記念」展 | 東京名所 吾妻雪晴 海運橋雪景 柳島橋本屋 品川海上眺望図 芝葉増上寺日中 川崎月海 武蔵百景之内 亀井戸天満宮 | 7 件 7 点 | 展示 | 平成 27 年 5 月 1 日 ～ 平成 27 年 5 月 28 日 |
| 3 | 山梨県立美術館 「夜の画家たち - 蝋燭の光と テネブリズム」展 | 御厩橋之図 我野戦砲兵九連城幕営攻撃 冒営口巖寒我軍張露営之図 | 3 件 3 点 | 展示 | 平成 27 年 5 月 19 日 ～ 平成 27 年 5 月 31 日 |
| 4 | 茨城県近代美術館天心記念五 浦分館「異界へのいざない - 妖怪大集合」展 | 金太郎小鬼の相撲を見る 江戸の花 大江山酒呑童子 義経一代図会 二回鞍馬山僧正 が谷におゐて牛若丸異人に剣法 を学ぶ 平清盛怪異を見る図 讃岐院眷属をして為朝をすくう 図 肥後国水俣の海上にて為朝難風に 遇、舟くつがえらんと志たりし時讃 岐の院の冥助により高間ふうふの一 念鮫にのりうつりて舜天丸紀平二を すくう 五條橋の牛若と弁慶と天狗 新形三十六怪撰 葛の葉きつね 童子とわかるるの図 新形三十六怪撰 茂林寺の文福 茶釜 源頼光公館土蜘蛛妖怪図 新形三十六怪撰 老婆鬼腕を持 去る図 新形三十六怪撰 源頼光土蜘蛛 ヲ切ル図 | 13 件 13 点 | 展示 | 平成 27 年 7 月 18 日 ～ 平成 27 年 8 月 30 日 |

| | | | | | |
|----|--|--|--------|----|---------------------------------|
| | | 新形三十六怪撰 おもみつゝら | | | |
| 5 | 横浜みなと博物館 企画展「愛すべき海辺の観光 の今・昔」展 | 相州江のしま詣の図 七里か濱 真景 江の嶋辨才天開帳詣 相州江乃嶋辨才天開帳参詣群集 之図 相州江乃嶋辨才天開帳詣本宮岩 屋の図 | 4件4点 | 展示 | 平成27年10月10日 ~ 平成27年11月23日 |
| 6 | 和泉市久保惣記念美術館 特 別展「笑いのかたち」展 | 虎溪三笑図 ほうつきづくし(五條のはし、か ん信) ほうつきづくし(すまう、ゆうれ い) 義太夫外題考物 常盤津外題考物 | 5件5点 | 展示 | 平成27年10月10日 ~ 平成27年11月29日 |
| 7 | サントリー美術館 「久隅守景」展 | 四季耕作図屏風 狩野探幽筆 十六羅漢図 久隅守景筆 | 2件18点 | 展示 | 平成27年10月10日 ~ 平成27年11月29日 |
| 8 | 富山県水墨美術館 企画展「あつまれ墨画アーテ ィスト 龍虎召喚! 水墨で 描かれた霊獣たち」展 | 双龍図屏風 橋本雅邦筆 | 1件2点 | 展示 | 平成27年12月4日 ~ 平成28年1月17日 |
| 9 | 九州国立博物館 トピック展示「八幡」展 | 石清水八幡宮曼荼羅 | 1件1点 | 展示 | 平成28年2月2日 ~ 平成28年3月13日 |
| 10 | サントリー美術館 大阪市立東洋陶磁美術館 瀬戸市美術館 特別展「没後100年 宮川香 山」展 | 高取釉蟹高浮彫水鉢 高浮彫金彩孔雀大花瓶 1対 高浮彫桜に群鳩花瓶 1対 高浮彫群鳩飛来花瓶 高浮彫水禽遊泳ランプ台 高浮彫南天に鶉花瓶 1対 高浮彫菊に鶉飾皿 高浮彫牡丹に眠猫覚醒蓋付水指 | 28件35点 | 展示 | 平成28年2月24日 ~ 平成28年11月27日 |

| | | | | | |
|----|---|----------------------|-----------|----|--|
| | | 高浮彫牡丹に眠猫覚醒大香炉 | | | 平成 28 年 2 月 24 日 ~ 平成 28 年 11 月 27 日 |
| | | 高浮彫蓮に鼠花瓶 | | | |
| | | 高浮彫熊花瓶 1 対 | | | |
| | | 高浮彫四窓に遊蛙獅子蓋付壺 1 対 | | | |
| | | 高浮彫武者蛙合戦花瓶 | | | |
| | | 高浮彫風神雷神花瓶 1 対 | | | |
| | | 高浮彫魁星花瓶 1 対 | | | |
| | | 高浮彫長命苺採取花瓶 | | | |
| | | 高浮彫桜花香炉 | | | |
| | | 高浮彫葡萄の蔓に蜂の巣花瓶 | | | |
| | | 白磁横浜弘明寺十一面観音立像 | | | |
| | | 釉下彩紫陽花透彫花瓶 | | | |
| | | 紫釉盛絵杜若花瓶 | | | |
| | | 色嵌釉紫陽花花瓶 | | | |
| | | 緑釉紫百合香炉 | | | |
| | | 釉下彩山水図香炉 | | | |
| | | 青華岩に竹の図蓋付壺 | | | |
| | | 釉下彩山水図花瓶 | | | |
| | | 辰砂百鬼夜行図花瓶 | | | |
| | | 窯場之画 | | | |
| 11 | MIHO MUSEUM 特別展「かざり - 信仰と祭りのエネルギー - 」展 | 竹生島祭礼図 | 1 件 1 点 | 展示 | 平成 28 年 3 月 1 日 ~ 平成 28 年 5 月 15 日 |
| 12 | 町田市立国際版画美術館 「清親 - 光線画の向こうに」展 | 水府の浪士阪下に閻老を襲撃の 図 | 14 件 14 点 | 展示 | 平成 28 年 3 月 12 日 ~ 平成 28 年 4 月 17 日 |
| | | 猫に提燈 | | | |
| | | 上野公園内之景 | | | |
| | | 亀戸梅屋敷 | | | |
| | | 鶏にトンボ | | | |

| | | | | | |
|--|--|--------------------|------------|--|--|
| | | 九段馬かけ | | | |
| | | 鉄砲打獵師 | | | |
| | | 平忠盛御堂法師を捕る図 | | | |
| | | 菅公配所の図 | | | |
| | | 莊吾渡し場之図真画 | | | |
| | | 武蔵百景之内 江戸ばしより日本橋の景 | | | |
| | | 武蔵百景之内 赤坂きり畑山王うら山 | | | |
| | | 威海衛攻撃氷上之進軍 | | | |
| | | 大激戦二百三高地占領 | | | |
| | | 合 計 | 93 件 117 点 | | |

オ 特別利用

| | 申請者・目的 | 資 料 名 | 件 - 点 | 利用方法 | 利用期間 |
|---|------------|---------------|----------|------------------------|--|
| 1 | 北野天満宮 | 北野天神縁起絵巻 巻6 | 1 件 1 点 | 閲覧及び撮影 | 平成 28 年 12 月 8 日 |
| 2 | 株式会社 美術出版社 | 高浮彫牡丹二眠猫覚醒付水指 | 7 件 9 点 | 作品閲覧取材・撮影及び雑誌「美術手帖」に掲載 | 平成 27 年 12 月 24 日 ~ 平成 28 年 2 月 17 日 |
| | | 高浮彫風神雷神花瓶 | | | |
| | | 高取釉渡蟹水盤 | | | |
| | | 高浮彫親子熊花瓶 | | | |
| | | 高浮彫武者蛙合戦花瓶 | | | |
| | | 釉下彩盛絵杜若図花瓶 | | | |
| | | 釉下彩紫陽花花瓶 | | | |
| | | 合 計 | 8 件 10 点 | | |

(4) 民俗資料

イ 寄贈・寄託・借用・管理換 (寄贈)

| | 寄贈主 | 資 料 名 | 件 - 点 |
|---|------------|--------|----------|
| 1 | 個人(神奈川県在住) | 五月節供飾り | 1 件 4 点 |
| 2 | 個人(神奈川県在住) | 五月節供飾り | 1 件 14 点 |
| 3 | 個人(神奈川県在住) | ドウ | 1 件 1 点 |

| | | | |
|---|------------|-------|-------|
| 4 | 個人(神奈川県在住) | 羽子板 外 | 1件16点 |
| | | 合 計 | 4件35点 |

(寄託)

| | 資 料 名 | 件 - 点 | 当初寄託年月日 |
|---|----------|-------|------------|
| 1 | ダイカイ・オハチ | 2件3点 | 平成27年5月14日 |

(借用)

| | 資料名 | 件 - 点 | 当初借用年月日 |
|----|----------|---------|-------------|
| 1 | 階段 外 | 1件4点 | 昭和43年4月1日 |
| 2 | 神楽面 外 | 1件151点 | 昭和44年12月11日 |
| 3 | お食初め膳 外 | 1件3点 | 昭和46年10月23日 |
| 4 | 燭台 | 1件1点 | 昭和47年3月6日 |
| 5 | 長持 外 | 1件2点 | 昭和47年3月6日 |
| 6 | お歯黒さし 外 | 1件2点 | 昭和47年3月8日 |
| 7 | お歯黒の道具 | 1件1点 | 昭和47年3月11日 |
| 8 | ミノ | 1件2点 | 昭和47年7月11日 |
| 9 | 天狗の面 外 | 1件3点 | 昭和48年2月27日 |
| 10 | 帳場格子 外 | 1件15点 | 昭和48年3月2日 |
| 11 | 結納樽 | 1件1点 | 昭和48年4月1日 |
| 12 | お馬板、ツノダル | 1件3点 | 昭和48年8月20日 |
| 13 | 鏡台と鏡 外 | 1件4点 | 昭和49年4月26日 |
| 14 | 張子面木型 | 1件7点 | 昭和51年6月19日 |
| 15 | 獅子頭 外 | 1件11点 | 昭和54年3月1日 |
| 16 | 婚礼用具 | 1件1点 | 昭和54年3月1日 |
| 17 | 足踏み脱穀機 | 1件2点 | 平成6年4月15日 |
| | 合 計 | 17件213点 | |

工 貸出

| | 申請者・目的 | 資 料 名 | 件 - 点 | 利用方法 | 利用期間 |
|---|----------------------|-------|-------|------|--------------------------------|
| 1 | 相模原市立博物館 常設展示 用資料 | クワ4点 | 1件4点 | 展示 | 平成24年11月1日 ~ 平成30年10月31日 |

(5) 写真資料

ア 平成27年度写真撮影資料

(ア) 特別展図録用

- ・ 没後100年 五姓田義松 -最後の天才-
- ・ 国宝 一遍聖絵
- ・ 石展 -かながわの歴史を彩った石の文化-

(イ) コレクション展示用

- ・ 地図と歴史でみる馬車道

- (ウ) 特別陳列用
 - ・ 仏のすがた 祈りのかたち

(6) 資料の燻蒸等

原則として、IPM(総合的病害虫管理 Integrated Pest Management)に基づき、薬剤による定期的な燻蒸は行っていないが、設備の老朽化に伴い収蔵環境が不安定になったことから、考古、民俗、絵画収蔵庫を対象とした密閉燻蒸を実施した。また、年間を通して定期的に館内の虫菌相・保存環境調査を実施し、必要に応じて脱酸素剤による処理を行っている。

(7) その他の資料

ア 図書

平成 27 年度図書資料の状況は次のとおりである。大学等の関係機関からの寄贈も多く、当館の貴重な資料として活用されている。

| 受 入 種 別 | 購 入 | 寄 贈 | 計 | 総 数 | ライブラリー公開数 |
|-------------|-----|-----|-----|--------|-----------|
| 図 書(冊) | 5 | 371 | 376 | 19,481 | 4,420 |
| 逐次刊行物(タイトル) | 21 | 40 | 61 | 3,827 | 82 |

逐次刊行物はタイトル数で、寄贈は新規のみの数値。

イ 映像

ライブラリーのおよそ 300 本のビデオテープや DVD が利用できる。分類は次のとおり。

A 古代、B 中世、C 近世、D 近代、E 現代、F 民俗、G 当館・博物館、H 日本の歴史、I その他

ウ 写真

展示・調査研究資料として、収蔵資料を中心に撮影したフィルム 99,979 枚とデジタルカメラデータ 11,548 枚を保存し、データベース化するとともに、写真の特別利用として貸出しを行っている。

特別利用件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 件 数 | 22 | 22 | 19 | 21 | 18 | 27 | 18 | 18 | 16 | 21 | 31 | 27 | 260 |
| 点 数 | 34 | 51 | 35 | 48 | 54 | 63 | 37 | 45 | 21 | 86 | 69 | 74 | 617 |

エ 情報システム

(ア) システム整備の目的と背景

- ・ 学習の支援
- ・ 高度な知的ニーズへの対応
- ・ 博物館活動の活性化、効率化
- ・ 研究活動の高度化
 - 各種アプリケーションの利用
 - 博物館が所有する情報の活用
- ・ 情報公開

博物館の再編整備の方向（「県立博物館整備構想に関する提言」昭和 63 年度）

- (1) 高度情報化社会における自然・文化の情報センター
- (2) 映像資料等、新しい形態の資料の収集・保存と活用の拠点
- (3) 内外の博物館、学習文化施設等とのネットワークの拠点

(イ) システム開発と運用

| | |
|---------------|----------------------------|
| システム基本設計・詳細設計 | 平成 5 年度 |
| システム運用開始 | 平成 7 年度 |
| システム更新 | 平成 13 年度、平成 18 年度、平成 23 年度 |

(ウ) 稼動しているシステム(「デジタルミュージアム」)の内容

a 展示情報システムの内容

ミュージアムライブラリーに設置された3台の来館者用パソコンで提供。一部の資料については、高精細の拡大画像も提供。

従来、館内利用に限定されていた展示情報システムは、当館のホームページに掲載され、利用者が自宅や学校で閲覧可能(タイトルのうち、2 絵馬、5 水墨画、12 収蔵コレクションは除く)。

| | タイトル | 内容 |
|----|-------------------------|---|
| 1 | 浮世絵 | 博物館所蔵の約7,000点ある浮世絵の中から、浮世絵の歴史、神奈川を描いた浮世絵、横浜浮世絵、著名な浮世絵師たち、一枚の絵から見る江戸時代の風俗など、テーマごとに選択した230点の浮世絵を紹介。 |
| 2 | 絵馬 | 神奈川県でよく見ることが出来る絵馬や珍しい絵馬など125点を紹介。 |
| 3 | 関東大震災 | 震災時の惨状等を伝える写真資料70点を紹介。 |
| 4 | 古地図・絵地図 | 当館収蔵の古地図の中から50点を紹介。館内端末では拡大画像により、細部まで見ることが可能。 |
| 5 | 水墨画 | 平成10年度に開催した水墨画の特別展に出品された作品の中から代表的な作品85点を紹介。 |
| 6 | 横浜正金銀行 | かつて世界三大為替銀行の一つに数えられた横浜正金銀行の写真資料221点を紹介。 |
| 7 | 眞葛焼 | かつて世界に名を知られた横浜の焼き物の中から46点を紹介。 |
| 8 | 鎌倉彫 | 館蔵品の鎌倉彫の中から32点を紹介。 |
| 9 | 後北条氏関係文書 | 戦国大名北条氏の多様な文書の世界を人物などとともにも118点を紹介。 |
| 10 | 東海道分間絵図 | 東海道の情景を描いた道中案内記(1件5冊)を紹介。拡大画像により、細部まで見ることが可能。 |
| 11 | 県有形民俗文化財 職人の道具コレクション | 神奈川県指定有形民俗文化財「神奈川の職人の道具コレクション」(17職種1,982点)のうち、大山木地師、小田原物差職人、下駄職人、傘職人の道具など、338点を紹介。 |
| 12 | 収蔵コレクション | 収蔵データベースの一部について、概要を一覧形式で提供する。 考古：206点、中世文書96点、彫刻：14点、中世絵画80点、 浮世絵：288点、近代歴史資料260点、近代絵画156点、民俗306点 |

この他に、神奈川県立生命の星・地球博物館が作成・提供している「神奈川の自然」「恐竜」「酒井コレクション細密画」「図書・雑誌検索」も閲覧が可能

b 業務システムの内容

・収蔵資料管理システム

収蔵品管理機能、画像登録機能、受入管理機能、特別利用管理運用機能、各種帳票ラベル出力機能

・図書文献管理システム

(I) システム構成

a 概要

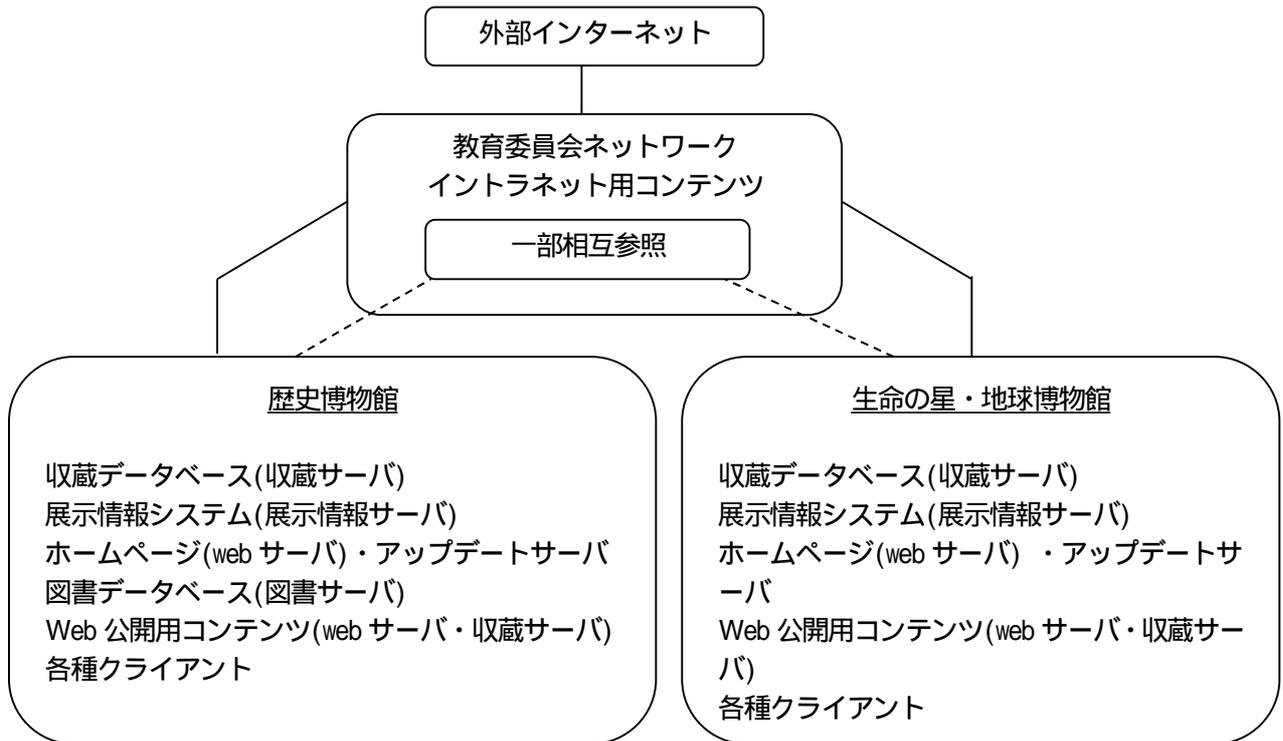
・サーバOS：Red Hat Enterprise Linux ES v3、Windows Server 2008

・クライアントOS：Windows7 及び8.1

b 設置機器

- (a)情報処理室・電源室 : 収蔵システムサーバ 1台、Webサーバ 1台、展示情報用サーバ 1台
 アップデートサーバ 1台、図書サーバ 1台、作業用パソコン 7台
- (b)ミュージアムライブラリー : 来館者用パソコン 3台、レファレンス用パソコン 2台
- (c)展示機材倉庫・印刷室 : 画像入力用パソコン 2台
- (d)学芸部室・学芸部各資料整理室・管理課室・企画情報部室・図書資料整理室・写真室・暗室
 各室作業用パソコン 計36台

(オ) 歴史博物館システム機器構成図



(カ) 歴史博物館ホームページ アクセス件数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| HP | 55,981 | 63,311 | 55,069 | 62,085 | 67,603 | 63,736 | 146,022 | 81,266 | 56,803 | 51,196 | 70,475 | 85,607 | 859,607 |
| 携帯 | 1,349 | 1,411 | 1,259 | 1,429 | 1,605 | 1,199 | 1,171 | 1,211 | 1,200 | 964 | 1,574 | 1,233 | 15,605 |
| 合計 | 57,330 | 64,722 | 56,328 | 63,514 | 69,208 | 64,935 | 147,193 | 82,477 | 58,003 | 52,160 | 72,049 | 86,840 | 874,759 |

参考(内数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| デジタル ミュージアム | 2,578 | 2,790 | 2,935 | 2,739 | 2,967 | 2,488 | 3,865 | 2,674 | 2,237 | 2,115 | 2,701 | 3,035 | 33,124 |
| 子ども向け ページ | 1,322 | 1,336 | 1,418 | 1,577 | 1,739 | 1,270 | 1,365 | 1,285 | 1,179 | 1,002 | 1,620 | 1,499 | 16,612 |

5 展示・教育普及・学習支援

(1) 常設展

当館の常設展示は「文化の交流と変容」という基本テーマに基づき、「かながわの文化と歴史」について、五つの時代に分け、それぞれのテーマのもとに、人々の生活や信仰、政治や経済の変化、外来文化の影響などを、さまざまな角度からとらえ、歴史的視点で展開している。

- 1 さがみの古代に生きた人びと
 - ・大地に生きる狩人
 - ・海への進出
 - ・米づくり、はじまる
 - ・古墳を築く
 - ・都とさがみの国
- 2 都市鎌倉と中世びと
 - ・源頼朝と東国武士団
 - ・戦国大名後北条氏
 - ・掘り起こされた鎌倉
 - ・唐物とその影響
 - ・民衆と仏教
- 3 近世の街道と庶民文化
 - ・宿場と関所
 - ・庶民信仰と名所めぐり
 - ・村の支配と生活
 - ・相武の産物と江戸
- 4 横浜開港と近代化
 - ・蒸気船が導いた新たな時代
 - ・世界へ開かれたみなとYOKOHAMA
 - ・文明開化の音
 - ・近代化と神奈川
 - ・横浜浮世絵に見る神奈川
 - ・横浜正金銀行
- 5 現代の神奈川と伝統文化
 - ・関東大震災を越えて
 - ・昭和恐慌と社会変化
 - ・戦時体制と敗戦
 - ・占領から講和へ
 - ・高度経済成長と環境の変化
 - ・メディアコミュニケーション
 - ・変貌する町と村
 - ・イエと暮らし
 - ・くらしの中の祈り
 - ・なりわいと儀礼
 - ・伝承される技術と芸能

(2) 特別展

ア「中世東国の茶 武家の都鎌倉における茶の文化」

会 期：平成27年4月25日(土)～6月21日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館、文化庁

特別協力：株式会社伊藤園、神奈川県立金沢文庫

協 力：茶道裏千家、表千家不白流、人間市博物館、株式会社神奈川県農協茶業センター、
日本茶インストラクター協会神奈川県支部

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、
産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK 横浜放送局、
tvk(テレビ神奈川)

展示資料件数： 152 件

入 場 者 数： 9,885名(有料3,867名、無料6,018名)

担 当：専門学芸員 永井 晋

概 要： 源頼朝が鎌倉幕府を開くと、京都の密教寺院は鎌倉に進出し、鶴岡八幡宮を中心に密教の祈禱を行うようになり、この時天台・真言の密教は平安時代から使っている煎じ茶を供物に用いた。

同じ頃、中国に留学した栄西は禅宗を学び、禅宗の作法に抹茶を用いた。鎌倉に寿福寺を構えた栄西は、そこで禅を説き、抹茶を使い始める。鎌倉の喫茶文化は、平安仏教が用いた古代の煎茶と禅宗が用いる抹茶を同時に受け入れるところから始まった。大きな流れとして、古代の煎茶から抹茶へと切り替わっていく歴史、儀式や供養のための飲み物として移入された茶が、闘茶という遊戯を通じて一般の人々の飲み物へと変わっていく歴史をたどる。そして、寒冷化の気候に対応するため、室町時代中頃の宇治に防寒対策をほどこした覆下の茶園が成立した。覆下茶園は茶の味を変えることになった技術革新で、千利休による茶道の大成へ向けた新たな段階へと茶の歴史を誘っていく。本展は、武家の都鎌倉を中心に茶道以前の喫茶文化の世界を展示した。

特別展関連行事

記念講演会(無料、ただし特別展観覧料が必要)

日 時： 5月16日(土)14:00~16:00

演 題：「中世の茶筥と茶臼」

講 師：元伊藤園中央研究所研究第一課長 沢村信一 氏

応 募： 85 名

受 講： 67 名

県博講座(連続全3回、無料、ただし特別展観覧券が必要。)

全体テーマ「見つめなおす、鎌倉のお茶」(応募83名)

講師：専門学芸員 永井 晋

第1回

日 時： 5月3日(日)14:00~16:00 (受講77名)

演 題：「密教寺院の茶」

第2回

日 時： 5月10日(日)14:00~16:00 (受講62名)

演 題：「金沢家・称名寺の贈答儀礼」

第3回

日 時： 5月17日(日)14:00~16:00 (受講61名)

演 題：「中世の茶の生産」

関連行事

a「お茶を理解しよう おいしいお茶の淹れ方」

日 時： 5月24日(日) (応募：42名) 11:00~12:00 (受講：18名)

14:00~15:00 (受講：16名)

6月6日(土) (応募：44名) 11:00~12:00 (受講：21名)

14:00~15:00 (受講：13名)

協 力：株式会社伊藤園

概 要： 現代は急須でお茶を淹れることも少なくなり、お茶は日常的な消耗品としての飲料になっている。このイベントでは、お茶は栽培の仕方、加工の仕方、淹れ方でさまざまな味になることを学んでいただき、数種類の淹れ方を体験していただき、好みの味になる淹れ方を学んでいただいた。

b「神奈川のお茶を楽しむ 足柄茶の楽しみ方」

日 時： 5月31日(日) 13:15~15:00 (応募31名、受講23名)

協 力：株式会社神奈川県農協茶業センター、日本茶インストラクター協会神奈川県支部

概 要： 足柄茶は、煎茶の中でもゆっくりと淹れて抽出するなど独特の商品を持っている。このイベントでは、会社が持つ標準的な製法を地域バージョンでブレンドする伊藤園のお茶の淹れ方とは異なる神奈川ブランドの足柄茶の味わい方を体験していただいた。

子ども向け行事

a「親子でお茶を楽しもう！ おいしいお茶の淹れ方」

日 時：6月13日(土) 10:30~12:00 (応募44名、受講13名)

協 力：株式会社伊藤園

概 要： は煎茶の淹れ方、味の違いを中心に組み立てたが、子ども向けということで、抹茶や茶の加工飲料まで体験のメニューに加えた。また、親子の体験ということで、体験の時間を長めにとるスケジュールとした。

b 「高校生のためのお茶講座 おいしいお茶の淹れ方とお茶の歴史 」

日 時：6月13日(土) 14:00~16:00 (応募21名、受講21名)

協 力：株式会社伊藤園

概 要： 高校生にターゲットを絞ったので、親子体験教室の説明をやや詳しくする内容とした。淹れ方による煎茶の味の違い、抹茶、抹茶を使ったデザートなど、日常的な喫茶を文化として楽しむ初歩を体験していただいた。

学芸員による展示解説

解説：専門学芸員 永井 晋 (会場：特別展示室)

第1回：5月24日(日) 13:30~14:30 (参加 41名)

第2回：5月31日(日) 13:30~14:30 (参加 56名)

第3回：6月7日(日) 13:30~14:30 (参加 51名)

第4回：6月14日(日) 13:30~14:30 (参加 58名)

第5回：6月21日(日) 13:30~14:30 (参加 62名)

出品目録

凡例 NO. 指定 名称 品質形状 員数 時代 所蔵者等
指定 ◎国宝 重要文化財 県指定 市区指定

| | | | |
|----|---|----|---|
| 1 | 弘法大師像 絹本着色 1幅 室町時代 宝生寺 神奈川県立歴史博物館寄託 | 16 | 北斗法 223函 15 紙本墨書 1巻 鎌倉時代 称 名寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 2 | 三国祖師影 紙本着色 1巻 鎌倉時代 龍華寺・ 神奈川県立金沢文庫寄託 | 17 | 北斗供 当年星供 三宝院 319函 82 紙本墨書、 1冊 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 3 | (杉並区) 明恵上人書状 紙本墨書 1幅 鎌倉時代 妙法寺 | 18 | 本命属星供次第 298函 61 紙本墨書 1冊 鎌倉 時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 4 | 吾妻鏡 版本 1冊 江戸時代 神奈川県立歴史博物館 | 19 | 星供图(北斗図)297函 紙本着色 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 5 | 喫茶養生記 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 寿福寺 | 20 | 五行大義 版本 全5冊 江戸時代 個人蔵 |
| 6 | 堆黒長命富貴方箱 1合 南宋時代 鶴岡八幡宮 | 21 | 沢抄 第八星宿 260函一1-8 紙本墨書 1巻 鎌 倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 7 | 茶名 6769/1867 紙本墨書 1紙 鎌倉~南北朝時 代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管 | 22 | 秘鈔口決本鈔第十八 129函 21 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 8 | 聖一国師像 自賛 弘安三年 絹本着色 1幅 鎌 倉時代 東福寺 | 23 | 北斗護摩私記 292函 58 1冊 南北朝時代 称名 寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 9 | 関東往還記前記 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 称名 寺・神奈川県立金沢文庫管理 | 24 | (横浜市) 七星如意輪曼荼羅 絹本着色 1幅 鎌倉 時代 弘明寺・神奈川県立歴史博物館寄託 |
| 10 | 茶書(306-0270) 版本 全5冊 明時代 国立公文 書館 | 25 | 金銅六器 銅製 六口 鎌倉時代 |
| 11 | 秋篠寺悪党狼籍等注文 紙本墨書 1巻 鎌倉時代 西大寺 | 26 | 大黒天神 320函 90 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 12 | 西大寺と秋篠寺境相論絵図 紙本墨書 1幅 鎌倉 時代 西大寺・奈良国立博物館寄託 | 27 | 焰摩天供次第 324函 7 1冊 鎌倉時代 称名 寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 13 | 図像抄 紙本着色 1冊 室町時代 龍華寺・神奈川 立金沢文庫寄託 | 28 | 焰摩天 十二天 甲本 紙本版画著色 1幅 室町時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理 |
| 14 | (横浜市)血脈類集記 卷十 紙本墨書 1巻 室町時 代 龍華寺・神奈川県立金沢文庫寄託 | 29 | 題未詳聖教(順忍書状紙背)1489/994 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管 |
| 15 | 覚禅抄 星宿法 紙本墨書 1巻 鎌倉時代 称名 寺・神奈川県立金沢文庫管理 | | |

- 30 諸尊 同秘決 45函1 1 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理
- 31 天台大師供作法292函 38 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理
- 32 万事秘密集書 433函 18 紙本墨書 1冊 室町時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理
- 33 重雕補註禪苑清規 第四卷 23函 2 紙本墨書 1冊 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理
- 34 順忍書状 1516/1004 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 35 式盤型かわらけ(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土) 2点 鎌倉市教育委員会
- 36 縁西書状 974/1040 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 37 東禅寺知事書状 2571/1063 紙本墨書 1紙 南北朝時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 38 山内経之書状 不動明王像像内文書14号 紙本墨書 1紙 南北朝時代 高幡山金剛寺
- 39 山内経之書状 不動明王像像内文書37号 紙本墨書 1紙 南北朝時代 高幡山金剛寺
- 40 某書状 不動明王像像内文書61号 紙本墨書 1紙 南北朝時代 高幡山金剛寺
- 41 異制庭訓往来 紙本印刷 1冊 大正時代 人間市博物館
- 42 湛睿書状 1828/3747 紙本墨書 1紙 南北朝時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 43 氏名未詳書状 2995/1558 紙本墨書 1紙 南北朝時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 44 師守記 紙本墨書 2巻 南北朝時代 国立国会図書館
- 45 師守記 紙本墨書 1冊 江戸時代 国立国会図書館
- 46 文書目録 日祐 紙本墨書 1冊 南北朝時代 中山法華経寺
- 47 賢恵書状 1195/1769 紙本墨書 2紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 48 和泉国守護大内義弘安堵状 紙本墨書 1巻 室町時代 久米田寺・大阪歴史博物館保管
- 49 院主某寄進状 紙本墨書 1巻 室町時代 久米田寺・大阪市歴史博物館保管
- 50 製茶之図 紙本著色 1冊 江戸時代 国立国会図書館
- 51 万安方 紙本墨書 1冊 江戸時代 神奈川県立金沢文庫
- 52 天目茶碗 陶磁器 1口 元時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 53 天目茶碗 陶磁器 6片 南北朝時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 54 風炉 瓦質土器 1口 南北朝時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 55 風炉 瓦質土器 17片 南北朝時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 56 茶入 陶磁器 2片 元時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 57 茶壺(底部)1点 南北朝時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 58 茶壺(断片) 陶磁器 3片 明時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 59 茶臼 1基 南北朝時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 60 茶臼 2基 南北朝時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 61 茶臼 2片 南北朝時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 62 青白磁合子 陶磁器 1片 元時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 63 青磁香炉 陶磁器 1片 元時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 64 青磁碗 陶磁器 1片 明時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 65 梅瓶 陶磁器 3片 明時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 66 火鉢 土師質 1口 南北朝時代 川越市教育委員会・河越館跡出土
- 67 青磁皿(龍泉窯) 陶磁器 1口 元時代 千葉県教育委員会・思井堀之内遺跡出土
- 68 白磁小皿 陶磁器 1口 元時代 千葉県教育委員会・思井堀之内遺跡出土
- 69 墨書土器「庄」 土師器 1口 平安時代 千葉県教育委員会・思井堀之内遺跡出土
- 70 茶壺 陶磁器(褐釉四耳壺) 1口 明時代 兵庫県立考古博物館・宮内堀脇遺跡出土
- 71 陶器壺(安南産陶器壺) 陶磁器 1口 後醍醐時代 兵庫県立考古博物館・三田城跡出土
- 72 唯観房良朝印可記 5891/2716 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 73 叡尊葬送記 5975/2759 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 74 金沢貞頭書状 155/480 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 75 金沢貞頭書状 164/489 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺 神奈川県立金沢文庫保管
- 76 中世の復元茶筌 2本 平成時代 個人蔵
- 77 茶筌 1本 室町時代 兵庫県立考古博物館・宮内堀脇遺跡出土
- 78 茶筌 1本 室町時代 兵庫県立考古博物館・袴狭遺跡出土
- 79 (鎌倉市) 白磁水注 陶磁器 1口 元時代 鎌倉市教育委員会・笹目遺跡出土

- 80 (鎌倉市) 白磁皿 陶磁器 1口 元末・明初 鎌倉市教育委員会・笹目遺跡出土
- 81 (鎌倉市) 天目茶碗 陶磁器 1口 元時代 鎌倉市教育委員会・笹目遺跡出土
- 82 (鎌倉市) 銅製銚子 金銅製 1口 鎌倉時代 鎌倉市教育委員会・笹目遺跡出土
- 83 白磁水注 陶磁器 1口 南宋～元時代 鎌倉市教育委員会・佐助ヶ谷やぐら出土
- 84 褐釉茶入1口 陶磁器 1口 元時代 鎌倉市教育委員会・蔵屋敷東遺跡出土
- 85 灰匙 1本 室町時代 兵庫県立考古博物館・宮内堀脇遺跡出土
- 86 灰匙 1本 室町時代 兵庫県立考古博物館・宮内堀脇遺跡出土
- 87 黒釉碗・堆屈輪天目台 陶磁器 1口 南宋時代
- 88 柿天目茶碗 陶磁器 1口 北宋時代
- 89 玳皮蓋天目茶碗 陶磁器 1口 南宋時代
- 90 青磁鎬蓮弁文碗 陶磁器 1口 元時代 鎌倉市教育委員会・若宮大路周辺遺跡出土
- 91 天目茶碗 陶磁器 1口 明時代 兵庫県立考古博物館・兵庫津遺跡出土
- 92 青磁茶碗 陶磁器 1口 元時代 兵庫県立考古博物館・宮脇遺跡出土
- 93 白磁碗 陶磁器 1口 元時代 兵庫県立考古博物館・宝林寺北遺跡出土
- 94 瀬戸美濃天目茶碗 陶磁器 1口 室町時代 兵庫県立考古博物館・入佐川遺跡出土
- 95 青磁鎬文鉢(龍泉窯)陶磁器 1口 元時代 神奈川県立歴史博物館
- 96 青磁播座三足水盤(龍泉窯)陶磁器 1口 元～明時代 神奈川県立歴史博物館
- 97 青磁貼花牡丹唐草文大花瓶(龍泉窯)陶磁器 1口 元時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 98 太平記 巻七巻八 版本 1冊 江戸時代 神奈川県立金沢文庫
- 99 三十輻 第五・五四 版本 1冊 明治時代 国会図書館
- 100 尺素往来 紙本墨書 1冊 室町時代 国立公文書館
- 101 鬮茶札 木製 1枚 室町時代 兵庫県立考古博物館・宮内堀脇遺跡出土
- 102 鬮茶札 木製 1枚 室町時代 兵庫県立考古博物館・宮内堀脇遺跡出土
- 103 鬮茶表 紙本墨書 1紙 南北朝時代 元興寺・元興寺文化財研究所保管
- 104 鬮茶表 紙本墨書 1紙 南北朝時代 個人蔵・茶道資料館写真提供
- 105 天目茶碗 陶磁器 1口 南宋時代 神奈川県立近代美術館 木下翔近コレクション
- 106 青白磁劃花蓮華文瓶(景德鎮)陶磁器 1口 南宋時代 神奈川県立歴史博物館
- 107 青磁劃花牡丹文瓶(龍泉窯)陶磁器 1口 元時代 神奈川県立歴史博物館
- 108 堆朱屈輪文香合 彫漆 1合 明時代 神奈川県立歴史博物館
- 109 堆黒屈輪文香合 彫漆 1合 明時代 神奈川県立歴史博物館
- 110 堆朱鳳凰牡丹文香合 彫漆 1合 明時代 神奈川県立歴史博物館
- 111 堆朱蓮華文方盆 彫漆 1枚 明時代 神奈川県立歴史博物館
- 112 堆朱雲鶴文丸盆 彫漆 1枚 明時代 神奈川県立歴史博物館
- 113 鎌倉彫葡萄文台子 木製 1台 安土桃山時代 神奈川県立歴史博物館
- 114 長井貞秀書状 630/859 紙本墨書 1紙 称名寺・神奈川県立金沢文庫
- 115 青白磁小壺他8点 南宋時代他 鎌倉市教育委員会 今小路西遺跡出土
- 116 茶臼 塩基性岩 1基 南宋時代 野村美術館
- 117 茶臼 宇治石製 1基 安土桃山～江戸時代中期 野村美術館
- 118 臼 安山岩製 1基 鎌倉時代 神奈川県立金沢文庫・称名寺境内出土
- 119 臼 安山岩製 1基 鎌倉時代 神奈川県立金沢文庫・薬王院敷地内表面採集
- 120 ◎ 南大門前一服一銭茶売人道覚等連署条々請文 東寺百合文書 ケ函98号 紙本墨書 1紙 室町時代 京都府立総合資料館
- 121 ◎ 南大門前一服一銭茶売人道幸後家八郎次郎連署条々請文 東寺百合文書シ函61号 紙本墨書 1紙 室町時代 京都府立総合資料館
- 122 ◎ 南大門前茶商人沙弥浄音条々請文 東寺百合文書や54号 紙本墨書 1紙 室町時代 京都府立総合資料館
- 123 ◎ 神泉苑掃除時茶代下行切符 東寺百合文書ケ函130号 12 紙本墨書 1紙 室町時代 京都府立総合資料館
- 124 金沢貞頭書状 127/455 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 125 金沢貞頭書状 1166/947 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺 神奈川県立金沢文庫保管
- 126 金沢貞頭書状428/725+423/720 紙本墨書 2紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 127 氏名未詳書状4303/金笈揮抄 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫管理
- 128 氏名未詳書状 4734/随意抄 紙本墨書 1紙 南北朝時代 称名寺 神奈川県立金沢文庫管理
- 129 称名寺土蔵方目録 5678/306 紙本墨書 2紙 室町時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管
- 130 戒光寺庫院常住物日記 5951/1892 紙本墨書 1紙 南北朝時代 称名寺・神奈川県立金沢文庫保管

- | | |
|--|--|
| <p>131 瀬戸天目碗 陶磁器 1口 南北朝時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡史跡外出土</p> <p>132 瀬戸天目碗 陶磁器 1口 室町時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡史跡外出土</p> <p>133 風炉 瓦質土器 1基 室町時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>134 風炉 瓦質土器 1片 室町時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>135 火鉢 瓦質土器 1口 室町時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>136 湯釜 瓦質土器 1基 室町時代 伊豆の国市教育委員会・史跡伝掘越御所跡</p> <p>137 茶臼 安山岩製 1基 室町時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>138 黒釉天目(建窯) 陶磁器 1口 元時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>139 瀬戸天目茶碗 陶磁器 1口 室町時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>140 瀬戸天目茶碗 陶磁器 1口 室町時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>141 小天目 陶磁器 5口 南北朝時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> | <p>142 青白磁合子 陶磁器 1合 南宋時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡史跡外出土</p> <p>143 合子 陶磁器 1合 鎌倉時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>144 柄杓 竹製 1本 南北朝～室町時代 伊豆の国市教育委員会・御所之内遺跡出土</p> <p>145 藤内定員邸跡遺跡出土遺物 40点 鎌倉時代 鎌倉市教育委員会</p> <p>146 灰釉陶器洗 陶磁器 1口 明時代 兵庫県立考古博物館・山野里宿遺跡出土</p> <p>147 青白磁劃花唐子文鉢(景德鎮) 陶磁器 1口 南宋時代 神奈川県立歴史博物館</p> <p>148 青磁碗 陶磁器 3口 南宋時代 鎌倉市教育委員会・大倉幕府周辺遺跡出土</p> <p>149 石臼 二基 鎌倉時代 鎌倉市教育委員会・大倉幕府周辺遺跡出土</p> <p>150 青磁皿(龍泉窯) 陶磁器 1口 南宋時代 鎌倉市教育委員会・大倉幕府周辺遺跡出土</p> <p>151 白磁水注(景德鎮) 陶磁器 1口 北宋時代</p> <p>152 白磁水注 陶磁器 1口 南宋時代</p> <p>参考 茶臼 石造物 1基 江戸時代 田邊哲人所蔵</p> |
|--|--|

イ「没後100年 五姓田義松 最後の天才」

会 期：平成27年9月19日(土)～11月8日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館

協 力：明治美術学会、東海大学資格教育センター、東海大学教養学部芸術学科美術学課程

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)

展示資料件数： 745 件

入 場 者 数： 30,872 名(有料20,106名、無料10,766名)

担 当：主任学芸員 角田 拓朗

概 要： 没後100年を迎えた洋画家五姓田義松の回顧展。昭和61年(1986)に当館の前身である県立博物館時代以来、およそ30年ぶりの大回顧展とあって、当館が所蔵する全作品ならびに資料、さらには他館が所蔵する作品他をほぼ網羅するような内容とした。大部な点数をおおむね前後期に分けて展示を行ったため、展示室内は作品に満ち溢れ窮屈な印象もあったが、濃密な展示空間として好評だった。NHKE テレ日曜美術館で特集され、新聞全国版各紙の展評で紹介されるなど、マスコミによる宣伝効果もあり、多くの入場者数を記録した。当館独自にはtwitter や特設ホームページ(動画配信)、義松を紹介する漫画入りのパンフレット作製、四つ折りカラーリーフレット作製など実験につとめ、おおむね成功した。本展にあわせて当館が所蔵する義松史料の翻刻と解説をまとめた『五姓田義松史料集』、ならびに五姓田派の活動をまとめた『絵師五姓田芳柳義松親子の夢追い物語』を刊行し、学术界に大きく貢献すると同時に一般向けの普及にも努めた。結果、年末の『朝日新聞』『毎日新聞』にて年間で優秀だった展覧会として取り上げられるなど、義松の評価は従前と比較して好転し、不遇の画家という単純な位置づけから、幕末明治を代表する洋画家として強く認知されることとなった。さらに平成28年2月にNHKE テレ日曜美術館で特集番組が再放送されたことをうけ、同年3月に特集展示を行った。

特別展関連行事

記念講演会【入門講座】(無料、ただし特別展観覧料が必要)

日 時：9月20日(日)14:00~16:00

演 題：「五姓田義松 5点の作品から読み解くその魅力と生涯」

講 師：主任学芸員 角田 拓朗

応募者： 84 名

受講者： 68 名

県博セミナー（連続全4回、各回1,000円、ただし連続講座のため全4回申込者優先）

全体テーマ「五姓田義松を多彩に語る」（応募：118名）

第1回

日 時：10月3日(土)14:00~16:00（受講：53名）

演 題：「五姓田義松：西欧との対決」

講 師：大原美術館館長 高階秀爾氏

第2回

日 時：10月10日(土)14:00~16:00（受講：36名）

演 題：「洋画の熱 義松の夏」

講 師：主任学芸員 角田 拓朗

第3回

日 時：10月24日(土)14:00~16:00（受講49名）

演 題：「五姓田義松は、時代を追い越したのか、あるいは時代に追い越されたのか」

講 師：明治学院大学教授 山下裕二氏

第4回

日 時：10月31日(土)14:00~16:00（受講43名）

演 題：「義松と仮想対談：明治美術家との語り」

講 師：東京藝術大学准教授 小沢剛氏

現地見学会

「五姓田派の旧跡を歩く」義松が居住した野毛山周辺、関連史跡を巡り歩く

日 時：平成27年10月21日(水)14:00~17:00（応募40名、参加30名）

案 内：主任学芸員 角田 拓朗

子ども向けワークショップ(申込不要)

東海大学資格教育センターと教養学部芸術学科美術課程との連携プロジェクト

「鉛筆で描く 正確に描く 明治の美術教科書を参考に特別に作成したワークシートを用いて鉛筆で

対象を正確に描いてみよう。君も義松になろう」

第1回：10月11日(日) 10:00~16:30（受講91名、見学16名）

第2回：11月1日(日) 10:00~16:30（受講104名、見学10名）

学芸員による展示解説

解 説：主任学芸員 角田 拓朗

| | | | | |
|-------|-------------|-------------|----------|--------|
| 第1回： | 9月19日(土) | 13:30~14:00 | (会場：特展室、 | 参加62名) |
| 第2回： | 9月22日(火・祝) | 13:30~14:00 | (会場：特展室、 | 参加63名) |
| 第3回： | 9月27日(日) | 13:30~14:30 | (会場：特展室、 | 参加57名) |
| 第4回： | 10月4日(日) | 13:30~14:30 | (会場：特展室、 | 参加53名) |
| 第5回： | 10月11日(日) | 15:00~15:30 | (会場：会議室、 | 参加53名) |
| 第6回： | 10月11日(日) | 15:30~16:00 | (会場：会議室、 | 参加53名) |
| 第7回： | 10月12日(月・祝) | 11:00~11:30 | (会場：講堂、 | 参加75名) |
| 第8回： | 10月12日(月・祝) | 13:30~14:00 | (会場：講堂、 | 参加83名) |
| 第9回： | 10月12日(月・祝) | 14:30~15:00 | (会場：講堂、 | 参加80名) |
| 第10回： | 10月14日(水) | 15:00~15:30 | (会場：会議室、 | 参加60名) |
| 第11回： | 10月15日(木) | 15:00~15:30 | (会場：会議室、 | 参加72名) |
| 第12回： | 10月16日(金) | 15:00~15:30 | (会場：会議室、 | 参加34名) |
| 第13回： | 10月16日(金) | 15:30~16:00 | (会場：会議室 | 参加18名) |
| 第14回： | 10月17日(土) | 15:00~15:30 | (会場：講堂、 | 参加88名) |
| 第15回： | 10月18日(日) | 11:00~11:30 | (会場：講堂、 | 参加73名) |

| | | | | |
|-------|-------------|-------------|----------|---------|
| 第16回: | 10月18日(日) | 14:00~14:30 | (会場:講堂、 | 参加67名) |
| 第17回: | 10月18日(日) | 15:30~16:00 | (会場:講堂、 | 参加71名) |
| 第18回: | 10月20日(火) | 15:00~15:30 | (会場:講堂、 | 参加83名) |
| 第19回: | 10月22日(木) | 15:00~15:30 | (会場:講堂、 | 参加40名) |
| 第20回: | 10月24日(土) | 14:30~15:00 | (会場:会議室、 | 参加40名) |
| 第21回: | 10月24日(土) | 15:00~15:30 | (会場:会議室、 | 参加40名) |
| 第22回: | 10月25日(日) | 11:00~11:30 | (会場:講堂、 | 参加90名) |
| 第23回: | 10月25日(日) | 13:30~14:00 | (会場:講堂、 | 参加94名) |
| 第24回: | 10月27日(火) | 15:00~15:30 | (会場:講堂、 | 参加93名) |
| 第25回: | 10月28日(水) | 13:45~14:15 | (会場:講堂、 | 参加74名) |
| 第26回: | 10月28日(水) | 15:00~15:30 | (会場:講堂、 | 参加52名) |
| 第27回: | 11月2日(月・開館) | 13:30~14:00 | (会場:講堂、 | 参加91名) |
| 第28回: | 11月4日(水) | 15:00~15:30 | (会場:講堂、 | 参加83名) |
| 第29回: | 11月5日(木) | 15:00~15:30 | (会場:講堂、 | 参加96名) |
| 第30回: | 11月7日(土) | 11:00~11:30 | (会場:講堂、 | 参加104名) |
| 第32回: | 11月7日(土) | 15:00~15:30 | (会場:講堂、 | 参加81名) |
| 第33回: | 11月8日(日) | 11:00~11:30 | (会場:講堂、 | 参加76名) |
| 第34回: | 11月8日(日) | 13:30~14:00 | (会場:講堂、 | 参加110名) |
| 第35回: | 11月8日(日) | 15:00~15:30 | (会場:講堂、 | 参加69名) |

出品目録

凡例) 作品番号、作品名、材質・技法、員数、寸法 縦×横 cm、制作年代、所蔵先、展示期間

なお、当館が所蔵する五姓田義松旧蔵作品群は割愛する。

| | |
|--|--|
| 1 横浜薫座 紙・鉛筆・水彩 1 21.5×31.8 明治32 (1899)年 東京国立博物館 10/17~11/8 | 14 農村風景(端午の節句) 紙・鉛筆・水彩 1 28.0×42.3 明治30年代 神奈川県立歴史博物館 後期展示 |
| 2 浅草仁王門 紙・水彩 1 22.0×29.0 明治7(1874) 年 神奈川県立歴史博物館 通期展示 | 15 東海道戸塚附近前山田村 紙・鉛筆・水彩 1 31.2×44.3 明治42(1909)年 神奈川県立歴史博物館 前期展示 |
| 3 有章院殿霊屋(上野東照宮) 紙・水彩 1 31.5×45.0 明治18(1885)年 東京国立博物館 9/19~10/16 | 16 御物 孝明天皇御肖像 紙・水彩 1 103.4×67.5 明 治11(1878)年 宮内庁 前期展示 |
| 4 隅田川畔茶亭 紙・鉛筆・水彩 1 23.5×35.0 不詳 東京国立博物館 10/17~11/8 | 17 齋藤俊吉氏旧蔵作品群 - 63 - 不詳 神奈川県立 歴史博物館寄託 通期展示 |
| 5 池之端弁天社 紙・鉛筆・水彩 1 21.9×29.0 不詳 神奈川県立歴史博物館 通期展示 | 18 佐賀征討戦記 紙・石版画 1 22.8×15.2 明治8 (1875)年 神奈川県立近代美術館 場面替 |
| 6 向島橋場 紙・鉛筆・水彩 1 22.2×29.2 不詳 神 奈川県立歴史博物館 通期展示 | 19 東京近傍写景法範 第一編・第二巻 紙・石版画 2 第 一編19.5×25.4 第二編18.0×24.5 明治 7-8(1875-76)年 神奈川県立近代美術館 場面替 |
| 7 日光華厳瀑布之図 紙本墨画 1 93.4×30.7 不詳 坂東市立猿島資料館 通期展示 | 20 「日本の祭」『ル・モンド・イリュストレ』 紙・石版 画 1 41.7×31.0(冊子) 明治18(1885)年 横浜開 港資料館 通期展示 |
| 8 香川敬三肖像 紙・鉛筆・チヨーク 1 67.6×51.1 明 治23(1890)年 個人(皇學館大学開発研究センター寄 託)通期展示 | 21 十二箇月之内 残月 紙・石版画 1 31.8×39.3 明 治27(1894)年 江戸東京博物館 9/19~10/18 |
| 9 園田御令嬢肖像 紙・コンテ 1 50.1×36.6 明治35 (1902)年 個人 通期展示 | 22 東京日日新聞第一万号付録 紙・多色石版画 147.0×63.5 明治37(1904)年 日本新聞博物館 通期 展示 |
| 10 修善寺風景 紙・水彩 1 24.2×34.8 明治20(1887) 年 府中市美術館 9/19~10/16 | 23 「仏大統領の訃音」『大阪毎日新聞』 紙・平版 110.0×8.3(画面) 明治32(1899)年 日本新聞博物 館 通期展示 |
| 11 農夫と馬 紙・鉛筆・水彩 1 22.0×32.8 明治30年 代 個人 通期展示 | 24 「魚介図」『美術画報』13巻11号 紙・多色石版画 122.5×30.0 明治36(1903)年 個人 通期展示 |
| 12 神社の風景 紙・鉛筆・水彩 1 22.7×33.6 明治30 年代 個人 通期展示 | |
| 13 日本風俗 紙・水彩 1 20.3×35.4 明治30年代 個人 通期展示 | |

- 25 婦人像 キャンバス・油彩 1 37.4×28.6 明治4
(1871)年 東京藝術大学 通期展示
- 26 少女像 紙・油彩 1 43.2×34.2 不詳 宮城県美術
館 通期展示
- 27 婦人像 キャンバス・油彩 1 41.0×34.7 明治4
(1871)年 個人 通期展示
- 28 根岸友山像 キャンバス・油彩 1 42.2×36.6 明治
12(1879)年 個人 通期展示
- 29 清水の富士 キャンバス・油彩 1 58.0×100.1 明治
13(1880)年 東京都現代美術館 通期展示
- 30 御物 明治十一年北陸東海御巡幸図 板・油彩/紙・水
彩 10 各31.6×45.0 明治11(1878)年 宮内庁
(6)(12)(25)(30) 前期展示
(1)(15)(19)(21)(38)(40) 後期展示
- 31 明治帝御眺望図 ポール紙・油彩 1 31.5×44.8
不詳 東京藝術大学 通期展示
- 参考 御物 昭憲皇太后御肖像 キャンバス・油彩 1
134.5×104.5 明治12(1879)年 宮内庁 パネル
- 32 西洋婦人像 キャンバス・油彩 1 65.2×53.3 明治14
(1881)年 東京藝術大学 通期展示
- 33 操芝居 キャンバス・油彩 1 84.0×119.4 明治16
(1883)年 東京藝術大学 通期展示
- 34 パリの風景 キャンバス・油彩 1 35.3×57.8 明治16
(1883)年 府中市美術館 通期展示
- 35 クリュニー美術館にて キャンバス・油彩 13.0×54.0
明治17(1884)年 神奈川県立近代美術館寄託 通期展示
- 36 加奈陀ヴィクトリア港景図 キャンバス・油彩 1
89.3×144.8 明治25(1892)年 宮内庁三の丸尚蔵館
9/19~10/16
- 37 田子之浦図 キャンバス・油彩 1 79.1×145.5 明治
25(1892)年 宮内庁三の丸尚蔵館 10/17~11/8
- 38 浅田夫妻像 キャンバス・油彩 2 59.5×43.5 明治
23(1890)年 個人(東京国立博物館寄託) 通期展示
- 39 大隈重信像 キャンバス・油彩 1 210.0×90.0 明治
34(1901)年 早稲田大学會津八一記念博物館 通期展示
- 40 緒方洪庵像 キャンバス・油彩 1 59.5×43.3 明治34
(1901)年 大阪大学適塾記念センター 通期展示
- 41 緒方夫人八重像 キャンバス・油彩 1 59.5×43.3
明治34(1901)年 大阪大学適塾記念センター 通期展示
- 42 原敬肖像(平服) 紙、鉛筆 1 39.0×29.7 明治35
(1902)年 原敬記念館 通期展示
- 43 原夫人あさ子肖像 紙、鉛筆 1 35.0×25.3 明治35
(1902)年 原敬記念館 通期展示
- 44 原敬肖像(大礼服) キャンバス・油彩 1 36.5×29.8
明治35(1902)年 原敬記念館 通期展示
- 45 男性像 キャンバス・油彩 1 36.2×30.6 明治30年
代 個人 通期展示
- 46 萩谷義則像 キャンバス・油彩 1 34.7×28.0 明治
32(1899)年 個人 通期展示
- 47 銭湯 キャンバス・油彩 1 48.8×65.8 不詳 東京
藝術大学 通期展示
- 48 山の宿 キャンバス・油彩 1 29.8×41.8 不詳 神
奈川県立歴史博物館 通期展示
- 49 養老滝 キャンバス・油彩 1 47.5×32.0 不詳 東
京国立博物館 通期展示
- 50 土佐丸 キャンバス・油彩 1 63.0×98.0 明治29
(1896)年 日本郵船株式会社 9/19~10/16
- 51 江ノ島図 キャンバス・油彩 1 39.3×75.9 明治29
(1896)年 大佛次郎記念館 通期展示
- 52 浜離宮 キャンバス・油彩 1 44.0×68.5 不詳 静
岡県立美術館 通期展示
- 53 洛西風景 キャンバス・油彩 1 32.0×46.1 明治40
(1907)年 神奈川県立歴史博物館 通期展示
- 54 田子之浦図 キャンバス・油彩 1 33.0×50.0 明治
30年代 個人 通期展示
- 55 朝陽の富士 キャンバス・油彩 1 73.5×98.5 明治
36-38(1903-05)年 茨城県近代美術館 通期展示
- 56 富士 キャンバス・油彩 1 46.8×101.5 明治38
(1908)年 静岡県立美術館 通期展示
- 57 五姓田芳柳像 キャンバス・油彩 1 74.5×52.6 明
治13(1880)年 東京藝術大学 通期展示
- 58 父芳柳像 キャンバス・油彩 1 27.0×19.5 明治5
(1872)年 東京藝術大学 通期展示
- 59 婦人像(横浜婦人) 紙・油彩 1 40.3×30.3 明治7
(1874)年 東京藝術大学 通期展示
- 60 自画像(十三歳) キャンバス・油彩 1 31.7×23.7
明治元(1868)年 東京藝術大学 通期展示
- 61 自画像 キャンバス・油彩 1 73.3×55.0 明治10
(1877)年 東京藝術大学
- ・香川敬三宛五姓田義松書簡 1 明治43(1910)年
個人(皇學館大學開発研究センター寄託) 通期展示
 - ・黒田清輝宛五姓田義松書簡 2 明治41(1908)年
11月25日付/明治44(1911)年 東京文化財研究所 通
期展示
 - ・五姓田義松展覧会引き札 1 明治9(1876)年 東京文
化財研究所 通期展示
 - ・雷名三幅対 1 明治12(1879)年 杜若文庫 通期展示
 - ・東京雷名三幅対 1 明治13(1880)年 杜若文庫 通期
展示
 - ・七福神雷名競 1 明治20(1887)年 神奈川県立近代
美術館 通期展示
 - ・横浜市街地と牛坂沿いの山手を写したパノラマ写真 明
治37-39(1904-06)年 横浜開港資料館(岡山洋二氏寄
贈) パネル
 - ・山手本通り沿いの稜線を写したパノラマ写真 明治7-39
(1904-06)年 横浜開港資料館(岡山洋二氏寄贈) パネル

ウ「国宝 一遍聖絵」

会 期：平成 27 年 11 月 21 日(土)～12 月 13 日(日) * 歴史博物館の会期

主 催：神奈川県立歴史博物館

神奈川県立金沢文庫(会期：平成 27 年 11 月 19 日(木)～12 月 13 日(日))

遊行寺宝物館(会期：平成 27 年 10 月 10 日(土)～12 月 13 日(日))

特別協力：藤沢市、藤沢市教育委員会、東京国立博物館

協 賛：江ノ島電鉄株式会社、公益社団法人藤沢市観光協会、藤沢商工会議所、高志書院、東芝ライテック株式会社

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK 横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FM ヨコハマ、

展示資料件数：34 件 三館全体では 115 件

入 場 者 数：7615 名(有料 5,209 名、無料 2,406 名)

担 当：主任学芸員 古川 元也、学芸員 小井川 理

概 要： 国宝「一遍聖絵」は、宗教者一遍の行状を描いた鎌倉時代の名品で、国内最古の絹本着色絵巻。一遍は念仏(南無阿弥陀仏)を唱えることで誰でもが往生を遂げることができると民衆に説いた僧侶で、鎌倉時代に新しく成立した仏教宗派のひとつ、時衆(時宗)の誕生に大きな役割を果たした。本展では、この絵巻を所蔵する神奈川県藤沢市に所在する時宗総本山清浄光寺(遊行寺)の「一遍聖絵」維持管理団体・遊行寺宝物館が全面的にリニューアルオープンするのを機に、記念事業として企画されたものである。本展では全十二巻を、遊行寺宝物館、県立歴史博物館、県立金沢文庫の三館で共同展示した。各館の展示巻にはそれぞれ特色があり、各館を巡ることにより全巻を鑑賞できる仕組みとした。本絵巻の全巻同時一般公開は本邦初であり、三館での展示も初めてであった。同時に「一遍聖絵」にまつわる名品も精選して展示した。

特別展関連行事

記念講演会(無料、ただし特別展観覧料が必要)

日 時：11 月 23 日(月・祝)14:00～16:00

演 題：「一遍聖絵の魅力」

講 師：時宗教学研究所顧問・真光寺住職 長島尚道 氏

応募者：219 名

受講者：78 名

県博セミナー (連続全 3 回、各回 1,000 円、ただし連続講座のため全 3 回申込者優先)

全体テーマ「一遍聖絵を旅する」(応募：101 名)

第 1 回

日 時：11 月 22 日(日)14:00～16:00 (受講 67 名)

演 題：「描かれた中世都市と中世遺跡」

講 師：同志社大学教授 鋤柄俊夫 氏

第 2 回

日 時：11 月 29 日(日)14:00～16:00 (受講 73 名)

演 題：「一遍聖絵の名所描写」

講 師：奈良国立博物館教育室長 谷口耕生 氏

第 3 回：12 月 6 日(日)14:00～16:00 (受講 58 名)

演 題：「描かれた宗教世界を読み解く」

講 師：主任学芸員 古川 元也、学芸員 小井川 理

学芸員による展示解説(無料、ただし特別展観覧券が必要) 講堂を会場としたミニレクチャー

第 1 回

日 時：11 月 28 日(土) 13:30～14:00 (参加 66 名)

解 説：主任学芸員 古川 元也

第2回

日時：12月5日(土) 13:30~14:00 (参加 55名)

解説：学芸員 小井川 理

第3回

日時：12月12日(土) 13:30~14:00 (参加 75名)

解説：主任学芸員 古川 元也

第4回

日時：12月13日(日) 13:30~14:30 (参加 45名)

解説：学芸員 小井川 理

特別展開催記念シンポジウム

全体テーマ：「国宝一遍聖絵の全貌」

日時：11月15日(日) 10:00~16:25

会場：東京国立博物館平成館大講堂

応募者：459名

参加者：372名

基調講演：放送大学教授 東京大学名誉教授 五味文彦氏 「一遍聖絵の中世」

パネリスト

1. 成城大学 相澤正彦氏「一遍の王都入場」
2. 東京国立博物館 瀬谷 愛氏「『社寺参詣曼荼羅』としての聖絵」
3. 神奈川県立金沢文庫 梅沢 恵氏「図像学的解釈の試み」
4. 遊行寺宝物館 遠山元浩氏「人間一遍」
5. 東京大学 松岡心平氏「踊り念仏とはなにか」
6. 立正大学 佐多芳彦氏「一遍聖絵の服装描写における特色」
7. 京都大学 富島義幸氏「建築表現のリアリティー」

討論会 総司会・進行：神奈川県立歴史博物館 古川 元也

出品目録

凡例 資料番号、指定、名称、品質形状、員数、時代、所蔵者

指定 ◎国宝 重要文化財 県指定 市区町指定

| | |
|---|---|
| 1 ◎ 一遍聖絵(十二巻のうち)第四巻 絹本著色 1巻 鎌倉時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺) | 11 (神奈川県) 遊行上人縁起絵(十巻のうち)第一巻 紙本著色 1巻 室町時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺) |
| 2 ◎ 一遍聖絵(十二巻のうち)第五巻 絹本著色 1巻 鎌倉時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺) | 12 (神奈川県) 遊行上人縁起絵(十巻のうち)第三巻 紙本著色 1巻 室町時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺) |
| 3 ◎ 一遍聖絵(十二巻のうち)第六巻 絹本著色 1巻 鎌倉時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺) | 13 (神奈川県) 遊行上人縁起絵(十巻のうち)第四巻 紙本著色 1巻 室町時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺) |
| 4 ◎ 一遍聖絵(十二巻のうち)第十巻 絹本著色 1巻 鎌倉時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺) | 14 鉦鼓 青銅製 1口 室町時代 神奈川県立歴史博物館 |
| 5 (神奈川県) 一遍上人像 紙本著色 1幅 南北朝時代 神奈川県立歴史博物館 | 15 鉦鼓 青銅製 1口 南北朝時代 個人 |
| 6 (福岡県) 一遍上人像 絹本著色 1幅 南北朝時代 九州国立博物館 | 16 阿弥陀五輪塔図鉦架(「天正」銘) 木製漆塗 1式 室町 ~ 桃山時代 鎌倉国宝館 |
| 7 一遍他阿真教像 紙本著色 1幅 室町時代 個人 | 17 阿弥陀位牌図鉦架 木製漆塗 1式 室町~ 桃山時代 鎌倉国宝館 |
| 8 神仏古説話等残巻 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 神奈川県立金沢文庫 | 18 阿弥陀位牌図鉦架支板 木製漆塗 1枚 室町~ 桃山時 代 神奈川県立歴史博物館 |
| 9 八幡略縁起 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 神奈川・ 称名寺 神奈川県立金沢文庫 | 19 阿弥陀三尊図鉦架支板 木製漆塗 1枚 室町~ 桃山時 代 神奈川県立歴史博物館 |
| 10 諸社寺勸進帳写 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 神奈 川・称名寺 | 20 他阿真教坐像 木造 1軀 鎌倉時代 神奈川・蓮 台寺 |
| | 21 持蓮華(伝一遍所持) 木製 1本 鎌倉時代 神奈川・ 清浄光寺(遊行寺) |

- | | |
|---|--|
| <p>22 持蓮華 伝他阿真教所持 木製 1本 南北朝時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺)</p> <p>23 阿弥衣 布製 1着 室町時代 神奈川・清浄光寺(遊行寺)</p> <p>24 富士山禅定図 木版淡彩 1紙 江戸時代 神奈川県立金沢文庫</p> <p>25 相州津村江ノ島縁起 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 神奈川県立金沢文庫</p> <p>26 江ノ島古図 木版淡彩 1紙 江戸時代 神奈川県立金沢文庫</p> <p>27 鎌倉金沢図屏風 紙本墨書 1隻 江戸時代 個人</p> <p>28 源頼朝袖判下文(治承五年七月二十九日) 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 静岡・三嶋大社</p> | <p>29 源頼朝袖判下文(治承七年三月十七日) 紙本墨書 1紙 鎌倉時代 静岡・三嶋大社</p> <p>30 表白并廻向 紙本墨書 1冊 南北朝時代 神奈川・称名寺</p> <p>31 神明納受法花事 紙本墨書 1冊 鎌倉時代 神奈川・称名寺</p> <p>32 (山北町) 箱根権現縁起絵巻(二巻のうち下巻) 紙本著色 1巻 桃山時代 個人</p> <p>33 遊行縁起 紙本著色 1巻 室町時代 神奈川県立歴史博物館</p> <p>34 骨蔵器(一遍上人供養塔内納置品) 備前 1点 鎌倉時代 兵庫・真光寺</p> |
|---|--|

エ「石展 かながわの歴史を彩った石の文化」

会 期：平成28年2月6日(土)～3月27日(日)

主 催：神奈川県立歴史博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館

後 援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ、石文社、箱根ジオパーク推進協議会

展示資料件数：323件

入 場 者 数：10,062名(有料4,213名、無料5,849名)

担 当：主任学芸員 丹治 雄一、学芸員 千葉 毅、学芸員 新井 裕美、専門員(学芸員) 鳥居 和郎、神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員 山下 浩之

概 要：かながわにおける人と石との関わりは、およそ3万5000年前の旧石器時代に始まる。以後、生活の道具、装身具、信仰に関わるものから土木、建築まで、その用途は各時代を通じて多岐にわたっている。鎌倉時代以降使用が盛んになった箱根火山由来の岩石である真鶴町の「小松石」の採掘が今も行われているように、その利用は現在まで連綿と続いている。

本展では、かながわの大地を形づくっている地質や岩石の特色を示した上で、人々と石とのむすびつきを各種の資料により展示した。箱根で産出する黒曜石の流通、鎌倉時代に東国で広く展開した箱根産安山岩による石塔類の製作、近年発見され注目を集めている戦国大名北条氏の小田原城における石組庭園、豊臣秀吉が築城した国内3例目の惣石垣の城である石垣山一夜城、明治期を代表する洋風建築である日本銀行本店や横浜正金銀行本店(現当館建物)で使用された湯河原町の「白丁場石」や、庶民のくらしや信仰に寄り添いながら南関東一円に流通した厚木市を中心に産出する「七沢石」など、かながわの大地の産物である石材が各時代をどのように彩ったのかを、考古学・歴史学・民俗学・地質学・岩石学による多角的な視点で解き明かした。

なお、本展は昭和42年に開館した神奈川県立博物館を母体とし、平成7年にリニューアルオープンした当館と神奈川県立生命の星・地球博物館が共催したはじめての特別展である。

特別展開連行事

記念講演会(無料、ただし特別展観覧料が必要)

(7) 日 時：2月21日(日)14:00～16:00

演 題：中世の石塔・板碑をとおして見たかながわ

講 師：國學院大學教授 千々和 到 氏

応募者：118名

受講者：86名

(1) 日 時：2月28日(日)14:00～16:00

演 題：石を切る 砕石職人の技とくらし
講 師：国立歴史民俗博物館准教授 松田陸彦 氏
応募者：89名
受講者：71名

県博講座（連続全5回、無料、ただし特別展観覧券が必要）

・全体テーマ「かながわの歴史を彩った石の文化」（応募158名）

第1回

日時：2月20日(土)10:00~12:00(受講34名)
14:00~16:00(受講63名)

演題：「かながわの大地の生い立ちと石材」

講師：神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員 山下 浩之

第2回

日時：2月27日(土)10:00~12:00(受講28名)
14:00~16:00(受講58名)

演題：「石をみる考古学の眼」

講師：学芸員 千葉 毅

第3回

日時：3月5日(土)10:00~12:00(受講31名)
14:00~16:00(受講62名)

演題：「神奈川の中世史を彩る石の文化について」

講師：専門員(学芸員) 鳥居 和郎

第4回

日時：3月12日(土)10:00~12:00(受講24名)
14:00~16:00(受講57名)

演題：「庶民の生活と石」

講師：学芸員 新井 裕美

第5回

日時：3月19日(土)10:00~12:00(受講37名)
14:00~16:00(受講62名)

演題：「近代洋風建築に使用された“幻の石材”白丁場石の歴史」

講師：主任学芸員 丹治 雄一

ワークショップ(参加費無料、ただし材料費有)

「勾玉(まがたま)をつくろう！」(応募260名)

日時：2月13日(土)10:00~12:00(参加大人15名、子ども8名)
13:30~15:30(参加大人4名、子ども26名)
2月14日(日)10:00~12:00(参加大人6名、子ども24名)

子ども向けイベント(参加費無料ただし材料費有)

「石を割って加工しよう」(応募27組57名)

日時：3月6日(日)13:30~15:30(参加：子ども18名、大人13名、見学：大人12名)

指導：竹林石材店代表取締役 竹林智大 氏

現地見学会(参加費無料、ただし保険料有)

「石垣山一夜城周辺の岩石と史跡を学ぶ」(応募140名)

日時：3月13日(日)13:00~16:00(参加48名)

建物見学会

「旧横浜正金銀行本店本館建物見学会」(応募93名)

日時：3月26日(土)10:00~12:00(参加18名)
13:30~15:30(参加29名)

案内：主任学芸員 丹治 雄一

学芸員による展示解説

第1回：2月7日(日)13:30~14:30(参加31名)

- 解説：主任学芸員 丹治 雄一、学芸員 新井 裕美
 第2回：2月11日(木・祝)13:30~14:30 (参加32名)
 解説：主任学芸員 丹治 雄一、学芸員 新井 裕美
 第3回：2月14日(日) 13:30~14:30 (参加35名)
 解説：主任学芸員 丹治 雄一、学芸員 新井 裕美、専門員 鳥居 和郎
 第4回：3月20日(日) 13:30~14:30 (参加53名)
 解説：主任学芸員 丹治 雄一、学芸員 千葉 毅
 第5回：3月27日(日) 13:30~14:30 (参加44名)
 解説：主任学芸員 丹治 雄一、学芸員 新井 裕美
 追加：3月27日(日) 15:00~15:30 (参加24名)
 解説：学芸員 新井 裕美

出品目録

(凡例) 、資料名、年代、所蔵・<所在地>

* 資料名の前に付した記号のうち、**は重要文化財**、**は県指定文化財**、**は市町村指定文化財**を示し、本展に出品されている実物資料に表示した。資料名の末に「*」があるものは写真パネル展示の資料である。

| | |
|---|---|
| 1 小仏層群の千枚岩 1億~6600万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 18 丹沢層群早戸亜層群落合層産貝化石(アオシマオキナエビス) 600万~500万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 2 小仏層群の砂岩 1億~6600万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 19 丹沢層群早戸亜層群落合層産貝化石(ダイニチフミガイ) 600万~500万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 3 相模湖層群の粘板岩 4500万~2300万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 20 斑れい岩 700万~400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 4 相模湖層群の泥岩(生痕化石入り) 4500万~2300万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 21 トーナル岩 700万~400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 5 四万十帯の粘板岩 1億~6600万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 22 結晶質石灰岩 700万~400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 6 四万十帯の頁岩 1億~6600万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 23 ホルンフェルス 700万~400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 7 四万十帯の千枚岩 1億~6600万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 24 角閃岩 700万~400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 8 丹沢層群塔ヶ岳亜層群寄沢層の玄武岩(枕状溶岩) 1650万~1600万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 25 緑泥片岩 700万~400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 9 丹沢層群大山亜層群本谷川層の火山角礫岩 1600万~1430万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 26 三浦層群初声層の軽石質凝灰岩(ミウラニシキ化石入り) 550万~400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 10 丹沢層群大山亜層群本谷川層の石灰岩(サンゴ化石) 1600万~1430万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 27 早川凝灰角礫岩層の火山礫凝灰岩 約400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 11 丹沢層群煤ヶ谷亜層群不動尻層の軽石質凝灰岩 1300万~1200万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 28 上総層群浦郷層の軽石質凝灰岩 約280万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 12 葉山層群森戸層の泥岩(玉髓入り) 2000万~1800万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 29 中津層群小沢層の砂岩(ザルガイの一種の化石入り) 約280万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 13 葉山層群中のカンラン岩 形成年代不詳 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 30 中津層群小沢層の礫岩(貝化石入り) 約280万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 14 三浦層群三崎層の凝灰岩(火山豆石入り) 1200万~850万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 31 足柄層群日向層の泥岩 約250万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 15 丹沢層群早戸亜層群寺家層の泥岩 750万~600万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 32 足柄層群瀬戸層の礫岩 250万~170万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 16 丹沢層群早戸亜層群落合層の礫岩 600万~500万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 33 足柄層群塩沢層産のハマグリ化石 120万~70万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 |
| 17 丹沢層群早戸亜層群落合層産貝化石(サザエの一種) 600万~500万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 34 二宮層群の砂岩(ベニグリ化石入り) 70万~50万年前 |

神奈川県立生命の星・地球博物館

35 下末吉層の化石付き剥ぎ取り資料 13万～8万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

36 東京軽石層剥ぎ取り標本 6万6千年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

37 マガキ化石 沖積層 神奈川県立生命の星・地球博物館

38 オオノガイ化石 沖積層 神奈川県立生命の星・地球博物館

39 箱根火山外輪山溶岩天昭山溶岩グループの玄武岩 40万～35万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

40 箱根火山外輪山溶岩海ノ平火山体の玄武岩質安山岩 35万～30万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

41 箱根火山外輪山溶岩根府川溶岩グループの安山岩 30万～23万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

42 箱根火山外輪山溶岩本小松溶岩グループのデイサイト 18万～17万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

43 箱根火山外輪山溶岩真鶴溶岩グループの安山岩 15万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

44 箱根火山前期中央火口丘溶岩屏風山溶岩のデイサイト 8万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

45 箱根火山後期中央火口丘溶岩台ヶ岳溶岩の安山岩 4万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

46 箱根火山後期中央火口丘溶岩二子山溶岩 5千年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

47 七沢石(丹沢層群煤ヶ谷亜層群大沢層) 1200万～850万年前 神奈川県立歴史博物館

48 セラドン石を含む凝灰岩(丹沢層群煤ヶ谷亜層群不動尻層) 1100万～850万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

49 戸川砥(丹沢層群大山亜層群本谷川層中の貫入岩) 550万～240万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

50 佐島石(三浦層群初声層) 550万～400万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

51 鎌倉石(三浦層群池子層もしくは上総層群浦郷層) 350万～280万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

52 塩田石(中津層群塩田層) 約250万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

53 六方石(足柄層群畑層中の貫入岩(柱状節理)形成年代不詳) 神奈川県立生命の星・地球博物館

54 かまど石(二宮石)(二宮層群) 70万～50万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

55 矢佐芝石丁場の輝石安山岩(主に明神ヶ岳火山体の溶岩) 27万～23万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

56 早川石丁場の輝石安山岩(米神溶岩グループ) 30万～25万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

57 根府川石(根府川溶岩グループ) 30万～25万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

58 本小松石(本小松溶岩グループ) 18万～17万年前

神奈川県立生命の星・地球博物館

59 新小松石(真鶴溶岩グループ) 15万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

60 白丁場石 18万～17万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

61 黒曜岩(鍛冶屋流紋岩) 約31万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

62 黒曜岩(弁天山溶岩・畑宿溶岩) 13万～12万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

63 箱根火山後期中央火口丘の安山岩(駒ヶ岳溶岩) 3～2万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

64 久野石(かま石)(明神ヶ岳火山体起源の再堆積物) 形成年代不詳 神奈川県立生命の星・地球博物館

65 風祭石(東京軽石火砕流堆積物) 6.6万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

66 田代石(東京軽石火砕流堆積物) 6.6万年前 神奈川県立生命の星・地球博物館

67 箱根畑宿産黒曜石原石 神奈川県立歴史博物館

68 箱根畑宿産黒曜石製の石器(藤沢市 用田大河内遺跡) 旧石器時代 神奈川県教育委員会

69 ナイフ形石器装着復元 神奈川県教育委員会

70 石造五輪塔 鎌倉時代 鎌倉国宝館

71 石切窓屏風(六曲一隻) 江戸時代 小田原市郷土文化館

72 道祖神 文政13(1830)年 神奈川県立歴史博物館

73 横浜船渠株式会社第二号船渠で使用された石材 明治時代 三菱重工業横浜製作所

74 神奈川県域最古の石器群(綾瀬市 吉岡遺跡群D区) 神奈川県教育委員会
ナイフ状石器 旧石器時代
台形様石器 旧石器時代
削器 旧石器時代
彫器 旧石器時代

75 磨製石斧の製作関連資料(山北町 尾崎遺跡) 神奈川県教育委員会
磨製石斧 完成品 縄文時代中期
磨製石斧 未完成品 縄文時代中期
ハンマーストーン 縄文時代中期
砥石 縄文時代中期

76 有舌尖頭器(伊勢原市 三ノ宮・下谷戸遺跡) 縄文時代草創期 神奈川県教育委員会

77 石鏃(伊勢原市 三ノ宮・下谷戸遺跡) 縄文時代草創期 神奈川県教育委員会

78 石鏃(横須賀市 田戸遺跡) 縄文時代早期 神奈川県立歴史博物館

79 石鏃(横須賀市 田戸遺跡) 縄文時代早期 神奈川県立歴史博物館

80 石鏃(三浦市 諸磯貝塚) 縄文時代前期 神奈川県立歴史博物館

81 石鏃(三浦市 諸磯貝塚) 縄文時代前期 神奈川県立歴史博物館

- 82 石鏃（横浜市 笹山遺跡）縄文時代中期 神奈川県立歴史博物館
- 83 石鏃（横浜市 三ツ沢貝塚）縄文時代中期 神奈川県立歴史博物館
- 84 石鏃（横浜市 称名寺貝塚）縄文時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 85 石鏃（横浜市 称名寺貝塚）縄文時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 86 石鏃（秦野市 平沢道明遺跡）縄文時代晩期 神奈川県立歴史博物館
- 87 石鏃（秦野市 平沢道明遺跡）縄文時代晩期 神奈川県立歴史博物館
- 88 石鏃の刺さった鹿の骨（複製、原品は静岡県浜松市蛸塚貝塚）縄文時代後期～晩期 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
- 89 石鏃 着柄復元品 神奈川県立歴史博物館
- 90 磨製石鏃（横浜市 日野町）弥生時代 神奈川県立歴史博物館
- 91 磨製石鏃（三浦市 間口A洞窟）弥生時代中期～後期 神奈川県立歴史博物館
- 92 磨製石鏃（横浜市 三殿台遺跡）弥生時代中期 神奈川県立歴史博物館
- 93 鉄鏃（平塚市 岡崎小学校内横穴墓群）古墳時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 94 鉄鏃（横須賀市 井田横穴墓群）古墳時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 95 鉄鏃（横浜市 駒岡大山野横穴墓群）古墳時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 96 弥生時代中期の道具セット（秦野市 砂田台遺跡7号住居址）神奈川県教育委員会
 太形蛤刃石斧 弥生時代中期後葉
 挟入柱状片刃石斧 弥生時代中期後葉
 扁平片刃石斧 弥生時代中期後葉
 ノミ形石器 弥生時代中期後葉
 敲石 弥生時代中期後葉
 砥石 弥生時代中期後葉
 板状鉄斧 弥生時代中期後葉
 ノミ形鉄器 弥生時代中期後葉
 ヤリガンナ形鉄器 弥生時代中期後葉
 刀子形鉄器 弥生時代中期後葉
 壺形土器 弥生時代中期後葉
 鉢形土器 弥生時代中期後葉
- 97 太形蛤刃石斧（横浜市 権田原遺跡）弥生時代中期後葉 横浜市教育委員会
- 98 太形蛤刃石斧（横浜市 観福寺遺跡群開耕地遺跡）弥生時代中期後葉 横浜市教育委員会
- 99 挟入柱状片刃石斧（横須賀市 ひる畑遺跡）弥生時代中期後葉 神奈川県立横須賀高等学校
- 100 砥石（横須賀市 ひる畑遺跡）弥生時代中期後葉 神奈川県立歴史博物館
- 101 板状鉄斧（横浜市 権田原遺跡）弥生時代中期後葉 横浜市教育委員会
- 102 板状鉄斧（横浜市 観福寺遺跡群開耕地遺跡）弥生時代中期後葉 横浜市教育委員会
- 103 縄文時代中期の磨製石斧装着復元 首都大学東京 山田昌久研究室
- 104 弥生時代の太形蛤刃石斧装着復元 首都大学東京 山田昌久研究室
- 105 磨製石斧で伐採した切り株 首都大学東京 山田昌久研究室
- 106 弥生時代の板状鉄斧装着復元 首都大学東京 山田昌久研究室
- 107 鉄斧で伐採した切り株 首都大学東京 山田昌久研究室
- 108 石斧と鉄斧での伐採比較映像 首都大学東京 山田昌久研究室
- 109 石斧の伐採復元模型 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
- 110 忍性像（複製）（原本 鎌倉時代）神奈川県立歴史博物館
- 111 箱根山宝篋印塔（伝多田満仲の墓）* 永仁4(1296)年 <箱根町元箱根>
- 112 忍性塔* 鎌倉時代 極楽寺
- 113 石造五輪塔 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 114 堂建立書 鎌倉時代 称名寺（神奈川県立金沢文庫保管）
- 115 金沢貞頭書状 鎌倉時代 称名寺（神奈川県立金沢文庫保管）
- 116 金沢貞頭像（複製）（原本 鎌倉時代）神奈川県立歴史博物館
- 117 三村寺五輪塔（清凉院極楽寺跡）* 鎌倉時代 つくば市小田中部区（管理）
- 118 矢穴が残る大仏殿の礎石* 鎌倉時代 高德院
- 119 曾我兄弟・虎御前墓塔* 永仁3(1295)年（虎御前墓塔）<箱根町元箱根>
- 120 鎌倉石製五輪塔 鎌倉時代 鎌倉国宝館
- 121 一石五輪塔 鎌倉時代 鎌倉国宝館
- 122 上大井余見宝篋印塔* 嘉元2(1304)年 個人
- 123 安養院宝篋印塔* 徳治3(1308)年安養院
- 124 覚園寺開山塔（智海心慧の墓塔）* 正慶元(1332)年 覚園寺
- 125 覚園寺二世塔（大燈源智の墓塔）* 正慶元(1332)年 覚園寺
- 126 正慶二年銘宝篋印塔 正慶2(1333)年 鎌倉国宝館
- 127 嘉暦二年銘宝塔 嘉暦2(1327)年 個人（鎌倉国宝館寄託）
- 128 城願寺五層塔* 嘉元2(304)年 城願寺
- 129 石造七層塔（伝上杉憲方の墓）* 鎌倉～南北朝時代 個人
- 130 阿弥陀三尊種子板碑 正応元(1288)年 鎌倉国宝館

- 131 宝篋印塔陽刻板碑* 徳治3(1308)年 長谷寺
- 132 五輪塔陽刻板碑 鎌倉時代 長谷寺
- 133 六道地藏(元箱根磨崖仏のうち)* 正安2(1300)年
<箱根町元箱根>
- 134 二十五菩薩(元箱根磨崖仏のうち)*
永仁元・3・(1293・95・96)年 <箱根町元箱根>
- 135 北条氏所領役帳(狭山北条家伝来) 江戸時代写
(原本 永禄2年) 神奈川県立歴史博物館
- 136 北条家朱印状(天文二十二年)四月二日付 天文
22(1553)年 個人
- 137 北条家朱印状 永禄十一年六月二十八日付 永禄
11(1568)年 個人
- 138 北条氏康朱印状(永禄十一年)九月五日付 永禄
11(1568)年 個人
- 139 北条氏康朱印状(永禄十二年)二月六日付 永禄
12(1569)年 個人
- 140 北条家朱印状 天正三年三月七日付 天正3(1575)
年 個人
- 141 北条家朱印状(年未詳)十月二十九日付 戦国時代
個人
- 142 石工の作業所から出土した石製品(相輪、茶臼、鉢)
戦国時代 小田原市教育委員会
- 143 茶臼 戦国時代 大和市つる舞の里歴史資料館
- 144 御用米曲輪遺跡から出現した敷石庭園* 戦国時代
<小田原市城内>
- 145 御用米曲輪遺跡の池の護岸石組と石材 戦国時代
小田原市教育委員会
- 146 豊臣秀吉書状(天正十八年)五月十四日付 天正18
(1590)年 神奈川県立歴史博物館
- 147 太閤御陣城相州石垣山古城図 享保5(1720)年
小田原市立図書館
- 148 石垣山一夜城に残る石垣* 天正18(1590)年
<小田原市早川>
- 149 小田原城の小峯御鐘ノ台大堀切* 戦国時代
<小田原市城山>
- 150 小田原御天守御石切りかへの事(天守閣用石材代
金前渡証文) 寛永7(630)年 個人
- 151 小田原御天守御石かへの事(天守閣用石材代金受取証
文) 寛永7(1630)年 個人
- 152 小田原城絵図(寛文図)寛文12(1672)年 小田原市立
図書館
- 153 寛文図の改修計画に基づいて復元された馬出門*
<小田原市城内>
- 154 村中萬覚書帳(塚原村明細帳) 寛文12(1672)年 個人
- 155 南足柄市内に残る矢穴がある巨岩 <南足柄市広町>
- 156 石工先祖碑* 安政6(1859)年7月 <真鶴町岩>
- 157 波戸場御用石請負書 安政6(1859)年4月20日
個人
- 158 旧横須賀製鉄所第一船渠の護岸から採取された「青」
「赤」の石材 江戸時代後期~明治時代前期
- 横須賀市自然・人文博物館
- 159 横須賀弍覧図 1881(明治14)年8月 神奈川県立歴史
博物館
- 160 土屋大次郎肖像写真 明治時代 個人
- 161 土屋大次郎肖像画 年代不詳 真鶴町教育委員会
- 162 故土屋大次郎氏銅像 1911(明治44)年
真鶴町教育委員会
- 163 土屋商店印半纏 年代不詳 真鶴町教育委員会
- 164 真鶴石工道具 昭和時代 神奈川県立歴史博物館
- 165 石材運搬用和船「大新丸」の絵図 1885(明治18)
年 神奈川県立公文書館
- 166 人民所有石材陸軍省所有地通過ノ儀ニ付伺
1890(明治23)年11月22日 神奈川県立公文書館
- 167 小原台堡壘跡出土安山岩および凝灰岩製石材
明治時代 神奈川県教育委員会
- 168 小原台堡壘建築用石材購買供給請負の契約書
1893(明治26)年 神奈川県立公文書館
- 169 千代ヶ崎砲台砲床用石材売買の契約書
1894(明治27)年8月27日 神奈川県立公文書館
- 170 横浜船渠2号ドックへの石材納入(『横浜船渠株
式会社史稿』所収) 昭和時代 三菱重工業横浜
製作所
- 171 横浜船渠株式会社第二号船渠築造用石材明細書
明治時代 神奈川県立公文書館
- 172 第参回 請求書 1896(明治29)年2月 真鶴町
教育委員会
- 173 横浜船渠2号ドック築造工事写真 明治時代 個
人(横浜開港資料館寄託)
- 174 浦賀船渠ドック築造用石材供給への謝辞 1899
(明治32)年12月25日 真鶴町教育委員会
- 175 第三海堡築造用石材切り出し等に関する請負契約書
1901(明治34)年1月10日 神奈川県立公文書館
- 176 横浜港第2期築港工事への石材供給請負契約書 1903(明
治36)年4月14日 神奈川県立公文書館
- 177 花崗岩板石売り渡しの契約証 1903(明治36)年
12月26日 神奈川県立公文書館
- 178 為取替書 1910(明治43)年1月20日 神奈川県立公文
書館
- 179 土屋康二商店広告(『建築資料共同型録 大正十五年』
所収) 1926(大正15)年 神奈川県立歴史博物館
- 180 箱根畑宿産黒曜石原石 神奈川県立歴史博物館
- 181 箱根畑宿産黒曜石製の石器(平塚市 原口遺跡第 文化
層) 旧石器時代 神奈川県教育委員会
- 182 神津島産黒曜石製の石器(平塚市 原口遺跡) 縄文時
代草創期 神奈川県教育委員会
- 183 神津島産黒曜石埋納遺構出土資料(平塚市 原口遺跡J1
号黒曜石集石) 神奈川県教育委員会
神津島産黒曜石原石 縄文時代中期
縄文土器片 縄文時代中期
- 184 霧ヶ峰産黒曜石埋納土器(清川村 北原[No.9]遺跡)

- 神奈川県教育委員会
霧ヶ峰産黒曜石原石 縄文時代後期
縄文土器 縄文時代後期
- 185 高原山産黒曜石原石 神奈川県立歴史博物館
186 高原山産黒曜石製の石器(相模原市 田名向原遺跡)
旧石器時代 相模原市教育委員会
187 白滝産黒曜石原石 神奈川県立歴史博物館
188 置戸産黒曜石原石 神奈川県立歴史博物館
189 槍先形尖頭器(座間市 栗原中丸遺跡) 旧石器時代
神奈川県教育委員会
190 ヒスイ製垂飾(平塚市 原口遺跡) 縄文時代 神奈川県
教育委員会
191 ヒスイ製垂飾(藤沢市 石川山田C遺跡)複製 縄文時
代中期 神奈川県立歴史博物館
192 綾瀬市吉岡遺跡群と藤沢市用田鳥居前遺跡出土石器
の接合資料 旧石器時代 神奈川県教育委員会
193 阿弥陀三尊種子板碑 正応4(1291)年
山北町教育委員会
194 阿弥陀三尊種子板碑 鎌倉時代
山北町教育委員会
195 大日一尊種子板碑 鎌倉～南北朝時代
山北町教育委員会
196 武蔵型板碑の石材採掘地(下里・青山板碑製作遺跡)*
南北朝～室町時代 <埼玉県小川町>
197 山北町から出土した石塔群* 鎌倉～室町時代
種徳寺
198 大日一尊種子板碑 康永元(1342)年
小田原市教育委員会
199 大日一尊種子板碑* 文保元(1317)年 居神社
200 阿弥陀一尊種子板碑* 元亨2(1322)年 居神社
201 阿弥陀三尊種子板碑* 建武5(1338)年 宝金剛寺
202 大日一尊種子板碑* 鎌倉～南北朝時代(小田原城内)
203 俱利伽羅不動板碑* 弘長2(1262)年 五所神社
204 阿弥陀種子板碑* 弘長年間(1261～1263) 光明寺
205 石曳図 江戸時代 個人
206 江之浦村絵図 江戸時代 個人
207 寛(寛永十二年九月二十五日付) 寛永12(1635)
年 個人
208 相州西郡西筋真鶴村書上ヶ帳 寛文12(1672)年
真鶴町教育委員会
209 岩村、真鶴村、吉浜村図 江戸時代か
小田原市立図書館
210 石切十分一金納入難儀につき口上書元禄4(1696)年
真鶴町教育委員会
211 早川石丁場群 関白沢支群の石丁場跡(早川石丁
場群関白沢支群遺跡) 江戸時代 <小田原市早川>
212 サンコロ石* 江戸時代 <三浦市三戸浜>
213 江戸城の石垣に使用されている安山岩* 2015年撮影
<東京都千代田区>
- 214 『江戸名所図会』巻之一 「三ツ橋」「寒橋」 江戸時
代 神奈川県立歴史博物館
215 旅出石切職之者名前書上帳 安政6(1859)年 伊那市
立高遠町図書館
216 石切名前書上帳 文久2(1862)年 伊那市立高遠町図
書館
217 石川日記 明和3(1766)年 個人(八王子市郷土
資料館寄託)
218 庚申塔* 明和3(1766)年 八王子市原町会館
219 高遠石工銘の題目塔* 宝永3(1706)年
<厚木市下荻野>
220 高遠石工銘の題目塔* 宝永7(1710)年 <妙昌寺>
221 高遠石工の墓* 文化4(1807)～嘉永元(1848)年
<伊勢原市日向>
222 鍛代家過去帳の写し 2014(平成26)年 個人
223 皇国地誌写 愛甲郡七沢村 明治時代 神奈川県立歴史
博物館
224 皇国地誌写 愛甲郡煤ヶ谷村 明治時代 神奈川県立歴史
史博物館
225 七沢石丁場作業風景* 1981(昭和56)年撮影 厚木市
郷土資料館
226 七沢石工道具(神奈川県立歴史博物館所蔵) 江戸～
昭和時代 厚木市郷土資料館 神奈川県立歴史博物館
227 石材価格取極簿 1950(昭和25)年 個人
228 手水鉢 製作年代不詳 神奈川県立生命の星・地球の博
物館
229 地蔵 正徳3(1713)年 厚木市郷土資料館
230 日向石製の石垣* 明治時代(2015年撮影)
<伊勢原市日向>
231 日向石製のフタクチベツツイ* 昭和時代(2015年撮
影) <伊勢原市日向>
232 専売臼のカタ 1910(明治43)年 厚木市郷土資料館
233 搗臼 昭和時代 厚木市郷土資料館
234 須藤式精穀機* 製作年代不詳 農業・食品産業技術総
合研究機構
235 須藤式精米機説明書 年代不詳 個人
236 御註文のしをり 年代不詳 個人
237 太子講掛軸 1981(昭和56)年 七沢石材組合
238 白丁場石の丁場風景(『本邦産建築石材』所収)
1921(大正10)年 神奈川県立歴史博物館
239 仮約定証(「白丁場石山」の共同経営に付)
1888(明治21)年12月12日 神奈川県立公文書館
240 趣意金領収権利移転之証 1891(明治24)年12月31日
神奈川県立公文書館
241 相陽白石合資会社設立契約書 1898(明治31)年4月
個人
242 相陽白石合資会社決算報告書 1899(明治32)年～
1905(明治38)年 個人
243 ジョサイア・コンドル発岩崎彌之助宛書簡*
1903(明治36)年7月28日 静嘉堂文庫

- 244 日本銀行新築場沿革図* 明治時代 日本銀行金融研究所アーカイブ
- 245 建築事項第七回報告草案* 1894(明治27)年2月 日本銀行金融研究所アーカイブ
- 246 日本銀行落成之図* 1896(明治29)年 日本銀行金融研究所貨幣博物館
- 247 日本銀行本店増築棟(1・2・3号館)* 昭和戦前期 日本銀行金融研究所アーカイブ
- 248 横浜正金銀行建築要覧 1904(明治37)年 神奈川県立歴史博物館
- 249 横浜正金銀行本店竣工写真 1904(明治37)年 神奈川県立歴史博物館
- 250 妻木頼黄像 1916(大正5)年頃 神奈川県立歴史博物館
- 251 東宮御所御造営誌* 明治時代 宮内庁宮内公文書館
- 252 東宮御所三角中坪での白丁場石使用を示す書類 1900(明治33)年 宮内庁宮内公文書館
- 253 白丁場石切り出しの実態を示す書類* 1902(明治35)年 宮内庁宮内公文書館
- 254 東宮御所角中坪での白丁場石使用を示す書類 1902(明治35)年 宮内庁宮内公文書館
- 255 東宮御所三角中坪外壁仕上げを色分けした図面 明治時代 宮内庁宮内公文書館
- 256 東宮御所角中坪外壁仕上げを色分けした図面 明治時代 宮内庁宮内公文書館
- 257 帝国議会議事堂建築の概要 1936(昭和11)年11月 神奈川県立歴史博物館
- 258 旧石器時代住居状遺構出土資料(相模原市 田名向原遺跡) 相模原市教育委員会
黒曜石製石器 旧石器時代
円礫 旧石器時代
- 259 礫群での料理状況復元模型 相模原市教育委員会
- 260 イノシシ乳歯(綾瀬市 吉岡遺跡群)* 神奈川県教育委員会
- 261 イノシシ剥製 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 262 イノシシ頭骨標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 263 縄文時代草創期の資料セット(綾瀬市 寺尾遺跡) 神奈川県教育委員会
押圧文土器 縄文時代草創期
槍先形尖頭器 縄文時代草創期
片刃石斧 縄文時代草創期
打製石斧 縄文時代草創期
局部磨製石斧 縄文時代草創期
削器 縄文時代草創期
搔器 縄文時代草創期
- 264 縄文時代早期の石器群(横浜市 紅取遺跡群) 神奈川県立歴史博物館
スタンプ形石器 縄文時代早期
礫斧 縄文時代早期
- 265 石皿(横浜市 荒立貝塚) 縄文時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 266 磨石(横浜市 小仙塚貝塚) 縄文時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 267 紐掛け痕のある礫(三浦市 間口A洞窟遺跡) 弥生時代中期~後期 神奈川県立歴史博物館
- 268 砥石 昭和時代 神奈川県立歴史博物館
- 269 火打石 製作年代不詳 川崎市市民ミュージアム
- 270 ヒデバチ 製作年代不詳 神奈川県立歴史博物館
- 271 ヒデバチのあかりで夜なべ仕事をする* 1970年代撮影 個人
- 272 挽茶用臼 製作年代不詳 神奈川県立歴史博物館
- 273 チンカマウス 製作年代不詳 神奈川県立歴史博物館
- 274 硯 製作年代不詳 神奈川県立歴史博物館
- 275 流し 製作年代不詳 神奈川県立歴史博物館
- 276 漬物石 昭和時代 神奈川県立歴史博物館
- 277 民家の礎石* 製作年代不詳 神奈川県立歴史博物館
- 278 摺臼 製作年代不詳 神奈川県立歴史博物館
- 279 ヤイシ 昭和時代 平塚市博物館
- 280 七輪(久野石製) 大正~昭和時代 神奈川県立生命の星・地球の博物館
- 281 石段(久野石製)* 製作年代不詳 個人
- 282 風呂の焚口(田代石製) 大正~昭和時代 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 283 オベッカ(かまど石〔二宮石〕製) 1945(昭和20)年頃 二宮町教育委員会
- 284 稲荷の石祠(かまど石〔二宮石〕製)* 江戸時代 <二宮町二宮>
- 285 石垣(大磯石製)* 昭和時代 <大磯町大磯>
- 286 養蚕炉(塩田石製) 大正~昭和時代 相模原市立博物館
- 287 石段(鎌倉石製)* 文政5(1822)年(2015年撮影) <稱名寺>
- 288 鎌倉石丁場作業風景 1976年撮影 神奈川県立歴史博物館
- 289 石垣(池子石製)* 明治時代末~大正時代 <逗子市池子>
- 290 夫婦橋の護岸(鷹取石製)* 昭和時代 <横須賀市追浜>
- 291 玦状耳飾(海老名市 上浜田遺跡) 縄文時代早期 神奈川県教育委員会
- 292 垂飾(横浜市 仏向遺跡) 縄文時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 293 垂飾(横須賀市 江戸坂貝塚) 縄文時代中期 神奈川県立歴史博物館
- 294 垂飾(横浜市 仏向遺跡) 縄文時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 295 垂飾(横浜市 石原遺跡) 縄文時代中期 横浜市歴史博物館
- 296 垂飾 未完成品(平塚市 原口遺跡) 縄文時代 神奈川県教育委員会

- 297 勾玉(横須賀市 ひる畑遺跡) 弥生時代 神奈川県立歴史博物館
- 298 勾玉 未成品(茅ヶ崎市 下寺尾西方A遺跡Y9号竪穴住居) 弥生時代中期後葉 神奈川県教育委員会
- 299 子持勾玉(湯河原町 竹の花遺跡) 古墳時代中期 神奈川県立歴史博物館
- 300 勾玉を装着した人物埴輪(横須賀市 蓼原古墳) 古墳時代後期 神奈川県立歴史博物館
- 301 勾玉・管玉(横浜市 綱崎山遺跡BY26号住居址) 弥生時代中期後葉 横浜市歴史博物館
- 302 管玉(三浦市 大浦山洞窟遺跡) 古墳時代前期 神奈川県立歴史博物館
- 303 岩偶(横浜市 大熊仲町遺跡) 縄文時代中期 横浜市歴史博物館
- 304 土偶(横浜市 大熊仲町遺跡J51号住居址) 縄文時代中期 横浜市歴史博物館
- 305 石棒(伊勢原市 下北原遺跡) 縄文時代後期 神奈川県教育委員会
- 306 相州大山絵図(佐藤坊版) 江戸時代 神奈川県立金沢文庫
- 307 眼病平癒祈願石 川崎市市民ミュージアム

- 308 いぼとり石* 2015年撮影 川崎市市民ミュージアム
- 309 大山道道標(複製) 文化10(1813)年 平塚市博物館
- 310 地蔵 江戸時代 平塚市博物館
- 311 道祖神 寛政5(1793)年 相模原市立博物館
- 312 道祖神(ゴロ石)(複製) 製作年代不詳 川崎市市民ミュージアム
- 313 馬頭観音 天保10(1839)年 相模原市立博物館
- 314 観音道標 宝暦9(1759)年 神奈川県立歴史博物館
- 315 持ち上げ観音* 右 安永5(1776)年 左 昭和49(1974)年 <相模原市緑区大島>
- 316 力石 江戸時代 個人
- 317 子産石群* 2015年撮影 <横須賀市秋谷>
- 318 子産石 神奈川県立歴史博物館
- 319 お食い初めの石* 2015年撮影 個人
- 320 一番息子に使用するゴロ石 製作年代不詳 個人
- 321 一番息子のゴロ石を地面に打ち付けているところ* 2015年撮影 <大磯町大磯>
- 322 俵石 文政11(826)年 厚木市郷土資料館
- 323 ばんばあ石 じんじい石 代理石* 2015年撮影 <相模原市中央区田名>

(3) コレクション展

1階フリーゾーンにあるコレクション展示室において、常設展示では紹介しきれない館のコレクションの一部を、年1回展示している。観覧料無料。

「コレクション展 地図と写真でみる馬車道」

会 期：平成27年7月11日(土)～8月30日(日)

展示資料件数：93件

担 当：学芸部長 寺寄 弘康、非常勤学芸員 武田 周一郎

概 要： 横浜正金銀行本店本館創建111周年と、馬車道まつり開催30回を記念して、馬車道150年の歩みを振り返る本展を開催した。1904(明治37)年7月に竣工した横浜正金銀行本店本館は、関東大震災、横浜大空襲を経て、1967(昭和42)年に当館の前身である神奈川県立博物館となり、現在に至るまで実に111年の間、地域のシンボリック的存在として馬車道とともにその歴史を歩んできた。一方、馬車道まつりは馬車道モール整備の第一期工事完成を記念して、1976(昭和51)年11月に初めて開催された。そして2004(平成16)年のみなどみらい線開通を契機として赤レンガの歩道やガス灯が整備され、馬車道は現在の姿になった。この間、回を重ねてきた馬車道まつりの様子や、初公開の横浜東宝会館映画関係資料等も含め、主に地図や写真から馬車道のうつりかわりを紹介した。

コレクション展関連行事

学芸員による展示解説

| | | | |
|--------------|-------------|------------------|---------|
| 第1回：7月11日(土) | 13:30～14:00 | 解説：学芸部長 寺寄 弘康 | 参加者：21名 |
| 第2回：8月8日(土) | 13:30～14:00 | 解説：非常勤学芸員 武田 周一郎 | 参加者：25名 |
| 第3回：8月22日(土) | 13:30～14:00 | 解説：非常勤学芸員 武田 周一郎 | 参加者：25名 |

出品目録

凡例 No. 資料名 作成 年代 点数 寸法(cm) 所蔵

第1章 馬車道のシンボル 横浜正金銀行

1-1 「大港横浜之図」 橋本玉蘭齋貞秀 1868年頃 1点
66.7×115.0 当館

1-2 「横浜明細之全図」 橋本玉蘭齋貞秀 1870年10月 1点
50.0×106.0 当館

- 1-3 「横浜弔覧之真景」 橋本玉蘭齋貞秀 1871年 1点
68.5×212.0 当館
- 1-4 「新刻横浜区案内全図」 久米原雪谷 1882年5月24日
1点 36.2×48.5 当館
- 1-5 横浜正金銀行(「横浜諸会社諸商店之図」) 1887年頃 1
点 17.5×28.9 当館
- 1-6 『横浜地名案内』 森田友昇 1875年 1点 23.0×15.5
当館
- 1-7 『横浜新誌』 川井景一 1877年 1点 22.5×15.2
当館
- 1-8 「改正銅版横浜地図」 尾崎富五郎 1888年3月19日
1点 37.1×50.5 当館
- 1-9 「改良横浜全図」 尾崎富五郎 1892年7月23日 1
点 35.8×50.6 当館
- 1-10 「横浜全図」 尾崎富五郎 1892年3月 1点
48.0×70.0 当館
- 1-11 竣工当初の横浜正金銀行本店 1904年頃 1点
9 4.5×104.5 当館
- 1-12 「絵葉書 横浜馬車道通り」 1906年頃 1点 パネル
清水平安堂薬局
- 1-13 川崎銀行横浜支店建設中の馬車道 1922年頃 1点
パネル 清水平安堂薬局
- 1-14 馬車道を進む羽衣町の山車 大正初期 1点 パネル
清水平安堂薬局
- 1-15 ユニフォーム姿の清水平安堂従業員 1912年頃 1点
パネル 清水平安堂薬局
- 1-16 「絵葉書 横浜馬車道通」 1909年頃 1点 9.1×14.0
当館
- 1-17 「絵葉書 横浜正金銀行」 1点 14.0×9.0 当館
- 1-18 震災前の横浜市街(「関東大震災アルバム」) 明治末
~大正初期 2点 26.8×32.7 当館
- 1-19 「市区改正横浜実測新図」 弘文堂 菅村孝三郎 1909
年5月16日 1点 53.8×74.2 当館
- 1-20 震災前の馬車道復元図(『横浜開港の舞台 関内街並復
元絵図』) 関内街並復元絵図刊行会 1997年10月1
日 1点 0.5×28.5 個人
- 1-21 震災前後の横浜市街(「関東大震災アルバム」) 1923
年頃 2点 26.8×32.7 当館
- 1-22 「震災絵葉書 横浜震災実況 横浜正金銀行付近の惨
状」 1923年 1点 パネル 当館
- 1-23 生糸検査所屋上からみた復興後の横浜市街(『三周年震
災復興状況写真帖』) 土木部工務課 1926年 1点
15.5×29.5 当館
- 1-24 復興後の吉田橋付近(『Yokohama Reconstructed 1929』)
横浜市 1929年4月24日 1点 28.5×37.5 当館
- 1-25 「絵葉書 大横浜名所 市街全景」 有隣堂 1936年頃
1点 8.8×27.9 当館
- 1-26 震災復旧後の横浜正金銀行本店 昭和戦前期 1点
62.5×120.0 当館

- 1-27 横浜市街図(「復興完成番地入大横浜市交通地図」) 東
京日日新聞社 1929年9月10日 1点 4.2×78.2 当館
- 1-28 「横浜電車自動車交通図」 日本地理附図研究所 1930
年 1点 30.6×45.8 当館
- 1-29 『横浜市商店街に関する調査』 横浜商工会議所 1937
年1月25日 1点 22.3×15.0 個人
- 1-30 関東大震災50周年犠牲者慰霊祭 神奈川県立博物館
1973年9月1日 1点 パネル 当館
- 1-31 「ファッションショープログラム」 横浜宝塚劇場
1936年 1点 19.4×13.3 個人
- 1-32 「横浜宝塚劇場ニュース」 横浜宝塚劇場 1936~1940
年 12点 19.4×13.3 個人
- 1-33 「横浜宝塚劇場アルバム」 横浜宝塚劇場 1935~1939
年 1点 27.0×36.2 当館
- 1-34 「横浜宝塚劇場アルバム」 横浜宝塚劇場 1940年頃 1
点 28.0×36.6 当館

第2章 馬車道まつりはじまる

- 2-1 空襲で焼け野原になった馬車道 1945年 1点 パネ
ル アメリカ国立公文書館
- 2-2 馬車道口ゴ原板 1960年3月 1点 30.0×30.5 馬
車道商店街協同組合
- 2-3 県立博物館実現についての陳情書(「県立博物館設立関
係文書綴」) 関内商店街協同組合理事長 六川英一
1962年 1点 27.0×19.5 当館
- 2-4 馬車道復元計画を報じる新聞記事(『読売新聞京浜PR
版』) 読売新聞社 1963年2月16日 1点 37.7×27.0
当館
- 2-5 街灯アーチ完成記念パレード 関内商店街協同組合
1964年5月18日 2点 パネル 馬車道商店街協同組
合
- 2-6 信濃屋馬車道ビル新築時の馬車道 株式会社信濃屋馬
車道店 1966年 2点 パネル 株式会社信濃屋馬車道
店
- 2-7 屋上ドーム復元工事中の馬車道 関内商店街協同組合
1966年 1点 パネル 馬車道商店街協同組合
- 2-8 博物館準備事務局タオル 博物館準備事務局 1964
年頃 3点 32.0×80.0 当館
- 2-9 県立博物館初代門標 1966年11月28日 1点
120.0×24.5 当館
- 2-10 県立博物館二代門標 1981年6月 1点 111.5×18.2
当館
- 2-11 開館式で挨拶する内山県知事(「開館記念アルバム」)
株式会社山英 1967年3月20日 1点 33.2×30.5 当
館
- 2-12 県立博物館開館を祝う横断幕 神奈川県立博物館
1967年3月20日 1点 31.0×23.0 当館
- 2-13 開館時の県立博物館パンフレット 神奈川県立博物館
1967年 1点 26.0×18.7 当館

- 2-14 県立博物館撮影許可腕章 1967年頃 1点 17.5×9.5 当館
- 2-15 開館時の県立博物館常設展示室 神奈川県立博物館 1967年3月 2点 パネル 当館
- 2-16 馬車道玄関の開放について(「馬車道玄関開所関係綴」) 神奈川県立博物館長 1974年5月15日 1点 27.3×19.8 当館
- 2-17 馬車道玄関開所式での挨拶文 神奈川県教育長 八木敏行 1974年7月27日 1点 19.5×192.0 当館
- 2-18 馬車道玄関開所式当日の県立博物館入館券 神奈川県立博物館 1974年7月27日 2点 6.0×11.7 当館
- 2-19 馬車道玄関開所式 神奈川県立博物館 1974年7月27日 2点 パネル 当館
- 2-20 県立博物館入館券 神奈川県立博物館 1993年3月31日 2点 5.0×15.0 当館
- 2-21 休館を知らせる県立博物館招待券 神奈川県立博物館 1993年 2点 6.5×19.0 当館
- 2-22 「モデル商店街建設に関して馬車道を語る会」議事録 1973年9月12日 1点 25.5×18.0 馬車道商店街協同組合
- 2-23 『商店街ミニ再開発マニュアル 横浜方式の商店街づくり』 横浜市経済局 1977年6月3日 1点 25.5×18.0 個人
- 2-24 馬車道再開発主旨 馬車道商店街協同組合 1976年10月 1点 21.5×30.6 馬車道商店街協同組合
- 2-25 第1回馬車道まつりでの飛鳥田市長の祝辞 横浜市長 飛鳥田一雄 1976年11月 1点 15.5×20.8 馬車道商店街協同組合
- 2-26 第1回馬車道まつり催事プログラム 馬車道商店街協同組合 1976年11月 1点 17.5×22.0 馬車道商店街協同組合
- 2-27 第1回馬車道まつりのオープニングセレモニー 神奈川県立博物館 1976年11月3日 2点 パネル 当館
- 2-28 第1回馬車道まつりの様子 馬車道商店街協同組合 1976年11月3日 2点 パネル 馬車道商店街協同組合
- 2-29 第1回馬車道まつりポスター 馬車道商店街協同組合 1976年11月 1点 72.6×51.3 馬車道商店街協同組合
- 2-30 特別展「横浜浮世絵と長崎版画」ポスター 神奈川県立博物館 1976年11月 1点 72.3×51.0 馬車道商店街協同組合
- 2-31 有隣堂文化講演会・「ヘボン展」ポスター 有隣堂 1976年11月 1点 36.6×102.8 馬車道商店街協同組合
- 2-32 第1回馬車道まつり横浜東宝会館招待券 横浜東宝会館・馬車道商店街協同組合 1976年11月 1点 5.8×18 当館
- 2-33 横浜東宝会館開館20周年記念行事一覧表 横浜東宝会館 1976年11月 1点 21.1×14.8 当館

- 2-34 横浜東宝会館開館20周年記念上映番組予定表 横浜東宝会館 1976年10~12月 1点 26.5×18.7 当館
- 2-35 第1回馬車道まつりでの横浜東宝会館 横浜東宝会館 1976年11月 9点 8.9×12.7 他 当館
- 2-36 吉田橋スクエアのオープンを報じる新聞記事(神奈川県新聞) 神奈川県新聞社 1978年2月21日 1点 7.5×27.5 当館

第3章 映画のデパート 横浜東宝会館

- 3-1 竣工間近の横浜東宝会館 神奈川県新聞社 1956年3月 1点 パネル 神奈川県新聞社
- 3-2 横浜宝塚劇場 関内商店街協同組合 1966年頃 1点 パネル 馬車道商店街協同組合
- 3-3 横浜東宝会館開館10周年記念特別謝恩セールポスター 関内商店街協同組合 1966年 1点 42.0×59.3 当館
- 3-4 「横浜東宝会館ニュース 開館10周年記念特集号」 東宝関東興行株式会社 1966年 1点 41.6×27.2 当館
- 3-5 横浜東宝会館開館10周年沈丁花まつりの様子 横浜東宝会館 1966年10月 1点 30.0×23.0 当館
- 3-6 横浜東宝会館開館15周年記念バナー 横浜東宝会館 1971年 1点 152.0×45.5 当館
- 3-7 横浜東宝会館開館15周年記念ポスター 横浜東宝会館 1971年8月 1点 72.5×51.5 当館
- 3-8 横浜東宝会館自衛消防隊腕章 横浜東宝会館 1点 10.0×17.0 当館
- 3-9 子どもたちで賑わう横浜東宝会館 横浜東宝会館 1983年3月 1点 36.5×28.0 当館
- 3-10 改装後の東宝シネマ1と東宝シネマ2(「改装工事写真集」) 横浜東宝会館 1985年12月 1点 33.5×32.0 当館
- 3-11 ポスタースタンド 1点 高131.5 当館
- 3-12 映画「かあちゃん」絵看板 2001年 2点 103.0×138.0、103.0×175.0" 当館
- 3-13 横浜スカラ座案内スタンド 1点 高129.0 当館
- 3-14 映画「ジュラシックパーク」ポスター 2001年
- 3-15 映画「猿の惑星」立看板 2001年 1点 186.0×90.0 当館
- 3-16 映画「ジュラシックパーク」絵看板 2001年 2点 103.0×138.0、103.0×175.0" 当館
- 3-17 映画「千と千尋の神隠し」絵看板 2001年 2点 103.0×175.0、103.0×175.0" 当館
- 3-18 東宝入口案内板 1点 25.0×90.0 当館
- 3-19 東宝シネマ2案内板 1点 28.0×120.0 当館
- 3-20 近日ロードショー案内板 1点 9.0×70.0 当館
- 3-21 近日ロードショー案内板 1点 16.5×90.5 当館
- 3-22 座席案内板 1点 20.0×60.0 当館
- 3-23 東宝シネマ1の座席 1点 高85.0 幅151.0 当館

(4) その他の展示

ア 特別陳列：「仏のすがた 祈りのかたち 県博の仏教美術」

会 期：平成27年7月25日(土)～8月23日(日)

会 場：特別展示室

主 催：神奈川県立歴史博物館

後 援：神奈川県新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)

展示資料件数：68件

入 場 者 数：4,741人

担 当：学芸員 小井川 理・神野 祐太

概 要： かながわの仏教美術の展開においては、東国という風土の中で、京都や奈良などの中央の作風からの影響を受け、また宋や元といった大陸の文化を取り入れる中で、特色ある造形が育まれてきた。当館は、県立博物館時代より神奈川県域を中心として東国の仏教美術の調査研究、展示を行ってきた。地域に遺る作例を丹念に調査し、展示を通して東国の仏教美術の諸相を紹介する活動の中で、さまざまな作品の収集にも取り組んでいる。本展では、県立の博物館として培ってきた館蔵・保管のコレクションから、仏を慕い祈る心が現れた仏教美術の魅力を紹介した。

特別陳列関連行事

記念講演会 「県博と仏教美術」(無料、ただし常設展観覧券が必要)

(ア)彫刻編「仏像を考える」

日時：7月26日(日)14:00～16:00

講師：三井記念美術館館長・成城大学名誉教授 清水眞澄 氏

応募：61名

受講：49名

(イ)絵画編「東国の風土と仏画」

日時：8月9日(日)14:00～16:00

講師：成城大学教授 相澤正彦 氏

応募：63名

受講：52名

学芸員による展示解説

第1回：7月25日(土) 13:30～14:00 解説：学芸員 小井川 理 (参加者：23名)

第2回：8月1日(土) 13:30～14:00 解説：学芸員 小井川 理 (参加者：22名)

第3回：8月15日(土) 13:30～14:00 解説：学芸員 神野 祐太 (参加者：37名)

出品目録

凡例 No. 指定 名称 作者 員数 品質形状 時代 所蔵 展示期間

指定記号： =重要美術品、 =県指定文化財、 =市指定文化財

展示期間：前記・後期で展示替えした資料

| 彫 刻 | | No. | 指定 | 名称 | 作者 | 員数 | 品質形状 | 時代 | 所蔵 | 展示期間 |
|-----|---------|--------|----|---------------|--------------|----|------|----|----|------|
| 1 | 僧形神坐像 | 1 軀 | | 木造 平安～鎌倉時代 | 神奈川県立歴史博物館 | | | | | |
| 2 | 阿弥陀如来坐像 | 1 軀 | | 木造 平安時代 | 神奈川県立歴史博物館 | | | | | |
| 3 | 阿弥陀如来坐像 | 1 軀 | | 木造 鎌倉時代 | 神奈川県立歴史博物館 | | | | | |
| 4 | 阿弥陀如来立像 | 1 軀 | | 木造 鎌倉時代 | 神奈川県立歴史博物館 | | | | | |
| 5 | 薬師如来坐像 | 尊栄 1 軀 | | 木造 承久3年(1221) | 保木薬師堂 | | | | | |
| 6 | 大日如来坐像 | 1 軀 | | 木造 鎌倉時代 | 寶生寺 | | | | | |
| 7 | 獅子狛犬 | 一對 | | 木造 鎌倉時代 | 神奈川県立歴史博物館 | | | | | |
| 8 | 観音菩薩立像 | 1 軀 | | 銅造 鎌倉時代 | 神奈川県立歴史博物館 | | | | | |
| 9 | 釈迦如来坐像 | 1 軀 | | 木造 南北朝時代 | 神奈川県立歴史博物館彫刻 | | | | | |

- 10 地藏菩薩坐像 下野 1軀 木造 延文3年(1358) 神奈川県立歴史博物館
- 11 不動明王立像 1軀 木造 江戸時代 神奈川県立歴史博物館
- 12 菩薩半跏(遊戲坐)像 附像内納入品 1軀 木造 南宋時代 神奈川県立歴史博物館

絵画

- 1 石清水八幡宮曼荼羅 1幅 絹本着色 鎌倉～南北朝時代 神奈川県立歴史博物館 前期
- 2 熊野権現影向図 1幅 絹本着色 室町時代 正念寺 後期
- 3 束帯天神像 1幅 絹本着色 室町時代 菅原神社 後期
- 4 両界曼荼羅 2幅 絹本着色 南北朝時代 寶生寺
- 5 尊勝曼荼羅 1幅 絹本着色 室町時代 寶生寺
- 6 法華曼荼羅 1幅 絹本着色 鎌倉～南北朝時代 寶生寺
- 7 七星如意輪曼荼羅 1幅 絹本着色 鎌倉時代 弘明寺
- 8 大勝金剛像 1幅 絹本着色 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 9 五大明王像 1幅 絹本着色 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 10 不動明王図像 1幅 紙本墨画 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 11 五筆五字 1幅 絹本着色 鎌倉時代 寶生寺
- 12 釈迦十六善神像 1幅 絹本着色 鎌倉時代 弘明寺
- 13 千手観音二十八部衆像 1幅 絹本着色 鎌倉時代 弘明寺
- 14 弁才天十五童子像 1幅 絹本着色 室町時代 神奈川県立歴史博物館
- 15 釈迦地藏来迎図 1幅 絹本着色 南北朝時代 寶生寺
- 16 阿弥陀三尊来迎図 1幅 絹本着色 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 17 阿弥陀二十五菩薩来迎図 1幅 絹本着色 南北朝時代 神奈川県立歴史博物館
- 18 刺繍種子阿弥陀三尊図 1幅 絹本刺繍 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 19 刺繍金剛界種子曼荼羅 1幅 絹本刺繍 南北朝時代 神奈川県立歴史博物館
- 20 涅槃図 1幅 絹本着色 南北朝時代 神奈川県立歴史博物館 前期
- 21 涅槃図 1幅 絹本着色 南北朝時代 寶生寺 後期
- 22 十王図 9幅 絹本着色 室町時代 寶生寺
- 23 十六羅漢図 16幅 絹本着色 鎌倉～南北朝時代 神奈川県立歴史博物館
- 24 羅漢図 1幅 絹本着色 室町時代 寶生寺

- 25 夢窓疎石像 1幅 絹本着色 南北朝時代 光明寺
- 26 大智律師像 1幅 絹本着色 室町時代 神奈川県立歴史博物館
- 27 中峰明本像 1幅 絹本着色 室町時代 神奈川県立歴史博物館
- 28 石橋是梁像 1幅 絹本着色 室町時代 神奈川県立歴史博物館
- 29 釈迦三尊像 良全 1幅 絹本着色 南北朝時代 神奈川県立歴史博物館
- 30 布袋図 仲安真康 1幅 紙本墨画 室町時代 神奈川県立歴史博物館 前期
- 31 出山釈迦図 啓孫 1幅 紙本墨画 室町時代 神奈川県立歴史博物館 前期
- 32 達磨図 祥啓派 1幅 紙本墨画淡彩 室町時代 神奈川県立歴史博物館 後期
- 33 不動明王像 周沢 1幅 絹本着色 南北朝時代 個人 後期

書跡

- 1 紺紙金字大般若經 卷三百五十五 1巻 紙本紺地金泥書 平安時代 神奈川県立歴史博物館
- 2 紺紙金字法華經 如来寿量品第十六 1巻 紙本紺地金泥書 平安時代 神奈川県立歴史博物館

工芸

- 1 金銅五鈷杵 1個 銅製鍍金 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 2 金銅輪宝 1個 銅製鍍金 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 3 金銅輪宝 1個 銅製鍍金 鎌倉時代 個人
- 4 金銅羯磨 4個 銅製鍍金 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 5 金銅孔雀文磬 1面 銅製鍍金 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 6 銅造蓮華形磬 1面 銅製 室町時代 神奈川県立歴史博物館
- 7 金銅水瓶 1口 銅製鍍金 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
- 8 金銅華瓶 1口 銅製鍍金 室町時代 神奈川県立歴史博物館
- 9 銅造蓮華形柄香炉 1柄 銅製 鎌倉時代 個人
- 10 金銅華籠 1口 銅製鍍金 応永2年(1395) 神奈川県立歴史博物館(斎藤由蔵コレクション)
- 11 金銅幡 2面 銅製鍍金 文明17年(1485) 延徳4年(1492) 神奈川県立歴史博物館
- 12 朱漆塗端反鉢 1口 木製漆塗 桃山時代 神奈川県立歴史博物館
- 13 朱漆塗足付盥 1口 木製漆塗 桃山時代 神奈川県立歴史博物館

- 14 金銅納経札 1枚 銅製鍍金 永徳4年(1384) 個人
 15 金銅六角経筒 1基 銅製鍍金 桃山時代 神奈川県立歴史博物館
 16 金銅蓮華文経筒 1基 銅製鍍金 桃山時代 個人
 17 銅鏡(経塚出土) 5面 銅製 鎌倉時代 神奈川県立歴史博物館
 18 銅造不動明王懸仏 1面 銅製鍍金 平安時代 神奈川県立歴史博物館

- 19 金銅装笈 1基 木製・金銅板貼 室町時代 神奈川県立歴史博物館
 参考1 堆黒屈輪文香合 1合 木胎彫漆 明時代 神奈川県立歴史博物館
 参考2 朱漆塗経机 1基 木製漆塗 桃山時代 神奈川県立歴史博物館

イ 平成27年度かながわの遺跡展「縄文の海 縄文の森」

会期：平成27年12月19日(土)～平成28年1月30日(土)

主催：神奈川県教育委員会(埋蔵文化財センター)、神奈川県立歴史博物館

後援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、ラジオ日本、FMヨコハマ

展示資料点数：1,005点

入場者数：5,591名

担当：神奈川県教育局生涯学習部 文化遺産課 副主幹 加藤 勝仁

会場：神奈川県立歴史博物館 特別展示室

概要：台地上の縄文時代遺跡では、骨や木などの有機質の遺物は、長い年月に耐えられず、残存することは少ない。しかし、貝塚では獣骨・魚骨や骨角器が、低湿地遺跡では、堅果類や木製品・漆製品がタイムカプセルのように保存されることがある。これらの遺跡から見つかる遺構や遺物から、かながわの縄文人が外洋まで漁りにかけていたこと、マグロやクジラ、アシカまでを獲物としていたこと、漆を用いた容器を作っていたことなど、海や森の幸を利用する高い技術をもっていたことがわかってきた。これらの遺跡から発見された成果を中心に、海や森の自然と深いかかわりをもっていた縄文人の生活の一端を紹介した。

特別展関連行事

記念講演会(無料、ただし常設展観覧券が必要)

・特別講演 第1回

日時：1月9日(土)14:00～16:00

演題：「縄文の資源利用～その多様性と展開～」

講師：明治大学教授 阿部芳郎 氏

応募者：170名

受講者：90名

・特別講演 第2回

日時：1月16日(土)14:00～16:00

演題：「神奈川県の貝塚からみた生業活動」

講師：早稲田大学講師 樋泉岳二 氏

応募者：91名

受講者：75名

・特別講演 第3回

日時：1月23日(土)14:00～16:00

演題：「縄文の森と栽培植物」

講師：山梨県教育委員会 中山誠二 氏

応募者：131名

受講者：95名

小学生体験教室(無料、ただし保護者は常設展観覧券が必要)

日 時 : 1月17日(日)14:00~16:00

演 題 : 「貝を使って縄文時代のアクセサリーを作ろう」

講 師 : 市原市埋蔵文化財調査センター 鶴岡英一 氏

応募者 : 11組 24名

受講者 : 11組 24名

展示解説

解説 : 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部文化遺産課(埋蔵文化財センター)副主幹 加藤 勝仁

第1回 : 12月23日(水・祝) 13:30~14:30 参加者 17名

第2回 : 1月10日(日) 13:30~14:30 参加者 35名

第3回 : 1月24日(日) 13:30~14:30 参加者 50名

出品目録

凡例、資料名称、出土遺跡名、所蔵、時期

| 貝塚と水辺の遺跡 | |
|---|---|
| 1 貝層剥ぎ取り断面 横浜市磯子区杉田貝塚 神奈川県立生命の星・地球博物館 縄文時代後期 | 42~46 コシダカガンガラ 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期 |
| 2 貝層剥ぎ取り断面 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期 | 47・48 チョウセンハマグリ 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期 |
| 3 真珠 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期 | 49~51 ダンベイキサゴ 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期 |
| 4・5 糞石 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期? | 52~54 パイ 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期 |
| 6 新生児骨の納められた土器 横浜市南区稲荷山貝塚神奈川県教育委員会 縄文時代後期 | 55 ダンベイキサゴ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 7~11 埋葬されたイヌ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期 | 56 サルボウ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 12 アカニシを入れた土器 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期 | 57 チョウセンハマグリ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 13 イルカ下顎骨 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期 | 58・59 パイ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 14 黒曜石の剥片 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期 | 60 マガキ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 15 渡り木 横浜市都筑区古梅谷遺跡 横浜市歴史博物館 縄文時代後期 | 61 ハイガイ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 16 杭 横浜市都筑区古梅谷遺跡 横浜市歴史博物館 縄文時代後期 | 62 ナガニシ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 17~21 トチノミ 川崎市多摩区宿河原縄文時代低地遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代後期 | 63 イタバガキ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 22~26 クルミ 川崎市多摩区宿河原縄文時代低地遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代後期 | 64 トコブシ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 海の恵みと生業 | |
| 27~29 マガキ 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期 | 65 サザエ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 30~34 イシダタミ 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期 | 66~81 ヤマトシジミ 茅ヶ崎市西方貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代前期 |
| 35~37 イソバショウガイ 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期 | 82 ダンベイキサゴ 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期 |
| 38~41 スガイ 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期 | 83 ヤマトシジミ 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期 |
| | 84 ツメタガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期 |
| | 85・86 イボキサゴ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育 |

- 委員会 縄文時代後期
- 87 サルボウ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 88 アサリ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 89 シオフキ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 90 カガミガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 91 ハマグリ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 92 マガキ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 93 ウネナシトマヤガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 94 ハイガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 95 オキシジミ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 96 オオノガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 97 ムラサキガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 98 オオヘビガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 99 イシダタミ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 100 スガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 101 コシダカガンガラ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 102 イボニシ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 103 アカニシ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 104 バカガイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 105 パイ 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 106 スズキ椎骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 107 ボラ椎骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 108 プリ椎骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 109 マグロ椎骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期
- 110~118 クロダイ前上顎骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 119~126 コブダイ前上顎骨・下咽頭骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 127~140 マダイ 前上顎骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 141 ネズミザメ椎骨 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 142 カツオ椎骨 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 143・144 マダイ前頭骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 145~153 イシナギ前上顎骨・椎骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 154・155 イシダイ前上顎骨・歯骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 156 アオウミガメ頭骨 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 157 ウミガメ科指骨 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 158・159 大型ハクジラ類椎骨 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 160・161 中型ハクジラ類椎骨 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 162・163 小型ハクジラ類椎骨 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 164~168 アシカ椎骨等 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 169 クジラ椎骨 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 170 ヒゲクジラ下顎骨 横浜市中区元町貝塚 神奈川県立生命の星・地球博物館 縄文時代中期
- 171~173 アシカ橈骨・肩甲骨・大腿骨 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 174 夏島式土器 横須賀市平坂東貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 175 釣針 横須賀市平坂東貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 176・177 ヘラ 横須賀市茅山貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 178 刺突具 横須賀市茅山貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 179 貝製品 横須賀市茅山貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 180~199 釣針 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 200 組合式釣針 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 201~227 刺突具 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 228~231 イノシシ牙製刺突具 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 232~254 ペン先形骨角器 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然

- ・人文博物館 縄文時代早期
- 255 鏃 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 256～258 ヘラ 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 259～264 針 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 265・266 敲打具 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 267 骨角器 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 268 刺突具 横須賀市茅山貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 269・270 ヘラ 横須賀市吉井貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 271～273 刺突具 横須賀市吉井貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 274～276 ペン先形骨角器 横須賀市吉井貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 277・278 釣針 横須賀市吉井貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 279 敲打具 横須賀市吉井貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 280 刺突具 横浜市都筑区北川貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代前期
- 281 銚頭 横浜市都筑区南堀貝塚 横浜市歴史博物館 縄文時代前期
- 282～288 釣針 平塚市万田貝殻貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 289～292 刺突具 平塚市万田貝殻貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 293・294 牙斧 平塚市万田貝殻貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 295 鹿角製骨角器素材 平塚市万田貝殻貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 296 クジラ椎骨製品 平塚市万田貝殻貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 297～328 釣針 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 329 刺突具 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 330～334 ヤス状刺突具 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 335～342 ヘラ状刺突具 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 343・344 銚頭？ 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 345 ヘラ 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 346～349 錐 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 350・351 石匙 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 352～354 軽石製浮子 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 355・356 石錘 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 357・358 土器片錘 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 359～361 釣針 横浜市港北区菊名宮谷貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代前期初頭
- 362・363 エイ類尾棘製鏃 横浜市港北区菊名宮谷貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代前期初頭
- 364 針 横浜市港北区菊名宮谷貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代前期初頭
- 365～368 釣針 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 369～383 ヤス状刺突具 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 384～388 ヘラ状刺突具 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 389・390 錐 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 391～394 釣針 横須賀市江戸坂貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期
- 395～402 刺突具 横須賀市江戸坂貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期
- 403 釣針 横須賀市江戸坂貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代中期
- 404 刺突具 横須賀市江戸坂貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代中期
- 405～407 刺突具 横浜市神奈川区三ツ沢貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 408 刺突具 横浜市保土ヶ谷区仏向貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 409～412 石錘 川崎市多摩区宿河原縄文時代低地遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代後期
- 413～416 土錘 川崎市多摩区下原遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代晩期？
- 417～419 製塩土器 川崎市多摩区下原遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代晩期
- 420・421 大型石錘(碇) 横須賀市伝福寺裏遺跡 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代前期末～中期前半
- 422・423 釣針 横須賀市伝福寺裏遺跡 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代前期末～中期前半
- 424 銚頭 横須賀市伝福寺裏遺跡 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代前期末～中期前半
- 425～428 ヤス状刺突具 横須賀市伝福寺裏遺跡 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代前期末～中期前半

429~434 石錘 平塚市真田・北金目遺跡群15E区 平塚市教育委員会 縄文時代中・後期?
435~438 釣針 藤沢市遠藤貝塚 藤沢市教育委員会 縄文時代後期
439・440 釣針 藤沢市西富貝塚 藤沢市教育委員会 縄文時代後期
441 銚頭 茅ヶ崎市堤貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代後期
442 角製品 茅ヶ崎市堤貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代後期
443~451 釣針 茅ヶ崎市堤貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代後期
452~454 鹿角製品 茅ヶ崎市堤貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代後期
455・456 加工痕のある鹿角 茅ヶ崎市堤貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代後期
457~459 釣針 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
460・461 銚頭 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
462~465 有尾刺突具 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
466 逆刺付刺突具 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
467~470 刺突具 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
471 鏃 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
472・473 錐 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
474 ヘラ 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
475 クジラ肋骨製ヘラ状刺突具 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
476 鹿角製掘具 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
477・478 釣針 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
479 組合式刺突具 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
480・481 逆刺付刺突具 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
482~485 刺突具 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
486 鏃 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
487 針 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
488~489 鹿角加工品 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
490 逆刺付刺突具 横須賀市榎戸貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
491・492 刺突具 横須賀市榎戸貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
493 刺突具 横浜市鶴見区小仙塚貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期

494 海獣骨製斧? 横浜市神奈川区三ツ沢貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
495 銚頭 横浜市神奈川区三ツ沢貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
496 逆刺付刺突具 横浜市神奈川区三ツ沢貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
497~502 釣針 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
503~507 銚頭 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
508 組合式刺突具 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
509~521 鏃 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
522・523 エイ類尾棘製鏃 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
524 針 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
525 骨錘 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
526~529 貝刃 稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
530~533 石錘 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
534~537 土器片錘 横浜市南区稻荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
538 加工痕のある鹿角 川崎市多摩区下原遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代晩期
539~543 骨角製品 川崎市多摩区下原遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代晩期?
544~548 釣針未成品 横須賀市伝福寺裏遺跡 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代前期末~中期前半
549 加工痕のある鹿角 横須賀市伝福寺裏遺跡 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代前期末~中期前半
550 釣針未成品 横須賀市鴨居小学校内貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代縄文時代早期~前期
551 鹿角加工品 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
552~558 釣針未成品 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
559 釣針未成品 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
560 釣針素材 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
561 骨加工品 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
562~565 鹿角加工品 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期

森の恵みと生業

566 骨鏃 川崎市多摩区下原遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代晩期

- 567~576 石鏃 川崎市多摩区下原遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代晩期
- 577~580 骨角鏃 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 581・582 骨角鏃 平塚市万田貝殻貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 583 弭形角製品 藤沢市遠藤貝塚 藤沢市教育委員会 縄文時代後期
- 584 小型弓 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 585 局部磨製尖頭器 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 586・587 石鏃 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 588 弭形角製品 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
- 589 弭形角製品 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂一時保管 縄文時代後期？
- 590 骨角鏃 横須賀市江戸坂貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代中期
- 591 弭形角製品 横須賀市榎戸貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 592 骨角鏃 横須賀市吉井貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 593 刺突具 横須賀市吉井貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 594・595 骨角鏃 横須賀市吉井貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
- 596 骨角鏃 横浜市鶴見区小仙塚貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 597 骨角鏃 横浜市神奈川区三ツ沢貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 598 弭形角製品 横浜市磯子区杉田貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 599 弭形角製品 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 600~609 石鏃 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 610 イノシシ頭骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期？
- 611 イノシシ下顎骨 平塚市万田貝殻貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 612・613 イノシシ下顎骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 614・615 シカ下顎骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 616 イノシシ頭骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 617 シカ頭骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 618・619 オオカミ上腕骨・脛骨 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 620・621 オオヤマネコの歯 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
- 622 オオヤマネコ下顎骨 横浜市保土ヶ谷区仏向貝塚 神奈川県立生命の星・地球博物館 縄文時代後期
- 623 イヌ右脛骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 624 ネコ頭骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 625・626 縄文時代のイヌ上腕骨・脛骨 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 627・628 江戸時代のイヌ上腕骨・脛骨 横浜市金沢区上行寺裏遺跡 神奈川県教育委員会 江戸時代
- 629 ツキノワグマ犬歯 平塚市万田貝殻貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
- 630 マガモ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 631~635 カイツブリ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 636 クイナ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 637 フクロウ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 638 カラス類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 639 カラス類 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 640 ウミネコ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 641 サギ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 642 ウ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 643 アビ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 644 ハヤブサ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 645・646 ウミスズメ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 647 オオミズナギドリ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 648 ハイイロミズナギドリ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 649・650 タカ類上腕骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 651・652 ペリカン類下顎骨、尺骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 653 コウノトリ類大腿骨？ 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 654・655 アホウドリ類頭骨・中足骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 656 イヌ頭骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期

- 657 ウサギ下顎骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 658 カワウソ下顎骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 659 タヌキ頭骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 660 タヌキ下顎骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 661 ニホンザル頭骨 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 662 ニホンザル橈骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 663 シカ中足骨製ヘラ状刺突具 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 664 ニホンザル排骨製ヤス状刺突具 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 665 シカ中手骨製ヘラ状刺突具 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 666 ニホンザル排骨製ヤス状刺突具 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 667 イノシシ尺骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 668 シカ中手骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 669 シカ中足骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 670 シカ尺骨 現生標本 神奈川県立生命の星・地球博物館
- 671 刺突具 横浜市保土ヶ谷区仏向貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 672 クルミ形土器 横浜市神奈川区三ツ沢貝塚 横浜市歴史博物館 縄文時代後期
- 673 クルミ形土製品 相模原市南区勝坂遺跡 相模原市立博物館 縄文時代中期
- 674 クルミ形土器 相模原市中央区田名塩田遺跡群 相模原市立博物館 縄文時代中期
- 675 動物形土製品 相模原市緑区川尻中村遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代中期
- 676 「ふくろう」把手 相模原市緑区大地開戸遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代中期
- 677 クルミを模した土鈴? 相模原市緑区原東遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代中期
- 678~682 炭化したクヌギの実(アベマキ?) 横浜市 都筑区小丸遺跡 横浜市歴史博物館 縄文時代後期
- 683~687 炭化したトチノミ 横浜市都筑区小丸遺跡 横浜市歴史博物館 縄文時代後期
- 688~692 炭化したクリ 横浜市都筑区華蔵台遺跡 横浜市歴史博物館 縄文時代後期
- 693~699 キツネノカミソリ類の炭化球根 平塚市上ノ入遺跡 平塚市博物館 縄文時代中期
- 700~709 クルミ 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 710~717 ヒシの実 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 718~737 ミズキの実 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 738 ヒョウタン 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 739~741 トチノミ 相模原市南区勝坂遺跡有鹿谷地点 相模原市立博物館 縄文時代後期
- 742~751 クルミ 相模原市南区勝坂遺跡有鹿谷地点 相模原市立博物館 縄文時代後期
- 752 木葉痕(カシワ)のある土器底部 相模原市緑区橋本遺跡 相模原市立博物館 縄文時代中期
- 753 木葉痕をもつ土器底部 相模原市緑区大地開戸遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代中期
- 754 イネのプラント・オパールを含む土器 川崎市多摩区下原遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代晩期
- 755 小孔が多数ある土器 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 756・757 ツルマメの圧痕のある土器 相模原市南区勝坂遺跡D地点 相模原市立博物館 縄文時代中期
- 758 ダイズの圧痕のある土器 相模原市南区勝坂遺跡D地点 相模原市立博物館 縄文時代中期
- 759 種子圧痕(ムクノキ?)ある土器 相模原市緑区橋本遺跡 相模原市立博物館 縄文時代中期
- 760 ムクノキの実 現生標本 相模原市立博物館
- 761 ドングリの圧痕をもつ土器 相模原市緑区大地開戸遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代中期
- 762・763 尖り棒 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 764~766 弓(弭) 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 767~769 樺巻き弓 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 770 樹皮細工 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 771~775 櫂 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 776 櫂柄頭 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 777~781 小型木製品 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 782 木製容器 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代中期
- 783・784 匙未成品 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代後期
- 785~787 木製容器未成品 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代後期
- 788 石斧柄 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代後期

789~790 石斧柄末成品 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代後期
791~796 石斧 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
797 柄に装着した石斧 パプアニューギニア民俗例 個人 現代
798 漆塗容器(木胎漆器) 川崎市多摩区宿河原縄文時代低地遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代後期
799 漆塗土器 平塚市真田・北金目遺跡群15E区 平塚市教育委員会 縄文時代中期
800 漆調整容器? 平塚市真田・北金目遺跡群15E区 平塚市教育委員会 縄文時代後期
801 漆による補修の痕のある土器 平塚市真田・北金目遺跡群15E区 平塚市教育委員会 縄文時代後期
802・803 漆塗容器(木胎漆器) 平塚市真田・北金目遺跡群15E区 平塚市教育委員会 縄文時代中・後期?
804 漆塗櫛 平塚市真田・北金目遺跡群15E区 平塚市教育委員会 縄文時代中・後期?
805~817 漆塗容器(木胎漆器) 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
818 漆塗容器(木胎漆器) 小田原城二の丸住吉堀 小田原市教育委員会 縄文時代中期
819 漆塗土器 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
820 漆塗土器 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代中期
821 漆塗土器 相模原市緑区大地開戸遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代中期
822 漆調整容器 相模原市緑区大地開戸遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代中期
823・824 編籠 川崎市多摩区宿河原縄文時代低地遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代後期
825・826 編籠 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
827 縄 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
828 縄 三つ編み 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
829・830 漁撈具(セキヤマ) 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
831 セキヤマ復元品 小田原市教育委員会
832 植物繊維束 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
833 炭化した網代の残る器台 相模原市緑区橋本遺跡 相模原市立博物館 縄文時代中期
834~836 網籠 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代中期
837~841 網代 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代中期

842~848 網代痕ある土器底部 伊勢原市下北原遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代後期

アクセサリーに見る縄文の海と森

849~851 髪針 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
852~858 装身具「尖頭楯形角器」 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
859 イノシシ牙製垂飾 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
860 サメ歯製垂飾 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
861~863 骨製垂飾 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
864・865 装身具 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
866 環状骨角製品 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
867 イモガイ製垂飾 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
868~871 二枚貝製貝小玉 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
872~881 ツノガイ製小玉 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早期
882~885 小玉素材(ツノガイ) 横須賀市吉井貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代早前期
886 骨製垂飾 横須賀市吉井貝塚 奈川県立歴史博物館 縄文時代早期
887・888 髪針 横浜市都筑区北川貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代前期
889 垂飾 横浜市都筑区北川貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代前期
890 貝玉 横浜市都筑区北川貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代前期
891 髪針 横浜市都筑区北川貝塚 横浜市歴史博物館 縄文時代前期
892 髪針 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
893・894 垂飾 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
895 耳飾 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
896~900 装身具「万田貝殻坂型へら状角器」 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
901 マクラガイ製小玉 平塚市万田貝殻坂貝塚 平塚市教育委員会 縄文時代前期
902 漆塗櫛 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
903 櫛復元品 小田原市教育委員会

- 904~908 髪針 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会
縄文時代前期
- 909~919 骨角製垂飾 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 920 イヌ牙製垂飾 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 921 ツキノワグマ牙製垂飾 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 922 大型トリ骨製装身具 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 923 クジラ骨製?環状装飾品 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 924 管状垂飾? 小田原市羽根尾貝塚 小田原市教育委員会 縄文時代前期
- 925 髪針 横浜市鶴見区風早台貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代前期
- 926 牙製垂飾 横浜市鶴見区風早台貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代前期
- 927 髪針 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 928 垂飾 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 929 ハイガイ製装身具 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 930 クジラ骨製骨刀 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 931 叉状鹿角製品 横浜市中区元町貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代中期
- 932 貝輪 横須賀市江戸坂貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期
- 933 イノシシ牙製垂飾 横須賀市江戸坂貝塚 横須賀市自然・人文博物館 縄文時代中期
- 934 イタボガキ製貝輪 平塚市五領ヶ台貝塚 平塚市博物館 縄文時代中期
- 935 アマオブネ製垂飾 横浜市神奈川区三ツ沢貝塚 横浜市ふるさと歴史財団 縄文時代後期
- 936 儀仗柄? 川崎市多摩区下原遺跡 川崎市市民ミュージアム 縄文時代晩期
- 937 垂飾 平塚市真田・北金目遺跡群15E区 平塚市教育委員会 縄文時代中・後期?
- 938 垂飾 藤沢市遠藤貝塚 藤沢市教育委員会 縄文時代後期
- 939~945 貝輪 藤沢市遠藤貝塚 藤沢市教育委員会 縄文時代後期
- 946~947 貝輪未成品 藤沢市遠藤貝塚 藤沢市教育委員会 縄文時代後期
- 948 腕飾? 藤沢市遠藤貝塚 藤沢市教育委員会 縄文時代後期
- 949 イヌ牙製垂飾 茅ヶ崎市堤貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代後期
- 950~960 サトウガイ製貝輪 茅ヶ崎市堤貝塚 茅ヶ崎市教育委員会 縄文時代後期
- 961 髪針 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
- 962 イノシシ歯製装身具 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
- 963 イルカ下顎骨製品 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
- 964 鹿角製品 横須賀市榎戸貝塚 能永寺 縄文時代後期
- 965~966 髪針 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
- 967~968 装身具 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
- 969 赤彩骨加工品 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
- 970~971 サメ骨製装身具 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
- 972~975 アナグラ屑製貝輪 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
- 976~977 アカニシ製貝輪 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
- 978 ベンケイガイ製貝輪 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
- 979 ハマグリ製貝製品 横浜市磯子区杉田貝塚 盤古堂(保管) 縄文時代後期?
- 980 耳飾 伊勢原市西富岡・向畑遺跡 かながわ考古学財団(保管) 縄文時代後期
- 981 イノシシ牙製装身具 横須賀市榎戸貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 982 髪針 横浜市鶴見区荒立貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 983 キツネ牙製垂飾 横浜市鶴見区小仙塚貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 984~985 椎骨製垂飾 横浜市鶴見区小仙塚貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 986~987 垂飾 横浜市神奈川区三ツ沢貝塚 神奈川県立歴史博物館 縄文時代後期
- 988 イノシシ歯製垂飾 横浜市港北区篠原大原遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 989 鹿角製環状垂飾 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 990 サメ椎骨製垂飾 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 991 鹿角製垂飾 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 992 棒状角器 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 993 鹿角製垂飾? 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 994 ウミガメ骨製垂飾? 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期

- 995 魚骨製垂飾? 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期
- 996 サメ歯製垂飾 秦野市中里遺跡 神奈川県教育委員会 縄文時代後期

- 997~1005 貝輪 横浜市南区稲荷山貝塚 神奈川県教育委員会 縄文時代後期

ウ フリーゾーン等における「馬車道を描く日曜画家展 歴代金賞作品」展示

概要： 昭和55(1980)年から始められ34回目となった「馬車道を描く日曜画家展」の歴代金賞受賞作品を、当館フリーゾーン等に展示した。なお、当館角田学芸員が審査員の一人として協力した。

会期：平成27年10月28日(水)~11月5日(木)

会場：神奈川県立歴史博物館 フリーゾーン廊下、会議室

共催：馬車道商店街協同組合

展示場所及び点数：合計34点(馬車道側廊下(2ヶ所・11点)、会議室(23点))

エ フリーゾーンにおけるパネル展示

(ア) 「かながわの近代建築」

概要： 神奈川県内には、現在も明治・大正・昭和戦前期に建てられた数多くの近代建築が残されている。これらの近代建築の多くは、横浜における開港場や居留地に由来する建築、湘南地域に幅広く分布する避暑・避寒のための別荘建築、海軍の軍都として発展した横須賀などに見られる軍事関連の建築、箱根を中心とした観光地に建てられた旅館やホテル建築、京浜工業地帯の一角を占める横浜・川崎の臨海部の工場建築という、五つの要素に大別してとらえることができる。これは神奈川県内の近代建築の特色を表現しているだけでなく、神奈川県の近代の歩みを考える上で重要な要素でもある。

本展示では、神奈川県内に現存する近代建築のうち、当館の建物である旧横浜正金銀行本店本館や「キングの塔」と通称される神奈川県庁本庁舎をはじめとする24棟の建物を取り上げ、その魅力を紹介した。

会期：通年

会場：神奈川県立歴史博物館 フリーゾーン 廊下

展示資料点数：25点(番外のマップを含む)

出品目録(いずれも写真パネル)

(凡例) 名称 所在地 竣工年月

| | |
|---|--|
| 番外 かながわの近代建築MAP(神奈川県内の近代建築のうち60棟を地図上に示し、各建物の写真と概要データを紹介したもの) | 8 ホテルニューグランド本館 横浜市中区山下町 1927(昭和2)年11月 |
| 1 旧横浜正金銀行本店本館(神奈川県立歴史博物館) 横浜市中区南仲通 1904(明治37)年7月 | 9 旧横浜商工奨励館(横浜情報文化センター) 横浜市中区日本大通 1929(昭和4)年4月 |
| 2 神奈川県庁舎(神奈川県庁本庁舎) 横浜市中区日本大通 1928(昭和3)年10月 | 10 旧三井銀行横浜支店(三井住友銀行横浜支店) 横浜市中区本町 1931(昭和6)年3月 |
| 3 旧新港埠頭煉瓦二号倉庫(横浜赤レンガ倉庫2号館) 横浜市中区新港 1911(明治44)年5月 | 11 旧横浜英国総領事館(横浜開港資料館旧館) 横浜市中区日本大通 1931(昭和6)年 |
| 4 旧三井物産横浜支店(三井物産横浜ビル) 横浜市中区日本大通1号ビル - 1911(明治44)年8月、2号ビル - 1927(昭和2)年 | 12 横浜税関本関庁舎 横浜市中区海岸通 1934(昭和9)年3月 |
| 5 旧開港記念横浜会館(横浜市開港記念会館) 横浜市中区本町 1917(大正6)年6月 | 13 横浜郵船ビル(日本郵船歴史博物館) 横浜市中区海岸通 1936(昭和11)年10月 |
| 6 旧川崎銀行横浜支店(日本興亜馬車道ビル) 横浜市中区弁天通 1922(大正11)年 | 14 旧内田家住宅(外交官の家) 横浜市中区山手町 1910(明治43)年 |
| 7 旧生糸検査所(横浜第2合同庁舎) 横浜市中区北仲通 1926(大正15)年2月 | 15 旧英国総領事公邸(横浜市イギリス館) 横浜市中区山手町 1937(昭和12)年 |
| | 16 旧大倉精神文化研究所(横浜大倉山記念館) 横浜市港北区大倉山 1932(昭和7)年4月 |

- 17 福住旅館金泉楼・萬翠楼 足柄下郡箱根町湯本 1877(明治10)・1878(明治11)年
 18 富士屋ホテル本館 足柄下郡箱根町宮ノ下 1891(明治24)年
 19 旧日本爆発物製造株式会社支配人執務室(旧海軍火薬廠将校クラブ、旧横浜ゴム平塚製造所記念館) 平塚市浅間町 1912(明治45)年頃
 20 旧木下邸 中郡大磯町大磯 明治時代末期

- 21 旧近藤邸 藤沢市鶴沼東(同市内より移築) 1925(大正14)年
 22 旧華頂家住宅主屋(旧華頂宮邸) 鎌倉市浄明寺 1929(昭和4)年
 23 旧藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス(神奈川県立体育センター食堂) 藤沢市善行 1932(昭和7)年
 24 旧前田家別邸(鎌倉文学館本館) 鎌倉市長谷 1936(昭和11)年8月

(1) 「写真で見る馬車道の歴史」

概要：馬車道。本町4丁目の交差点から吉田橋までのわずか500メートルほどの通りであるが、歌謡曲でも歌われたヨコハマを代表する道路のひとつである。幕末横浜開港とともに生まれ、港と市街地を結ぶ往来として発展し、明治4(1871)年の地図には「馬車道」の名前が記されている。

輸出入の品々を運んだ荷馬車や外国人などが乗った馬車が通行していたことから「馬車道」とよばれ、多くの人たちが往来し、さまざまな商店が建ち並ぶ一方、貿易商社や金融機関が軒を並べる通りでもあった。馬車道150年の歩みを写真パネルで紹介した。

会期：通年

会場：神奈川県立歴史博物館 フリーゾーン 廊下

展示資料点数：11点

出品目録(いずれも写真パネル)

(凡例) 名称(作者) 時代 所蔵・写真提供者

| | |
|--|--|
| 1 横浜一覽之真景(部分) 橋本玉蘭齋(五雲亭)貞秀 明治4年(1871) 所蔵 神奈川県立歴史博物館 | 7 オート三輪が走る馬車道 昭和35年(1960) 写真提供 神奈川新聞社 |
| 2 横浜吉田橋通繁盛之図 歌川国輝(二代) 山本平吉版 明治3年(1870) 所蔵 神奈川県立歴史博物館 | 8 東宝会館(現リッチモンドホテル) 昭和34年(1959) 写真提供 神奈川新聞社 |
| 3 (絵葉書)横浜正金銀行 明治末 所蔵 神奈川県立歴史博物館 | 9 国際仮装行列の仮面ライダー 昭和48年(1973) 写真提供 神奈川新聞社 |
| 4 (絵葉書)明治時代の馬車道 明治末 所蔵 神奈川県立歴史博物館 | 10 馬車道まつりパレード 昭和51年(1976) 写真提供 馬車道商店街協同組合 |
| 5 (絵葉書)横浜震災実況 横浜正金銀行付近の惨状 大正12年(1923) 所蔵 神奈川県立歴史博物館 | 11 馬車道で歌うピンクレディー 昭和52年(1977) 写真提供 馬車道商店街協同組合 |
| 6 空襲で焼け野原になった馬車道 昭和20年(1945) 写真提供 アメリカ国立公文書館 | |

(5) 学習支援事業

広く一般県民の学習ニーズに応えるべく学習の機会を提供し、博物館で行う講座・講演会や各種行事などの参加を通して、神奈川の歴史・文化や文化財についての知識・関心を深めることを目的として実施(一部再掲)。

ア 講座

県民に展示内容や文化財への興味関心を持ってもらい、より深い理解を図るため、県博講座をはじめとした次の講座を実施した。

(ア) 県博セミナー

【期】(生涯学習課主管の県立機関活用講座、4回連続、有料 4,000円、全回申込者を優先するが定員に達しない場合は各回毎に単独受講可能。単独受講の場合は1,000円、14:00~16:00)

テーマ：「五姓田義松を多彩に語る」(応募者118名 単回を含む事前申込者)

概要：特別展「没後100年 五姓田義松 最後の天才」にちなむ連続講座。明治時代最高の洋画家五姓田義松の没後100年展。800点をこえる作品や資料などから、その魅力と実像に迫る。

- ・第1回 10月3日(土) (受講者 53名)
「五姓田義松：西欧との対決」大原美術館官長 高階秀爾 氏
- ・第2回 10月10日(土) (受講者 36名)
「洋画の熱 義松の熱」主任学芸員 角田 拓朗
- ・第3回 10月24日(土) (受講者 49名)
「五姓田義松は、時代を超越したのか、あるいは時代に超越されたのか」明治大学院大学教授 山下裕二 氏
- ・第4回 10月31日(土) (受講者 43名)
「義松と仮想対談：明治の美術家との語らい」東京藝術大学准教授 小沢剛 氏

[期] (生涯学習課主管の県立機関活用講座、3回連続、有料 3,000円、全回申込者を優先するが定員に達しない場合は各回毎に単独受講可能。単独受講の場合は1,000円、14:00~16:00)

テーマ：「一遍聖絵を旅する」(応募者 101名 単回を含む事前申込者)

概要：特別展「国宝 一遍聖絵」にちなむ連続講座。宗教者一遍上人の生涯を描いた鎌倉時代の画絹を用いた絵巻としては日本最古の作品を、読み解く。

- ・第1回 11月22日(日) (受講者 67名)
「描かれた中世都市と中世遺跡」同志社大学教授 鋤柄俊夫 氏
- ・第2回 11月29日(日) (受講者 73名)
「一遍聖絵の名所描写」 奈良国立博物館教育室長 谷口耕生 氏
- ・第3回 12月6日(日) (受講者 58名)
「描かれた宗教世界を読み解く」主任学芸員 古川 元也・学芸員 小井川 理

(イ) 県博講座

[前期] (当館の学芸員等による3回連続講座、無料、ただし常設展観覧券が必要、14:00~16:00)

テーマ：「見つめなおす、鎌倉のお茶」(応募者 82名)

概要：密教に組み込まれた煎茶、禅宗・律宗とともに広まった抹茶、闘茶の流行に始まる喫茶文化など、鎌倉を中心とした喫茶文化を辿る。

- ・第1回 5月3日(日) (受講者 77名)
「密教寺院の茶」専門学芸員 永井 晋
- ・第2回 5月10日(日) (受講者 62名)
「金沢家・称名寺の贈答儀礼」専門学芸員 永井 晋
- ・第3回 5月17日(日) (受講者 61名)
「中世の茶の生産」専門学芸員 永井 晋

[後期] (当館の学芸員等による5回連続講座、無料、ただし常設展観覧券が必要、14:00~16:00)

応募者多数により2次抽選を行い10:00~12:00の午前にも振り分けた。

テーマ：「時代の変革を彩った石の文化」(応募者 158名)

概要：かながわの大地を形づくる岩石を利用して旧石器時代から現代まで営まれてきたさまざまな活動の中から、各時代を象徴するトピックを取り上げ、考古学、歴史学、民俗学、岩石学の多角的な視点での紹介。

- ・第1回 2月20日(土) (受講者：am 34名、pm 63名)
「かながわの大地の生い立ちと石材」神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員山下 浩之
- ・第2回 2月27日(土) (受講者：am 28名、pm 58名)
「石をみる考古学者の眼」学芸員 千葉 毅
- ・第3回 3月5日(土) (受講者：am 31名、pm 62名)
「神奈川の中世史を彩る石の文化について」専門員 鳥居 和郎
- ・第4回 3月12日(土) (受講者：am 24名、pm 57名)
「庶民の生活と石」学芸員 新井 裕美
- ・第5回 3月19日(土) (受講者：am 37名、pm 62名)
「近代洋風建築に使用された“幻の石材”白丁場石の歴史」主任学芸員 丹治 雄一

(ウ) 博物館入門講座 (無料、ただし 常設展観覧券が必要) (応募者 34名)

概要：普段見ることのできない、博物館の様々な活動や学芸員の仕事について紹介するとともに、当館の展示についても学ぶ。なお、当館のボランティア募集に際しては、当講座を受講済であるこ

とを応募の条件としている。(全2日間)

- ・第1回 1月23日(土) 10:00~15:30 (受講者28名)
当館の概要・博物館とその機能・博物館活動と学芸員の仕事・当館の企画普及事業・館内見学
- ・第2回 1月24日(日) 10:00~15:30 (受講者25名)
学芸員の技・学芸員の目(1),(2)・ワークショップ

イ 特別展等記念講演会等及び行事

特別展等のテーマに沿った内容の講演会等の実施。

記念講演会(無料、ただし特別展、特別陳列、遺跡展の各観覧券が必要)

(ア) 特別展

「中世東国の茶 武家の都鎌倉における茶の文化」(応募者85名・受講者67名)

日時:5月16日(土) 14:00~16:00

演題:「中世の茶筥と茶臼」

講師:元伊藤園中央研究所研究第一課長 沢村信一 氏

「没後100年 五姓田義松 最後の天才」(応募者84名・受講者68名)

日時:9月20日(日) 14:00~16:00

演題:特別入門講座「五姓田義松5点の作品から読み解くその魅力と生涯」

講師:主任学芸員 角田 拓朗

「国宝 一遍聖絵」(応募者219名・受講者78名)

日時:11月23日(月・祝)

演題:「一遍聖絵の魅力」

講師:時宗教学研究顧問・真光寺住職 長島尚道 氏

「石展 かながわの歴史を彩った石の文化」

a 日時:2月21日(日) 14:00~16:00

演題:『中世の石塔・板碑をとおして見たかながわ』(応募者118名・受講者86名)

講師:国学院大学教授 千々和 到 氏

b 日時:2月28日(日) 14:00~16:00

演題:『石を切る 採石職人の技とくらし』(応募者89名・受講者71名)

講師:国立歴史民俗博物館准教授 松田睦彦 氏

(イ)特別陳列 「仏のすがた 祈りのかたち 県博の仏教美術」

彫刻編

日時:7月26日(日) 14:00~16:00

演題:「仏像を考える」(応募者61名・受講者49名)

講師:三井記念美術館館長 清水眞澄 氏

絵画編

日時:8月9日(日) 14:00~16:00

演題:「東国の風土と仏画」(応募者63名・受講者52名)

講師:成城大学教授 相澤正彦 氏

(ウ)遺跡展「平成27年度かながわの遺跡展『縄文の海 縄文の森』特別講演会」

日時:1月9日(土) 14:00~16:00

演題:「縄文の資源利用 その多様性と展開」(応募者170名・受講者90名)

講師:明治大学教授 阿部芳郎 氏

日時:1月16日(土) 14:00~16:00

演題:「神奈川県貝塚からみた生業活動」(応募者91名・受講者75名)

講師:早稲田大学講師 樋泉岳二 氏

日時:1月23日(土) 14:00~16:00

演題:「縄文の森と栽培植物」(応募者131名・受講者95名)

講師:山梨県教育委員会 中山誠二 氏

特別展開連行事

(ア)体験教室(参加費無料。ただし は材料費、 は高校生以上特別展観覧券が必要。 は常設展観覧券が必要。)

「お茶を理解しよう おいしいお茶の淹れ方 」(応募者 86 名)一般向け

日時：5月24日(日) 11:00~12:00(受講者 18名)、14:00~15:00(受講者 16名)

6月6日(土) 11:00~12:00(受講者 21名)、14:00~15:00(受講者 13名)

協力：伊藤園

「神奈川のお茶を楽しむ 足柄茶の味わい方 」(応募者 31 名)一般向け

日時：5月31日(日) 13:15~15:00(受講者 23名)

協力：株式会社神奈川県農協茶業センター日本茶インストラクター協会神奈川県支部

「親子でお茶を楽しもう! おいしいお茶の淹れ方 」子ども向け

日時：6月13日(土) 10:00~12:00(応募者 17組 44名・受講者 6組 13人)

協力：株式会社伊藤園

「高校生のためのお茶講座 おいしいお茶の淹れ方とお茶の歴史 」

日時：6月13日(土) 13:30~14:30(応募者 21名・受講者 21名)

協力：株式会社伊藤園

「鉛筆で描く 正確に描く」子ども向け

日時：10月11日(日) 10:00~16:00(受講者 91名・見学 16名)

11月1日(日) 10:00~16:00(受講者 104名・見学 10名)

講師：東海大学教授 河野孝博 氏

「勾玉をつくろう」一般 ・子ども向け(応募者 260名)

日時：2月13日(土) 10:00~12:00(参加者大人 15名・子ども 8名)

14:00~16:00(参加者大人 4名・子ども 26名)

2月14日(日) 10:00~12:00(参加者大人 6名・子ども 24名)

指導：当館学芸員

「石を割って加工してみよう!」子ども向け(応募者 27組 57名)

日時：3月6日(日) 13:30~15:30(参加者 子ども 18名・大人 13名 見学大人 12名)

指導：竹林石材店代表取締役 竹林智大 氏

(遺跡展)「貝を使って縄文時代のアクセサリーを作ろう」小学生対象

日時：1月17日(日)14:00~16:00(応募者 11組 24名・受講者 11組 24名)

講師：市原市埋蔵文化財調査センター 鶴岡英一 氏

(イ)建物見学会(無料。ただし、常設展、特別展観覧券が必要。)

「旧横浜正金銀行本店本館建物見学会」(応募者 93名)

日時：3月26日(土) 10:00~12:00(参加者 18名)、13:30~15:30(参加者 29名)

講師：主任学芸員 丹治 雄一

(ウ)現地見学会(無料。ただし、保険料が必要。)

「五姓田派の旧跡を歩く」

日時：10月21日(水)14:00~17:00(応募者 40名、参加者 30名)

案内：主任学芸員 角田 拓朗

「石垣山一夜城周辺の岩石と史跡を学ぶ」

日時：3月13日(日)13:30~16:00(応募 140者名、参加者 48名)

案内：専門員 鳥居 和郎、神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員 山下 浩之

(エ)シンポジウム(無料。ただし東京国立博物館常設展入館券が必要。)

全体テーマ「国宝一遍聖絵の全貌」

日時：11月15日(日)10:00~16:25

会場：東京国立博物館平成館大講堂(応募者 459名、参加者 372名)

基調講演：放送大学教授 東京大学名誉教授 五味文彦 氏「一遍聖絵の中世」

パネリスト： 1.成城大学 相澤正彦 氏「一遍の王都入場」

2.東京国立博物館 瀬谷愛 氏「『社寺参詣曼荼羅』としての聖絵」

3.神奈川県立金沢文庫 梅沢恵 氏「図像学的解釈の試み」

4. 遊行寺宝物館 遠山元浩 氏「人間一遍」
5. 東京大学 松岡心平 氏「踊り念仏とはなにか」
6. 立正大学 佐多芳彦 氏「一遍聖絵の服装描写における特色」
7. 京都大学 富島義幸 氏「建築表現のリアリティー」

討論会総合同会・進行：主任学芸員 古川 元也

ウ 学芸員による展示解説

特別展・コレクション展・特別陳列等の担当学芸員による展示解説。時間は13:30～30分程度、場所は特展室、自由参加を原則とする。本年度は講堂、会議室等での解説も行った。

特別展

「中世東国の茶 武家の鎌倉における茶の文化」

| 月・日・(曜) | 開始時間 | 会 場 | 参加人数 | 解説者職名 | 氏 名 |
|----------|-------|-----|------|-------|------|
| 5月23日(土) | 13:30 | 展示室 | 41名 | 専門学芸員 | 永井 晋 |
| 5月31日(日) | | | 56名 | | |
| 6月7日(日) | | | 51名 | | |
| 6月14日(日) | | | 58名 | | |
| 6月21日(日) | | | 62名 | | |

「没後100年 五姓田義松 最後の天才」

| 月・日・(曜) | 開始時間 | 会 場 | 参加人数 | 解説者職名 | 氏 名 |
|-------------|-------|-----|------------|-------|-------|
| 9月19日(土) | 13:30 | 展示室 | 62名 | 主任学芸員 | 角田 拓朗 |
| 9月22日(火・祝) | | | 63名 | | |
| 9月27日(日) | | | 57名 | | |
| 10月4日(日) | | | 56名 | | |
| 10月11日(日) | 15:00 | 会議室 | 53名 | | |
| | 15:30 | | 53名 | | |
| 10月12日(月・祝) | 11:00 | 講 堂 | 75名 | | |
| | 13:30 | | 83名 | | |
| | 14:30 | | 80名 | | |
| 10月14日(水) | 15:00 | 会議室 | 60名 | | |
| 10月15日(木) | | | 72名 | | |
| 10月16日(金) | | | 34名 18名 | | |
| 10月17日(土) | 15:00 | 講 堂 | 88名 | | |
| 10月18日(日) | 11:00 | | 73名 | | |
| | 14:00 | | 67名 | | |
| | 15:30 | | 71名 | | |
| 10月20日(火) | 15:00 | | 76名 | | |
| 10月22日(木) | 15:00 | | 83名 | | |
| 10月24日(土) | 14:30 | 会議室 | 40名 | | |
| | 15:00 | | 40名 | | |
| 10月25日(日) | 11:00 | 講 堂 | 90名 | | |
| | 13:30 | | 94名 | | |
| 10月27日(火) | 15:00 | | 93名 | | |
| 10月28日(水) | 13:45 | | 74名 | | |
| | 15:00 | | 52名 | | |
| 11月2日(月・開) | 13:30 | | 91名 | | |
| 11月4日(水) | 15:00 | | 83名 | | |

| | | | | | |
|----------|-------|-----|------|--|--|
| 11月5日(木) | 15:00 | | 96名 | | |
| 11月7日(土) | 11:00 | | 92名 | | |
| | 13:30 | | 104名 | | |
| | 15:00 | | 81名 | | |
| 11月8日(日) | 11:00 | | 76名 | | |
| | 13:30 | | 110名 | | |
| | 15:00 | 69名 | | | |

「国宝 一遍聖絵」

| 月・日・(曜) | 開始時間 | 会場 | 参加人数 | 解説者職名 | 氏名 |
|-----------|-------|----|------|-------|-------|
| 11月28日(土) | 13:30 | 講堂 | 66名 | 主任学芸員 | 古川 元也 |
| 12月5日(土) | | | 55名 | 学芸員 | 小井川 理 |
| 12月12日(土) | | | 75名 | 主任学芸員 | 古川 元也 |
| 12月13日(日) | 14:00 | | 45名 | 学芸員 | 小井川 理 |

「石展 かながわの歴史を彩った石の文化」

| 月・日・(曜) | 開始時間 | 会場 | 参加人数 | 解説者職名 | 氏名 |
|------------|-------|-------|------|-------|-------|
| 2月7日(日) | 13:30 | 展示室 | 31名 | 主任学芸員 | 丹治 雄一 |
| | | | | 学芸員 | 新井 裕美 |
| 2月11日(木・祝) | | | 32名 | 主任学芸員 | 丹治 雄一 |
| | | | | 学芸員 | 新井 裕美 |
| 2月14日(日) | | | 35名 | 主任学芸員 | 丹治 雄一 |
| | | | | 学芸員 | 新井 裕美 |
| | | | | 専門員 | 鳥居 和郎 |
| 3月20日(日・祝) | | | 53名 | 主任学芸員 | 丹治 雄一 |
| | | | | 学芸員 | 千葉 毅 |
| 3月27日(日) | | | 44名 | 主任学芸員 | 丹治 雄一 |
| | 学芸員 | 新井 裕美 | | | |
| | 15:00 | 24名 | | 学芸員 | 新井 裕美 |

コレクション展

「地図と写真でみる馬車道」

| 月・日・(曜) | 開始時間 | 会場 | 参加人数 | 解説者職名 | 氏名 |
|----------|-------|-----|------|--------|--------|
| 7月11日(土) | 13:30 | 展示室 | 27名 | 非常勤学芸員 | 武田 周一郎 |
| 8月8日(土) | | | 25名 | | |
| 8月22日(土) | | | 35名 | | |

その他の展示

「特別陳列『仏のすがた 祈りのかたち 県博の仏教美術』」

| 月・日・(曜) | 開始時間 | 会場 | 参加人数 | 解説者職名 | 氏名 |
|----------|-------|-----|------|-------|-------|
| 7月25日(土) | 13:30 | 展示室 | 23名 | 学芸員 | 小井川 理 |
| 8月1日(土) | | | 22名 | | |
| 8月15日(土) | | | 37名 | 学芸員 | |

「平成27年度かながわの遺跡展 『縄文の海 縄文の森』」

| 月・日・(曜) | 開始時間 | 会場 | 参加人数 | 解説者職名 | 氏名 |
|-------------|-------|-----|------|------------------------|-------|
| 12月23日(水・祝) | 13:30 | 展示室 | 17名 | 神奈川県教育局生涯学習部 文化遺産課 副主幹 | 加藤 勝仁 |
| 1月10日(日) | | | 35名 | | |
| 1月24日(日) | | | 50名 | | |

エ ミュージアムトーク(常設展示室で展示資料を解説、自由参加)

「『黒船』の航海生活」

日 時：7月18日(土) 13:30～14:30

担 当：主任学芸員 嶋村 元宏

参加者：36名 常設展示室での解説後、1階会議室にて資料の拡大画像を示しながら解説。

「中世の鎌倉」

日 時：9月12日(土) 13:30～14:30

担 当：企画普及課長 永井 晋

参加者：30名

「縄文時代」

日 時：11月14日(土) 12:30～13:30

担 当：学芸員 千葉 毅

参加者：40名

オ その他の行事(無料、ただし常設展観覧券が必要)

(ア) 博物館建物見学会

概 要： 国の重要文化財、史跡に指定されている当館建物について、通常は見ることのできない地下金庫扉や屋上ドームを公開し、学芸員が解説。

講 師： 主任学芸員 丹治 雄一

日 時：5月4日(月・祝) 第1回 10:30～12:00、第2回 14:00～15:30

応募者：87名

参加者：第1回 26名、第2回 26名

日 時：9月21日(月・祝) 13:00～15:00 聴覚障害者向けに手話通訳付で実施

応募者：46名(うち聴覚障害者5名)

参加者：27名(うち聴覚障害者5名)

日 時：11月8日(日) 第1回 10:30～12:00、第2回 14:00～15:30

応募者：105名

参加者：第1回 29名(追加実施)第2回 29名

(イ) ミュージアムコンサート

「浦賀ウインドオーケストラによる吹奏楽演奏会」

日 時：7月19日(日) 14:00～15:00

内 容：浦賀ウインドオーケストラによる吹奏楽演奏会。

・朝の連続テレビ小説テーマ集(「花子とアン」「マッサン」「まれ」)

・ピアソラ「リベルタンゴ」「オブリビオン(忘却)」

・「サウンド・オブ・ミュージック」メドレーなどを含む全10曲

演奏者：浦賀ウインドオーケストラ 34名

会 場：当館講堂(応募者114名、参加者70名)

担 当：非常勤学芸員 瀧本 明海

「クラシック・ヨコハマ2015 ミュージアムコンサート in 県立歴史博物館」

日 時：12月20日(日) 14:00～15:00

内 容：「クラシック・ヨコハマ2015」の一環として実施。ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン修了生を中心とした室内楽演奏会。

・ハイドン「ロンドン・トリオ 第1番」

・ベートーヴェン「弦楽三重奏曲 op.9 no.3 より第1楽章」

・モーツァルト「フルート四重奏曲 K.285」

などを含む全7曲

演奏者：ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン(MMCJ)修了生等4名

フルート1名、ヴァイオリン1名、ヴィオラ1名、チェロ1名

会 場：当館講堂(応募者104名、参加者72名)

担 当：非常勤学芸員 瀧本 明海

(ウ)その他「箱根火山を正しく恐れ、大いに楽しむ 『箱根火山の恵みと脅威』を横浜で語る

内 容： 箱根火山の恵みの集大成である「箱根ジオパーク」に構想当初から携わっている経験を基に、『箱根火山の恵み』について解説。(平田大二 氏)

箱根火山活動の調査研究に携わっている経験を基に、今回の噴火活動の実態や大涌谷の現状等『箱根火山の脅威』について解説。(萬年一剛 氏)

日 時：1月31日(日)11：00～12：00(参加62名)14：00～15：00(参加者41名)

講 師：生命の星・地球博物館館長 平田大二 氏、温泉地学研究所主任研究員 萬年一剛 氏

カ 子ども・青少年向け教育普及事業

(ア) ミュージアムクイズ「学んで楽しむ博物館！」(自由参加)

内 容： 常設展展示資料から出題したクイズシートを配布。参加者には参加証明書を配布。

開催期間： 4月1日(水)～翌年3月31日(木)開催日数(無料開館日及び「けんぱくウォッチ！」「ミュージアム・クイズラリーよこはま」実施日を除く)265日間

参加者：348名

担 当：非常勤学芸員 豊田 倫子

(イ) けんぱくウォッチ！(自由参加)

内 容： 子どもの日にちなんだ行事。資料に関するワークシートを解きながら、常設展示室を回る。参加者には景品あり。

開催期間：5月2日(土)～5日(火・祝)開催日数4日

参加者：581名

担 当：非常勤学芸員 泉山 花江

(ウ) ミュージアム・クイズラリー よこはま 2015

内 容： 夏休み期間に、近隣の博物館施設と共同で開催するクイズラリー。当館主催で参加館との連絡会を作り実施。参加者はクイズを解きながら各館を回り、クイズノートに館ごとのスタンプを押してもらおう。スタンプ数に応じた賞品あり。

平成27年度はテーマを「食は文化だ！」と題し、食に関する歴史・食品の流通や調理方法・習慣儀礼といった文化としての食に焦点を当てた。

また、博物館だけでなく、横浜の食文化に関する歴史の一端を担う存在として複数の飲食店を紹介し、参加者特典を設けた。

前年度に続き、当館キャラクター「パンチの守」が参加館を訪問し、地域連携を推進し事業を盛り上げた。

開催期間：7月18日(土)～8月30日(日)

参加館園：合計11館

神奈川県立歴史博物館・横浜みなと博物館・JICA 横浜 海外移住資料館・横浜税関資料展示室・横浜開港資料館・放送ライブラリー・横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館・シルク博物館・大佛次郎記念館・神奈川近代文学館

参加者：全体4,750名(自由参加)

関連行事：パンチの守訪問

横浜開港資料館・横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館

日時：8月16日(日)10:00～11:30

大佛次郎記念館・神奈川近代文学館

日時：8月20日(木)11:00～12:30

担 当：非常勤学芸員 泉山 花江

(I) 博物館教室

名 称：「紙漉き体験 植物から紙を作ろう！」

内 容： 昨年まで行っていた「子ども博物館教室」は、子どもたちに当館の存在を知らせるとともに、体験型行事を通して、楽しみながら学習し、博物館に興味を持ってもらうことを目的に、毎年、夏休み期間中に開催している学習支援事業の一つであった。

本年度は前年好評を得た「紙漉き体験 植物から紙を作ろう！」に新たに大人向け回を設け、大人にも体験の場を提供した。

講師の指導のもと原料である植物（楮）の皮を剥くところから始め、最終的に3種類の和紙を漉いた。世界文化遺産登録を果たした和紙づくりを本格的に体験してもらった。

開催日：7月25日(土) 9:45～12:30 14:00～16:30

対象：小学4年生～中学生（小学生は保護者同伴） 高校生以上

参加者： 応募 15名、参加 13名（外保護者15名）

応募 22名、参加 22名

講師：田村 正 氏(夷正工房主人)、村田 篤美 氏(講師アシスタント)

担当：非常勤学芸員 泉山 花江

(オ) けんぱく建物たんけん！

内容：博物館建物見学会の子ども向け企画。子どもたちが当館建物を探検、観察したなかで気付いたことや意見をグループで共有・発表することにより、当館建物についての理解を深めた。

開催日：8月2日(日) 13:30～16:00

参加者：応募 14名、当選 14名、参加 8名

講師：主任学芸員 丹治 雄一

担当：非常勤学芸員 瀨本 明海

キ 学校連携事業の状況

(ア) 展示見学学習等、小中高等学校及び特別支援学校の当館利用状況

| | 県 内 | | | | | | | | | |
|-----|-----|-------|-----|-------|------|-----|--------|----|------|-------|
| | 小学校 | | 中学校 | | 高等学校 | | 特別支援学校 | | 県内合計 | |
| | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 | 校数 | 校数 | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 |
| 4月 | 1 | 150 | 2 | 97 | 4 | 287 | 0 | 0 | 7 | 534 |
| 5月 | 1 | 38 | 26 | 747 | 9 | 253 | 0 | 0 | 36 | 1,038 |
| 6月 | 1 | 117 | 21 | 681 | 1 | 15 | 0 | 0 | 23 | 813 |
| 7月 | 1 | 92 | 7 | 70 | 7 | 57 | 0 | 0 | 15 | 219 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 23 | 0 | 0 | 5 | 23 |
| 9月 | 3 | 55 | 2 | 20 | 2 | 48 | 1 | 13 | 8 | 136 |
| 10月 | 5 | 404 | 4 | 169 | 4 | 199 | 0 | 0 | 13 | 772 |
| 11月 | 17 | 1,293 | 1 | 66 | 2 | 12 | 0 | 0 | 20 | 1,371 |
| 12月 | 4 | 295 | 8 | 484 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 779 |
| 1月 | 3 | 259 | 10 | 307 | 0 | 0 | 1 | 2 | 14 | 568 |
| 2月 | 3 | 261 | 6 | 452 | 2 | 9 | 1 | 11 | 12 | 733 |
| 3月 | 3 | 132 | 4 | 73 | 4 | 28 | 2 | 12 | 13 | 245 |
| 合計 | 42 | 3,096 | 91 | 3,166 | 40 | 931 | 5 | 38 | 178 | 7,231 |

| | 県 外 | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-------|------|-------|--------|----|------|-------|
| | 小学校 | | 中学校 | | 高等学校 | | 特別支援学校 | | 県外合計 | |
| | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 |
| 4月 | 0 | 0 | 18 | 357 | 9 | 103 | 0 | 0 | 27 | 460 |
| 5月 | 4 | 122 | 34 | 449 | 22 | 1,266 | 0 | 0 | 60 | 1,837 |
| 6月 | 0 | 0 | 13 | 240 | 4 | 67 | 0 | 0 | 17 | 307 |
| 7月 | 1 | 5 | 7 | 178 | 3 | 14 | 0 | 0 | 11 | 197 |
| 8月 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9月 | 2 | 102 | 6 | 137 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 239 |
| 10月 | 11 | 378 | 8 | 612 | 2 | 62 | 1 | 8 | 22 | 1,060 |
| 11月 | 4 | 175 | 6 | 172 | 3 | 286 | 2 | 15 | 15 | 648 |
| 12月 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| 1月 | 0 | 0 | 14 | 734 | 1 | 31 | 0 | 0 | 15 | 765 |
| 2月 | 0 | 0 | 21 | 709 | 1 | 6 | 0 | 0 | 22 | 715 |
| 3月 | 0 | 0 | 11 | 181 | 2 | 5 | 0 | 0 | 13 | 186 |
| 合計 | 22 | 782 | 139 | 3,773 | 47 | 1,840 | 3 | 23 | 211 | 6,418 |

| | 平成 27 年度総計 | | 平成 26 年度総計 | | 平成 25 年度総計 | |
|-----|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
| | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 | 校数 | 人数 |
| 4月 | 34 | 994 | 28 | 1,186 | 31 | 1,457 |
| 5月 | 96 | 2,875 | 96 | 2,693 | 95 | 2,741 |
| 6月 | 40 | 1,120 | 32 | 1,110 | 43 | 1,315 |
| 7月 | 26 | 416 | 16 | 519 | 10 | 127 |
| 8月 | 5 | 23 | 9 | 139 | 3 | 24 |
| 9月 | 16 | 375 | 21 | 747 | 19 | 769 |
| 10月 | 35 | 1,882 | 18 | 534 | 38 | 1,346 |
| 11月 | 35 | 2,019 | 44 | 2,284 | 32 | 1,672 |
| 12月 | 13 | 783 | 11 | 316 | 15 | 636 |
| 1月 | 29 | 1,333 | 15 | 580 | 18 | 499 |
| 2月 | 34 | 1,448 | 34 | 1,198 | 30 | 1,207 |
| 3月 | 26 | 431 | 20 | 453 | 7 | 208 |
| 合計 | 389 | 13,649 | 344 | 1,1819 | 341 | 12,002 |

(1) 当館の利用目的

(単位：校数)

| | 利用目的 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 | 合計 |
|----|----------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| 県内 | 社会科(歴史学習) | 6(15.8%) | 1(2.8%) | 3(14.3%) | 0(0%) | 10(10.0%) |
| | 総合的な学習の時間 | 22(57.9%) | 18(50.0%) | 15(71.4%) | 2(40.0%) | 57(57.0%) |
| | 学校行事(遠足、社会見学等) | 10(26.3%) | 17(47.2%) | 3(14.3%) | 3(60.0%) | 33(33.0%) |
| 県外 | 社会科(歴史学習) | 0(0%) | 6(13.6%) | 1(8.3%) | 0(0%) | 7(9.0%) |
| | 総合的な学習の時間 | 0(0%) | 17(38.7%) | 10(83.4%) | 1(33.3%) | 28(35.9%) |
| | 学校行事(遠足、社会見学等) | 19(100%) | 21(47.7%) | 1(8.3%) | 2(66.7%) | 43(55.1%) |

事前連絡校による統計

(ウ) 学校の博物館利用の状況

(単位：校数)

| 校種 | 事前準備 | | | | 歴博活用 | | | 利用形態 | | | 付帯施設利用 | | | 利用目的 | | |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|----|--------|----|-----|------|------|------|
| | 来館校数 | 下見来館 | 電話打合 | 資料提供 | 課題持参 | ボラ活用 | 特別依頼 | 全員一斉 | グループ | 個人 | 駐車場 | 講堂 | 会議室 | 歴史学習 | 総合学習 | 社会見学 |
| 小学校 | 57 | 51 | 6 | 47 | 55 | 36 | 0 | 51 | 6 | 0 | 9 | 27 | 15 | 6 | 22 | 29 |
| 中学校 | 80 | 41 | 39 | 50 | 76 | 15 | 6 | 9 | 71 | 0 | 3 | 3 | 6 | 7 | 35 | 38 |
| 高等学校 | 33 | 9 | 24 | 11 | 32 | 9 | 6 | 13 | 20 | 0 | 0 | 2 | 4 | 4 | 25 | 4 |
| 特別支援学校 | 8 | 6 | 2 | 6 | 5 | 1 | 0 | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 5 |
| 合計 | 178 | 107 | 71 | 114 | 168 | 61 | 12 | 80 | 98 | 0 | 12 | 32 | 27 | 17 | 85 | 76 |

事前連絡校による統計

課題持参 = 学校がワークシートなどを用意して見学。質問などにボランティアが対応。

ボラ活用 = ボランティアによる展示解説や質問への対応要請が事前にあったもの。

特別依頼 = 学芸員による館の概要説明や建物の解説など。

付帯施設利用 = 展示室等の一般利用施設以外に、駐車場(バス等)や講堂等の利用があったもの。

(I) 見学学習(社会科の歴史学習、総合的な学習の時間等)への対応状況

a 見学に際し当館の概要などを説明

小学校 42校、中学校 14校、高等学校 9校

b 見学に際し、学習を支援していくためのワークシート(素材)を提供

小学校 47校、中学校 50校、高等学校 11校、特別支援学校 6校

c 解説ボランティアが展示資料を解説

小学校 36 校、中学校 16 校、高等学校 9 校、特別支援学校 1 校

(オ) 社会科の歴史学習、総合的な学習の時間(調べ学習)への対応状況

上記(エ)の見学学習において、特定テーマの解説などの求めに対応したもの。

(単位：校数)

| 依頼テーマ | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 |
|-----------------------|-----|-----|------|--------|
| テーマ1 さがみの古代に生きた人びと | 6 | 4 | 3 | 0 |
| テーマ2 都市鎌倉と中世びと | 7 | 8 | 4 | 1 |
| テーマ3 近世の街道と庶民文化 | 15 | 6 | 4 | 0 |
| テーマ4 横浜開港と近代化 | 30 | 12 | 8 | 1 |
| テーマ5 現代の神奈川と伝統文化 | 7 | 3 | 1 | 0 |
| 特別展示・その他 (含む専門解説) | 0 | 4 | 5 | 0 |

(カ) インターンシップ(就業体験・職場訪問等)への対応状況

インターンシップは、生徒が学校に在学している期間中に「勤労体験」「職業体験」活動を通じて、生徒が自主的に望ましい勤労観、職業観及び職業に関する知識や技術に触れ自己の個性を理解して、進路選択ができる能力及び態度を身につけることを目的とする。

当館のインターンシップは、高校生を対象に複数日にわたり、博物館という職場の役割や学芸員の仕事について紹介し、また、実際に資料を扱うことで、博物館の仕事をより具体的に知ることを目的とする就業体験的なものと、中学生・高校生を対象に「博物館の役割・仕事」「博物館で働く人」というテーマで座学と見学を中心とした職場訪問的なものを実施している。

a 高校生のインターンシップ

就業体験的なもの(複数日にわたり博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明、施設の見学、就業体験等を実施)

県立西湘高等学校、県立瀬谷西高等学校、星槎高等学校(2名)合計4名

・日時：8月25日(火)～28日(金) 9:30～17:00

・内容：8月25日(火)：ガイダンス、館内見学、企画普及業務補助(情報掲載物の整理作業)

26日(水)：図書整理業務補助 企画普及業務補助(アンケート集計作業)

27日(木)：古代・近世(収蔵資料整理業務)

28日(金)：企画普及業務補助(利用促進に関わる発送作業)、4日間の振り返り

b 中学生・高校生の職場訪問

博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明を行い、施設見学を実施。

中学生は2時間、高校生は4時間で実施。

5月19日(火) 横須賀市立浦賀中学校 2年 20名

6月10日(水) 県立横浜清陵総合高校 1年 15名

5月29日(金) 平塚市立中原中学校 1年 12名

7月14日(火) 県立大磯高等学校 1年 20名

10月1日(木) 県立上溝高等学校 40名

(キ) 『歴史博物館の展示(常設)目録 - 学習指導要領・教科書との対照表 -』の更新

学校連携検討会議等での検討を受けて作成した『歴史博物館の展示(常設)目録 - 学習指導要領教科書との対照表 -』(当館の常設展示資料と学習指導要領、教科書の主な単元項目が対照でき、さらに学芸員が適宜見学のポイントを記したもの)について、平成17年度で小・中・高等学校の3

種類の校種別目録が揃った。また、平成23年度からの小学校を初めとして中学校、高等学校と順次行われてきた新学習指導要領の全面实施を受けて、随時改訂作業を進めている。さらに平成24年度には、県立高等学校等で実施された日本史必修化の教科書である「郷土史かながわ」との対照表を作成し、全県立高等学校・特別支援学校へ配付した。平成26・27年度は、歴史博物館の展示(常設)目録の更新に合わせて見直しを図り、この資料を活用した学校独自のワークシート作りを推奨している。

(ク) 『常設展示品キャプション』の更新

学校連携検討会議等での検討を受けて作成した『常設展示品キャプション』について、展示替えなどによる情報の更新を適宜行った。平成26年度に、特に頻繁に展示替えのあるコーナーをキャプション集の外枠に出すなどキャプション集の見直しを図り、より早く展示替えしたことをホームページ上で確認できるようにした。平成27年度は継続し実施してきた。

(ケ) ワークシートの作成と活用

学校の見学学習の資料として作成した『ワークシート』を先生方に提供。博物館作成の『ワークシート』の活用と共に、先生方の博物館利用のねらいや児童・生徒の実態に即した独自の『ワークシート』作成の参考としての活用をお願いしている。

(コ) 教員向け研修会の実施

a 「教員のための博物館講座」の開催

日時：7月30日(木) 10:00～16:00

受講者：35名

概要：講義「教科書だけでは学べない神奈川の歴史～博物館の底力、収集の歴史が紡ぐもの～」と「資料の読み取り方を学ぶ」についての講義とワークショップ、バックヤード見学

b 5年経験者研修「社会体験実習」の受入

日時：7月29日(水)・7月30日(木)・8月6日(木) 9:00～17:45

受講者：厚木市立林中学校 教諭 渡邊 真史(5年経験者研修)
南足柄市立足柄台中学校 教諭 奥平 勝幸(5年経験者研修)
県立横浜明朋高等学校 教諭 鈴木 健司(5年経験者研修)
県立横浜桜陽高等学校 教諭 山本 昌寿(5年経験者研修)

(カ) ホームページ上で「こどものページ」の公開

児童・保護者や学校関係者に親しみを感じてもらうことで館の利用促進を図るため、ホームページ上に小学生・中学生向けの「こどものページ」を設け、当館で見学学習を行った小・中学生から作文や絵画などを募り、公開している。

| 掲出期間 | 学校名 | 内容 |
|------------|----------------|---------|
| 27年 7月14日～ | 横須賀市立浦賀中学校 2年 | 感想文 7名 |
| 27年 7月14日～ | 横須賀市立浦賀中学校 2年 | 新聞2グループ |
| 27年 7月17日～ | 平塚市立中原中学校 1年 | 感想文 4名 |
| 27年 8月14日～ | 横浜市立東汲沢小学校 6年 | 寄せ書き |
| 27年 9月11日～ | 県立横浜清陵総合学校 1年 | 感想文 6名 |
| 27年 9月29日～ | 日系社会次世代育成研修第一陣 | 感想文 12名 |
| 27年 9月29日～ | 横浜市立東汲沢小学校 6年 | 感想文 9名 |
| 27年 9月29日～ | 県立大磯高等学校 1年 | 感想文 20名 |
| 27年 12月1日～ | 県立横浜翠嵐高等学校 1年 | 感想文 6名 |

(6) ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として、1階フリーゾーンにミュージアムライブラリーを設置している。図書、映像、情報システム(デジタルミュージアム)などがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことができる。

職員が1名以上常駐し、質問等を受け付けるなど、生涯学習の場として広く利用されるように運営している(図書、映像、情報システムの内容についてはそれぞれの項目に記載)。平成27年度の利用者総数は9,914名、フリーゾーンを含めた入館者に対する比率は5.5%である。

ア 閲覧用座席数

14席、映像ブース：3ヶ所7名分、来館者用情報システム端末：3台

イ 利用者数

(単位：人)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年度計 |
|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|-------|
| 小学生 | 22 | 35 | 18 | 50 | 49 | 32 | 46 | 54 | 20 | 27 | 19 | 20 | 392 |
| 中学生 | 5 | 179 | 32 | 5 | 26 | 2 | 48 | 18 | 1 | 29 | 24 | 16 | 385 |
| 高校生 | 18 | 14 | 1 | 14 | 15 | 5 | 23 | 2 | 4 | 7 | 4 | 3 | 110 |
| 大学生 | 3 | 43 | 3 | 8 | 23 | 12 | 3 | 6 | 1 | 4 | 15 | 4 | 125 |
| 一般成人 | 372 | 601 | 443 | 450 | 437 | 441 | 625 | 616 | 366 | 340 | 360 | 494 | 5,545 |
| 65歳以上 | 168 | 253 | 159 | 234 | 225 | 247 | 501 | 427 | 264 | 265 | 254 | 360 | 3,357 |
| 生徒引率 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 588 | 1,125 | 656 | 761 | 775 | 739 | 1,246 | 1,123 | 656 | 672 | 676 | 897 | 9,914 |
| 開館日数 | 26 | 28 | 24 | 28 | 26 | 27 | 28 | 26 | 22 | 24 | 23 | 26 | 310 |
| 1日平均 | 22.6 | 40.2 | 27.3 | 27.2 | 29.8 | 27.4 | 44.3 | 43.2 | 29.8 | 28.0 | 29.4 | 32.0 | 32.0 |

ウ 利用形態

(単位：人)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年度計 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 映像利用 | 3 | 0 | 0 | 3 | 11 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 21 |
| 情報システム | 23 | 54 | 26 | 39 | 55 | 27 | 37 | 19 | 25 | 23 | 25 | 8 | 361 |
| 図書閲覧 | 296 | 621 | 338 | 402 | 390 | 345 | 554 | 422 | 321 | 289 | 287 | 367 | 4,632 |
| 各種照会 | 25 | 25 | 17 | 45 | 24 | 6 | 23 | 1 | 0 | 14 | 11 | 6 | 197 |
| コピー | (件数) | 29 | 26 | 26 | 38 | 37 | 26 | 41 | 48 | 18 | 24 | 20 | 358 |
| サービス | (枚数) | 188 | 374 | 165 | 420 | 302 | 238 | 374 | 480 | 129 | 137 | 215 | 3,377 |

写真資料の特別利用手続き、ポスター掲出・チラシ配架依頼、周辺施設の所在地に関する照会などへの対応

(7) 普及印刷物

ア 図録

- ・特別展図録「中世東国の茶 武家の都鎌倉における茶の文化」
平成27年4月25日発行
- ・特別展図録「没後100年 五姓田義松 最後の天才」
平成27年10月23日発行
- ・特別展図録「石展 かながわの歴史を彩った石の文化」
平成28年2月5日発行

イ 広報印刷物

- ・「中世東国の茶 武家の都鎌倉における茶の文化 ポスター・チラシ
- ・「没後 100 年 五姓田義松 最後の天才 ポスター・チラシ
- ・「国宝 一遍聖絵」ポスター・チラシ
- ・「石展 かながわの歴史を彩った石の文化 」ポスター・チラシ
- ・「まぼろしの紙幣 横浜正金銀行券」ポスター・チラシ
- ・神奈川県立歴史博物館および県庁本庁舎建物案内リーフレット
- ・「催し物のご案内（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）」

ウ 神奈川県立歴史博物館だより

『神奈川県立歴史博物館だより』VOL.21 No.1 通巻 199 号 平成 27 年 6 月 25 日 (2,000 部)

『神奈川県立歴史博物館だより』VOL.21 No.2 通巻 200 号 平成 27 年 10 月 6 日 (2,000 部)

『神奈川県立歴史博物館だより』VOL.21 No.3 通巻 201 号 平成 27 年 12 月 11 日 (2,000 部)

(8) ボランティアの活動

平成 9 年度から登録を開始した博物館ボランティアは、平成 26 年度実施の入門講座及び面接の結果、新たに 25 名の登録を行い、登録更新者 86 名を含めて 111 名となった。その内訳は、展示解説ボランティアが 101 名、行事補助ボランティアが 10 名である。

また平成 14 年度から活動期間を 5 年間とし、平成 27 年 3 月 31 日での任期満了者は 23 名である。

ア 活動状況及び実績

展示解説ボランティアは、常設展展示解説のほか、特別展開催中には 1 日 2 回の定時解説(11 時、15 時)を行っている。

行事補助ボランティアは、子ども向け行事の指導補助をはじめ、受付や案内など、学習支援事業の補を行っている。

また、ボランティア会は、幹事会(各曜日ごとの班から 2 名選出)を組織し、月 1 回、館側の担当者と様々な調整や、情報の交換を行なっている。さらに、『ボランティアニュース』を年 3 回、編集・発行している。

(ア) 活動日数及び人数

| 月 | 活動日数(日) | 活動人数(人) |
|----|---------|---------|
| 4 | 27 | 288 |
| 5 | 28 | 335 |
| 6 | 24 | 353 |
| 7 | 28 | 377 |
| 8 | 27 | 355 |
| 9 | 23 | 412 |
| 10 | 28 | 380 |
| 11 | 27 | 370 |
| 12 | 18 | 256 |
| 1 | 23 | 333 |
| 2 | 24 | 315 |
| 3 | 26 | 373 |
| 合計 | 303 | 4,147 |

(イ) 年代別・男女別人数等

| 年代 | 男 | 女 | 計 |
|------|------|------|------|
| 20 | 0 | 1 | 1 |
| 30 | 1 | 2 | 3 |
| 40 | 0 | 3 | 3 |
| 50 | 1 | 12 | 13 |
| 60 | 37 | 33 | 70 |
| 70 | 17 | 4 | 21 |
| 合計 | 56 | 55 | 111 |
| 平均年齢 | 67.2 | 60.4 | 64.9 |

(ウ) 曜日別ボランティア数(展示解説ボランティアのみ)

火曜班：17 名、水曜班：18 名、木曜班：16 名、金曜班：16 名、土曜班：17 名、日曜班：17 名

(イ) 行事補助ボランティア 10 名

イ 博物館入門講座（応募者 34 名・受講者第 1 日目 28 名、第 2 日目 25 名）

普段見ることのできない博物館の様々な活動や学芸員の仕事について紹介するとともに、当館の展示についても学ぶ。当講座の受講が当館ボランティア応募の条件となる。

・第 1 回 1 月 23 日(土) 10:00～15:30

講義名：当館の概要・博物館活動と学芸員の仕事・企画普及事業・館内見学

・第 2 回 1 月 24 日(日)10:00～15:30

講義名：「学芸員の目」(1)(2)・ワークショップ「学芸員の目を学ぶ」・「学芸員の技」

ウ 専門研修

展示解説に必要な当館の常設展示に関する知識や、資料の保存、教育普及活動について、その内容を知ってもらうために実施する。なお実地研修として、現役のボランティアとともに解説の演習を行う。

・日 時：平成 27 年 4 月 4 日・11 日・19 日、5 月 9 日・16 日・23 日・30 日各土曜日（4 月 19 日のみ日曜日）10:00～15:00

エ その他の研修

(ア) 特別展研修

特別展の展示解説に資する研修として、解説に必要な図録や資料を配布するとともに、展示された資料について、担当学芸員から解説の実地研修を行った。

(イ) フォローアップ研修

常設展示解説のフォローアップとして、個々のテーマで研修講座を実施した

| 実施日 | テ - マ |
|--------------|----------------------------|
| 6 月 20 日(土) | 特別展「国宝 一遍聖絵」に関連して |
| 10 月 3 日(土) | 富士山宝永噴火 |
| 12 月 19 日(土) | かながわの遺跡展「縄文の海 縄文の森」に関する勉強会 |
| 12 月 20 日(日) | |
| 1 月 9 日(土) | 神奈川県立歴史博物館の彫刻 - 仏像を中心に - |

(9) 博物館実習生の受け入れ

「神奈川県立歴史博物館 博物館実習生受け入れ要領」に基づき、見学実習と実務実習を受け入れた。

ア 見学実習

当館の概要(歴史・施設・組織・展示や事業概要など)について説明した後、展示室、バックヤード等の見学を行う。

受入数 18 大学 459 名

| | 来館日 | 大学名 | 人数 |
|---|------------------|----------|-------|
| 1 | 平成 27 年 5 月 17 日 | 東海大学 | 17 名 |
| 2 | 平成 27 年 5 月 29 日 | 慶應義塾大学 | 11 名 |
| 3 | 平成 27 年 5 月 31 日 | 専修大学 | 150 名 |
| 4 | 平成 27 年 6 月 7 日 | 神奈川大学 | 6 名 |
| 5 | 平成 27 年 7 月 5 日 | 成城大学 | 6 名 |
| 6 | 平成 27 年 7 月 5 日 | 大正大学 | 11 名 |
| 7 | 平成 27 年 7 月 11 日 | お茶の水女子大学 | 20 名 |
| 8 | 平成 27 年 7 月 18 日 | 宮城学院女子大学 | 19 名 |
| 9 | 平成 27 年 8 月 19 日 | 学習院大学 | 20 名 |

| | | | |
|-----|-------------------|--------|-------|
| 10 | 平成 27 年 8 月 21 日 | 日本女子大学 | 7 名 |
| 11 | 平成 27 年 9 月 5 日 | 首都大学東京 | 6 名 |
| 12 | 平成 27 年 9 月 9 日 | 龍谷大学 | 52 名 |
| 13 | 平成 27 年 10 月 18 日 | 学習院大学 | 38 名 |
| 14 | 平成 27 年 10 月 18 日 | 東海大学 | 50 名 |
| 15 | 平成 27 年 11 月 14 日 | 日本大学 | 15 名 |
| 16 | 平成 27 年 11 月 28 日 | 京都造形大学 | 19 名 |
| 17 | 平成 27 年 12 月 19 日 | 目白大学 | 10 名 |
| 18 | 平成 28 年 2 月 3 日 | 鶴見大学 | 2 名 |
| 合 計 | | | 459 名 |

イ 実務実習

前期 3 日間と後期 4 日間にわたって行なう。前期は企画情報部が担当し、受講者全体で博物館運営に関わる業務及び教育普及事業などについて学ぶ。後期は学芸部の各分野に分かれ、資料の取り扱いや整理の方法などについて学ぶ。

応募数 26 大学 39 名

受入数 25 大学 25 名

実受入数 24 大学 24 名（受入後、前期開始前に 1 名、後期開始前に 1 名が辞退）

実受入校(大学名)（1 大学につき 1 名）

埼玉学園大学・立教大学・駒澤大学・鶴見大学・東京情報大学・神奈川大学・文教大学・日本女子大学・日本大学・成城大学・関東学院大学・共立女子大学・京都造形芸術大学・二松学舎大学・国土館大学・清泉女子大学・立正大学・青山学院大学・桜美林大学・聖心女子大学・武蔵野美術大学・学習院大学・法政大学・多摩美術大学

(ア) 実務実習(前期実習) 実施日順 担当：企画情報部(全員参加、日程、内容)

a 1 日目：5 月 26 日(火) 10:00～17:00

- ・前期実習のガイダンス
- ・当館の概要について(施設の概要、当館の活動について)
- ・教育普及活動の実践 (全体説明)
- ・教育普及活動の概要(当館の教育普及事業、学校連携事業、子ども向け事業、校正体験)
- ・館内見学(常設展示室・特別展示室)
- ・館内見学(バックヤード、収蔵庫周辺、設備・防災・防犯関係、屋上ドームなど)
- ・広報活動について(博物館における広報、広報担当の役割、広報活動の現状)

b 2 日目：5 月 27 日(水) 10:00～17:00

- ・当館のボランティア活動について(沿革、現在の活動)
- ・資料の保存・IPM について
- ・博物館と図書資料について(収集方針、所蔵資料、書庫・ミュージアムライブラリー見学)
- ・博物館情報システムについて(収蔵品管理システム、デジタル・ミュージアム、セキュリティ、情報バリアフリー)
- ・博物館と写真資料について(博物館における写真とは、保存と活用)
- ・写場、情報システム見学
- ・教育普及活動の概要 (校正体験)

c 3 日目：5 月 28 日(木) 10:00～17:00

- ・教育普及活動の実践 (文化の日のイベント企画、作業)
- ・教育普及活動の実践 (発表、講評)

- (4) 実務実習(後期実習) 実施日順 担当：学芸部(実習分野・グループ別参加者数、日程、内容)
- a 民俗 3名、6月16日(火)～19日(金) 10:00～17:00、3日目9:30～16:30
 - ・民俗資料の収集・調査
 - ・民俗資料の整理
 - ・民俗資料の取り扱い方・クリーニング
 - ・調書作成
 - ・館内巡回
 - ・保存環境整備(温湿度自記記録紙の交換、空調の確認)
 - b 近世 4名、9月1日(火)～4日(金) 10:00～17:00、3日目9:30～16:30
 - ・版木の整理
 - ・歴史資料・美術資料の扱い方と調書の取り方、整理、撮影
 - ・保存環境整備(温湿度自記記録紙の交換、空調の確認)
 - c 考古 2名、10月6日(火)～9日(金) 10:00～17:00、3日目9:30～16:30
 - ・当館収蔵の考古資料の概要
 - ・考古資料の取り扱い・梱包
 - ・考古資料整理
 - ・考古資料の展示方法とその実務
 - ・資料の記録方法
 - ・保存環境整備(温湿度自記記録紙の交換、空調の確認)
 - d 中世 7名(受入は8名)、10月20日(火)～23日(金) 10:00～17:00、3日目9:30～16:30
 - ・歴史資料の取り扱い(中世古文書の形態と分類、中世古文書の保存及び取り扱い 掛幅・卷子、資料の点検と調書の作成)
 - ・歴史資料の取り扱い(書跡・典籍の取り扱い 点検・梱包、中世古文書の保存及び取り扱い その実際、展示見学と巡回)
 - ・美術資料の取り扱い(絵画作品 掛幅・絵巻 の鑑賞と取り扱い 点検・梱包、絵画資料の展示と保管環境について、工芸作品の鑑賞と取り扱い 点検・梱包)
 - ・美術資料の取り扱い(梱包材の作成、彫刻作品の取り扱い 点検・梱包)
 - ・保存環境整備(温湿度自記記録紙の交換、空調の確認)
 - e 近現代 7名、10月28日(火)～31日(金) 10:00～17:00、3日目9:30～16:30
 - ・近現代資料の取り扱いと展示(パネル撤去・会場整理・展示作業、資料の梱包、特別展示について)
 - ・資料撮影の実践(セッティング・撮影)
 - ・保存環境整備(温湿度自記記録紙の交換、空調の確認)
 - ・資料の調査と整理(資料目録の入力)

6 資料

(1) 条例・規則

ア 神奈川県立の博物館条例

〔昭和41年10月7日
条例第43号〕

最終改正 平成21年3月27日条例第25号

(趣旨)

第1条 この条例は、神奈川県立の博物館の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき、次のとおり神奈川県立の博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

| 名 称 | 位 置 | 目 的 |
|-----------------|-----------------|--|
| 神奈川県立歴史博物館 | 横浜市中区南仲通5丁目60番地 | 神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。 |
| 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 小田原市入生田499番地 | 地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。 |

(職員)

第3条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料の納付)

第4条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。ただし、公開の施設に展示している博物館資料の観覧については、この限りでない。

2 前項本文の規定にかかわらず、特別な企画の展覧会を開催する場合の観覧料は、神奈川県教育委員会(以下「教育委員会」という。)がその都度定めることができる。

3 前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第5条 前条第1項本文及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、観覧料を減免することができる。

(1) 教育委員会が開催する行事に参加する者

(2) 教育課程に基づく教育活動として入館する高校生(学校教育法(昭和22年法律第26号。別表備考において「法」という。)第1条に規定する高等学校及び中等教育学校の後期課程並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者をいう。別表において同じ。)並びに児童及び生徒の引率者

(3) その他教育委員会が適当と認めた者

(観覧料の不還付)

第6条 既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が災害その他特別の事情により還付するのを適当と認めたときは、この限りでない。

(資料の特別利用)

第7条 博物館資料を学術上の研究のため特に利用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(利用の制限)

第8条 教育委員会は、博物館の利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、その利用を制限することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 他の利用者に著しく迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。

(3) 施設、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めるとき。

(4) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して6月をこえない範囲内で教育委員会規則で定める日から施行する。(昭和41年11月18日教育委員会規則第8号で、同41年11月21日から施行。ただし、第4条から第9条までの規定の施行期日にあつては昭和42年3月22日とし、第10条の規定の施行期日にあつては昭和42年4月1日とする。)(略)

附 則(平成21年3月27日条例第25号)

この条例は、平成21年7月1日から施行する。

別表(第4条関係)(抄)

| 区 分 | | 個 人 | | 20人以上の団体 | |
|------------|-------------------------------|-------|------|----------|------|
| 神奈川県立歴史博物館 | 20歳以上65歳未満の者 (学生及び高校生を除く。) | 1人につき | 300円 | 1人につき | 250円 |
| | 20歳未満の者(高校生を除く。) | 同 | 200円 | 同 | 150円 |
| | 学生(65歳以上の者を除く。) | 同 | 200円 | 同 | 150円 |
| | 65歳以上の者 高 校 生 | 同 | 100円 | 同 | 100円 |

備考 1 学生とは、法第1条に規定する大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校並びに法第134条第1項に規定する各種学校に在学する者をいう。

2 学齢に達しない者、並びに法第1条に規定する小学校、中学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

イ 神奈川県立の博物館組織規則

昭和41年11月18日
教育委員会規則第10号

最終改正 平成18年3月31日教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(部等の設置)

第2条 神奈川県立の博物館に、次の部及び課を置く。

管理課

企画情報部

企画普及課

情報資料課

学芸部

(管理課の事務)

第3条 管理課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 公印に関する事。
- (2) 文書の收受、発送、保存、閲覧等に関する事。
- (3) 個人情報の開示、訂正、利用停止等に関する事。
- (4) 人事に関する事。
- (5) 財産の管理及び館内の秩序の維持に関する事。
- (6) 予算の経理に関する事。
- (7) 観覧料の徴収に関する事。
- (8) 物品の調達及び処分に関する事。
- (9) 寄贈品の受納並びに寄託品の受納及び返納に関する事。
- (10) その他他部課の主管に属しない事。

第4条 削除

(企画普及課の事務)

第5条 企画普及課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館活動の企画及び調整に関する事。
- (2) 博物館活動の普及及び広報に関する事。
- (3) 博物館活動に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関する事。

(4) 他の博物館その他教育、学術又は文化に関する施設、団体等との連絡、協力及び情報の交換に関すること。
(情報資料課の事務)

第6条 神奈川県立歴史博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 人文科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの運用に関すること。

2 神奈川県立生命の星・地球博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。

- (1) 自然科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
- (2) 博物館情報システムの総合的企画及び調整並びに運用に関すること。

(学芸部の事務)

第7条 学芸部においては、次の事務を分掌する。

- (1) 博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説及び指導に関すること。
- (2) 博物館資料の専門的及び技術的な調査研究に関すること。

(委任)

第8条 この規則の施行に関し必要な事項は、神奈川県教育委員会教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。

(略)

附 則(平成18年3月31日教育委員会規則第13号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

ウ 神奈川県立の博物館の利用等に関する規則

〔 昭和41年11月18日
教育委員会規則第9号 〕

最終改正 平成12年12月15日教育委員会規則第25号

(趣旨)

第1条 この規則は、神奈川県立の博物館の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 次に掲げる神奈川県教育委員会の権限は、神奈川県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に委任する。

- (1) 神奈川県立の博物館条例(昭和41年神奈川県条例第43号。以下「条例」という。)第4条第2項の規定により観覧料を定めること。
- (2) 条例第5条の規定により観覧料を減免すること。
- (3) 条例第6条ただし書の規定により観覧料の還付を認めること。
- (4) 条例第7条の規定により利用を承認すること。
- (5) 条例第8条の規定により利用を制限すること。

(休館日等)

第3条 神奈川県立歴史博物館及び神奈川県立生命の星・地球博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「国民の祝日等」という。)に当たるときを除く。)
- (2) 国民の祝日等の翌日(土曜日、日曜日又は国民の祝日等に当たるときを除く。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで
- (4) その他教育長が定める日

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、臨時に博物館を開館することができる。

(開館時間等)

第4条 開館時間は、次のとおりとする。

| 名 称 | 開 館 時 間 |
|-----------------|---|
| 神奈川県立歴史博物館 | 午前9時30分から午後5時まで。ただし、午後4時30分以降は、入館することができない。 |
| 神奈川県立生命の星・地球博物館 | 午前9時から午後4時30分まで。ただし、午後4時以降は、入館することができない。 |

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(観覧券の交付)

第5条 教育長は、博物館に展示している博物館資料を観覧するため、条例第4条の規定により観覧料を納めた者に観覧券を交付するものとする。

(観覧料の減免申請)

第6条 観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書を教育長に提出し、観覧料減免承認書の交付を受けなければならない。

(観覧料の還付申請)

第7条 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書に観覧券を添えて教育長に提出し、観覧料還付承認書の交付を受けなければならない。

(資料の特別利用)

第8条 条例第7条の規定により博物館資料の特別利用の承認を受けようとする者は、特別利用承認申請書を教育長に提出し、特別利用承認書の交付を受けなければならない。

(利用の方法)

第9条 博物館を利用する者は、博物館の管理上必要な事項を守り、職員の指示に従わなければならない。

(資料の館外貸出し)

第10条 次に掲げるものは、教育長の承認を受けて博物館資料の館外貸出しを受けることができる。

- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
- (3) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
- (5) その他教育長が適当と認めるもの

2 前項の規定による承認を受けようとするものは、館外貸出承認申請書を教育長に提出し、館外貸出承認書の交付を受けなければならない。

(館外貸出しの期間)

第11条 博物館資料の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育長は、特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。

2 前項の館外貸出しの期間は、博物館が当該博物館資料を引き渡した日から起算してその返還を受ける日までの日数により算定するものとする。

3 教育長は、館務の都合により必要があるときは、博物館資料の館外貸出しの期間中であつても、当該博物館資料の返還を求めることができる。

(館外貸出しをした資料の利用方法)

第12条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を、承認を受けた利用の目的又は場所以外の目的又は場所で、利用してはならない。

(資料滅失等の届出)

第13条 博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を滅失し、又は損傷したときは、直ちに資料滅失(損傷)届出書を教育長に提出しなければならない。

(寄託を受けた資料の利用の制限)

第14条 寄託を受けた博物館資料の館外展示及び館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行なうことができない。

(委任)

第15条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和41年11月21日から施行する。ただし、第2条から第9条までの規定は、昭和42年3月22日から施行する。

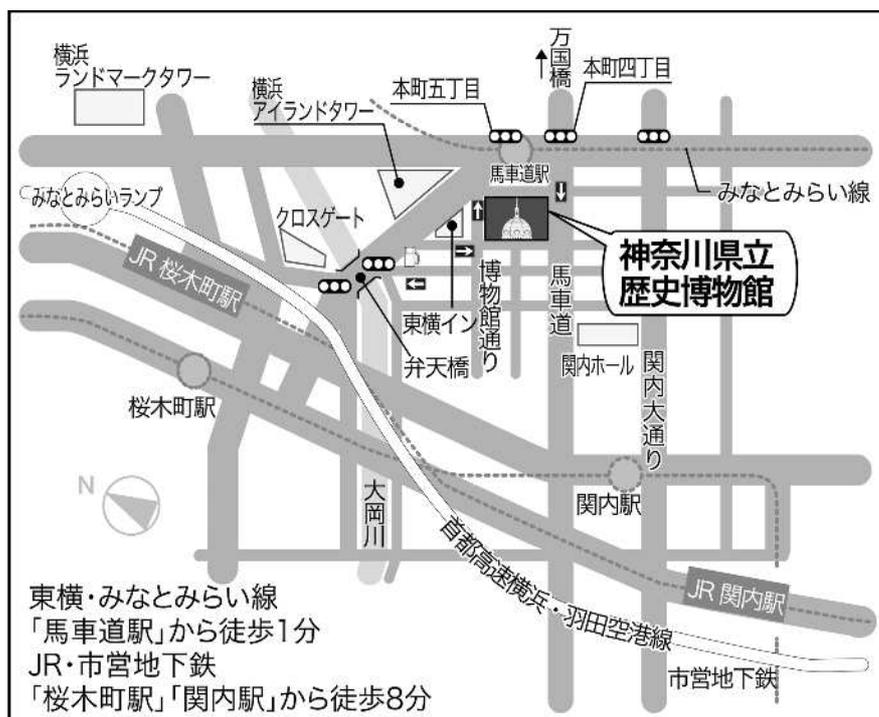
(略)

附 則(平成12年12月15日教育委員会規則第25号)

この規則は、平成13年1月6日から施行する。

(2) 利用案内

- 1 名称 : 神奈川県立歴史博物館 (Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History)
- 2 所在地 : 横浜市中区南仲通 5-60 〒231-0006
- 3 電話 : 045-201-0926(代表)
- 4 F A X : 045-201-7364
- 5 ホームページ : <http://ch.kanagawa-museum.jp/>
- 6 交通 : 東横・みなとみらい線「馬車道」駅5番出口より徒歩1分、
JR 京浜東北・根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅または「関内」駅より
徒歩8分
- 7 休館日 : 月曜日(ただし、祝日の場合は開館)、資料整理休館日、年末年始
- 8 観覧料 : 常設展
 - ・20歳以上(学生を除く) : 300円(250円) ()内は20名以上の団体
 - ・20歳未満及び学生 : 200円(150円)
 - ・高校生及び65歳以上 : 100円(100円)
 - ・中学生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は無料特別展
 - ・常設展とは別料金となり、金額は展示ごとに別途定める。コレクション展
 - ・無料
- 9 団体見学 : 事前にご連絡ください。
- 10 地図



神奈川県立歴史博物館年報 平成 27 年度

2017 年 3 月 30 日

編集・発行 〒231-0006

横浜市中区南仲通 5-60

神奈川県立歴史博物館

本書の無断転載を禁ず

Kanagawa Kenritsu Rekishi Hakubutsu-kan

Nen-po

Annual Report of the Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

(2015.4 ~ 2016.3)

Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

Naka-ku, Yokohama, Kanagawa, JAPAN